

この履修要項は、みなさんが学業を進めていくうえで必要不可欠な履修などに関する基本的な事項を収録したものであり、卒業時まで使用します。
なくさないように十分に注意してください。

2010

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

南山大学授業科目履修規程	4
南山大学試験規程	13

【名古屋キャンパス】

共通教育科目

共通教育科目履修要項	21
------------------	----

人 文 学 部

人文学部履修要項	37
キリスト教学科履修要項・カリキュラム表	39
人類文化学科履修要項・カリキュラム表	47
心理人間学科履修要項・カリキュラム表	55
日本文化学科履修要項・カリキュラム表	63

外 国 語 学 部

外国語学部履修要項	73
英米学科履修要項・カリキュラム表	75
スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項・カリキュラム表 ...	84
フランス学科履修要項・カリキュラム表	93
ドイツ学科履修要項・カリキュラム表	101
アジア学科履修要項・カリキュラム表	110

経 済 学 部

経済学部履修要項・経済学部経済学科カリキュラム表 ...	121
------------------------------	-----

経 営 学 部

経営学部経営学科履修要項・カリキュラム表	135
----------------------------	-----

法 学 部

法学部履修要項・法学部法律学科カリキュラム表	151
------------------------------	-----

【瀬戸キャンパス】

共通教育科目

共通教育科目履修要項 161

総合政策学部

総合政策学部総合政策学科履修要項～外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修しない学生に適用～及びカリキュラム表 171

総合政策学部総合政策学科履修要項～外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修する学生に適用～及びカリキュラム表 183

情報理工学部

情報理工学部履修要項 201

「情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)」履修要項 211

履修に関する取扱要領他

卒業論文等提出についての注意事項 215

南山大学早期卒業規程 222

総合政策学部早期卒業に関する内規 223

派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領 224

外国人留学生の授業科目履修に関する特例 225

情報理工学部に在籍する外国人留学生の授業科目に関する細則 227

外国語検定試験による単位認定制度について 229

愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について 232

豊田工業大学との連携聴講生制度について 233

南山短期大学との学園内連携聴講生制度について 235

名古屋／瀬戸キャンパス間履修について 236

南山大学授業科目履修規程

第1章 総則

(この規程の趣旨)

第1条 南山大学学則第14条により、この規程を制定する。授業科目履修に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2章 授業科目

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、共通教育科目、学部共通科目および学科科目とし、ほかに外国人留学生のための日本語科目を開設する。

(共通教育科目)

第3条 共通教育科目は、宗教科目、体育科目、「人間の尊厳」科目、テーマ科目、分野科目、情報科目(アカデミックリテラシー科目)、インターンシップ科目および外国語科目とする。
② 前項の各科目は各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

(学部共通科目・学科科目)

第4条 学部共通科目・学科科目は、各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

第3章 履修単位および履修方法

(卒業の要件)

第5条 本大学を卒業するためには、本大学に4年以上在学し、次の各号に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 1 宗教科目 4単位
- 2 体育科目 2単位

- 3 「人間の尊厳」科目 4単位
 - 4 テーマ科目 10単位
 - 5 分野科目、情報科目、インターンシップ科目および外国語科目の単位については、各学部・学科の定めるところによる。
 - 6 学科科目および学部共通科目の単位については、各学部・学科の定めるところによる。
- ② 前項の定めにかかわらず、在学期間については、早期卒業規程により短縮することができる。
- ③ 外国人留学生の共通教育科目の履修に関しては、別に定める。

(単位数計算の基礎)

第6条 各授業科目の単位数計算の基礎は、次のとおりである。

- 1 講義による科目および演習は、毎週1時間15週をもって1単位とする。
- 2 外国語科目、体育科目は、毎週2時間15週をもって1単位とする。
- 3 実習、実験、音楽実技および美術実技は、毎週3時間15週をもって1単位とする。ただし、1時間の授業に対して教室外における2時間の準備のための学修を必要とする場合は、毎週1時間15週をもって1単位とする。

(自由科目の修得単位)

第7条 第3条第2項および第4条に定める自由科目の修得単位は、第5条第1項の卒業に必要な単位数のうちに算入しない。

(授業科目の履修年次)

第8条 共通教育科目の履修年次は、共通教育科目履修要項に従い、また学部共通科目および学科科目については、各学部・学科の定める年次にそれぞれ履修しなければならない。

(不合格授業科目の履修年次)

第9条 削除

(教職、博物館、司書および学校図書館司書教諭に関する科目)

第10条 教育職員免許状取得資格、博物館学芸員の資格、司書の資格および学校図書館司書教諭の資格を得ようとする者は、当該授業科目履修要項に従って授業科目を履修しなければならない。

第4章 履修登録

(履修登録の手続)

第11条 単位を修得するためには、各学部・学科の定めるところに従い、次の各号の登録手続を行わなければならない。

- 1 1年次春学期の初回登録については、「履修登録カード」の必要事項をマークして提出すること。1年次秋学期以降の初回登録については、定められた期間内に学生用事務システムで履修希望科目を登録すること。
 - 2 前号に定める初回登録の結果を学生用事務システムで確認すること。
 - 3 前号の確認の上、必要があれば定められた期間に学生用事務システムで登録科目の変更を行うこと。
- ② 派遣留学生の履修登録は、「派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領」によるものとする。

(履修登録の無効)

第12条 同一時限に授業が行われる複数の授業科目を重複して登録してはならない。重複登録を行った場合には、いずれの授業科目の登録も無効とする。

(履修登録単位数の上限)

第13条 1年間に登録できる単位数の上限は、各学部・学科の定めるところによる。

- ② 願い出により履修を中止した科目は、各学部・学科の定める登録できる単位数の上限に含む。

(履修登録の期間)

第14条 履修登録は、本大学の定める期間中に行わなければならない。ただし、病気、休学などやむを得ない理由により所定期間中に履修登録が不可能な場合は、直ちにその旨を名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は教務係に届け出て指示を受けなければならない。学務部教務課または教務係に届け出ることなく履修登録を行わなかった場合は、特別の理由のない限り、その年度の履修登録を認めない。

(履修登録変更)

第15条 履修登録後は、所定の期間に限り、履修登録の変更

を認める。それ以外の期間については、特別の理由のない限り、履修登録の変更は認めない。

(履修の中止)

第15条の2 履修登録後は、必修科目、共通教育委員会および各学部・学科が指定した科目を除き、所定の期間に限り、履修の中止を認める。なお、履修の中止を行った科目は、いかなる理由があっても当該学期中に再度履修登録を行うことはできない。

第5章 出欠席

(欠席時数の限度)

第16条 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えるとき、当該授業科目の成績評価について共通教育科目は共通教育委員会、学部共通科目および学科科目は各学部・学科の定めるところによる。

② 15分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。また、15分未満の遅刻または早退は、3回をもって1回の欠席とみなす。

第6章 履修成績および単位の授与

(単位の授与)

第17条 授業科目を履修した者に対しては、原則として、試験の上、成績を判定し、単位を与える。

(履修成績の判定)

第18条 履修成績は、南山大学試験規程により実施される定期試験または追試験・再試験・補充試験の成績と平常の成績を考慮して定める。

(履修成績評価の基準)

第19条 履修成績の評価は次のように表す。合格の成績には、それぞれの授業科目に関し、所定の単位を与えるが、不合格の成績には単位を与えない。

秀	A ⁺	(100点～90点)	} 合格
優	A	(89点～80点)	
良	B	(79点～70点)	
可	C	(69点～60点)	
不可	F	(59点～0点)	不合格

ただし、カッコ内の点数は評価を100点満点の場合の得点として示したものである。

② 前項の定めにかかわらず履修成績の評価は、次のように表すことができる。

P	(Pass)	合格
F	(Failure)	不合格

③ 本条第1項および第2項の履修成績F(不合格)以外に、次の各号のいずれかに該当する場合は、不合格とする。

1 試験欠席(「南山大学試験規程」により実施される定期試験、追試験、再試験、補充試験またはそれらに準ずる試験に欠席した場合、X)

2 欠席過多(授業の欠席過多により当該授業科目の成績評価が不合格と判定された場合、S)

④ 本条第1項、第2項および第3項の履修成績以外に、履修を中止した科目の評価は、履修中止(W)とする。

(欠席による不合格)

第20条 削除

(履修成績評価の疑問調査)

第21条 第19条における成績評価または不合格に対して疑問がある場合は、疑問調査を願い出ることができる。

② 疑問調査は、成績発表後1週間以内に名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は教務係に願い出るものとする。

(試験における不正行為)

第22条 試験において不正行為があった場合は、その学生の当該年度の履修科目の一部または全部の単位を与えない。

第7章 既修得単位等の認定

(他の大学または短期大学における修得単位)

第23条 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

② 学生が外国の大学に留学する場合には、前項の規定を準用する。

③ 学生が外国の大学において授業科目を履修し、制度上当該大学より単位を授与されない場合は、教授会の定めるところにより、本大学の単位を修得したものと認定することができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

第23条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、教授会の定めるところにより単位を与えることができる。

② 前項により与えることができる単位数は、前条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

③ 本条に関する取扱いは、別に定める。

(編入学者および転入学者の既修得単位)

第24条 本大学を卒業し、改めて本大学に編入学した場合は、既修得単位の一部を入学後に修得したものと認定することができる。

② 学生が他の大学（外国の大学も含む。）を卒業または中途退学し、本大学に編入学または転入学した場合には、既修得単位の全部または一部を入学後に修得したものと認定することができる。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところによって試験を課すことがある。

③ 本条に関する細則は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第25条 本大学は、教育上有益と認めるときは、次の各号に定める単位を、教授会の定めるところにより、入学後に修得したものと認定することができる。

1 本大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年

- 次に入学した学生が入学前に修得した単位。
- 2 他の大学または短期大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところにより試験を課すことがある。
 - 3 学生が入学する前に行った第23条の2第1項に規定する学修。
- ② 前項の各号により与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第23条および第23条の2第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- ③ 本条に関する細則は、別に定める。

(再入学者および転部・転科者の既修得単位)

- 第26条** 再入学を許可された者の既修得単位は、入学後も引き続き有効とする。
- ② 転部・転科を許可された者の既修得単位は、転部・転科後も引き続き有効とする。
- ③ 前項に関する細則は、別に定める。

第8章 退学

(修得単位不足等による退学)

- 第27条** 在学7か年（休学期間は算入しない。）におよび、なお卒業に必要な単位を修得しない者その他成業の見込みのないものには、退学を命ずる。
- ② 入学後1年を経過してもなお修得単位数が16単位未満、2年を経過しても32単位未満、3年を経過しても48単位未満等の場合には、退学を命ずることがある。ただし、病気その他重大な事由による場合は、この限りでない。
- ③ 正当の理由がなくて引き続き長期欠席した者には、退学を命ずることがある。

附 則

(施行期日) この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和49年4月1日から施行する

附 則

この規程の改正は、昭和50年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和57年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、平成11年度までの入学生については従来どおりする。

附 則

この規程の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2010年4月1日から施行する。

ただし、第19条第1項に定める履修成績の評価「秀」および第13条第2項、第15条の2、第19条第4項については2010年度秋学期から適用し、春学期については従前どおりとする。

南山大学試験規程

第1章 総則

第1条 南山大学学則第17条にいう試験に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2条 試験は、南山大学学則第17条の定めるところにより、履修した授業科目に対してのみ行うものとする。

第3条 試験には定期試験、追試験、再試験および補充試験がある。ただし、レポート等をもって試験に代える場合がある。その場合は、この規程に定める各条の適用を受けるものとする。

② 実技・実習科目および卒業論文科目については、実技・実習または卒業論文の提出をもって定期試験に代えることができる。

第4条 試験を受ける者は、次の条件を満たす者でなければならない。

1 削除

2 授業料その他を完納していること。

第5条 試験における不正行為に対する処置は、南山大学学生懲戒規程の定めるところによる。

第2章 定期試験

第6条 定期試験とは、学年暦に示される期間に行うものをいう。

第7条 定期試験は、春学期（前期）末および秋学期（後期）末に行う。

② 春学期（前期）開講科目、秋学期（後期）開講科目および通年開講科目以外の、集中講義等科目については、当該授業終了後に行うことができる。

③ 通年開講科目のうち、共通教育科目は共通教育委員会の定めるところにより、また学部共通科目、学科科目、教職、博物館学芸員、司書および学校図書館司書教諭に関する科目は、学部教授会の定めるところにより、春学期（前期）試験を省くことができる。

第3章 追試験

第1節 通則

第8条 病気その他やむを得ない理由で定期試験に出席できない者に対して追試験を行う。

第9条 追試験の成績は、1割減点とする。

第10条 追試験を受験する者は、追試験受験手数料を納入しなければならない。その額については、別に定める。

第11条 教育実習、介護等体験およびインターンシップ研修のため定期試験に出席できない者に対する追試験には、第9条および第10条を適用しない。

第2節 追試験の実施

第12条 追試験は、第7条に定める試験の終了後一定の期日に行う。ただし、正当な理由があるときは、当該試験の終了後2か月以内に臨時に行うことがある。

第13条 追試験を受けるには、次に定める手続をとらなければならない。

- 1 名古屋キャンパスの学生は学務部教務課へ、瀬戸キャンパスの学生は教務係へ事前に追試験受験願を提出するものとする。この場合、医師の診断書その他欠席の理由を明らかにする証明書を添付しなければならない。
- 2 急病その他突発事故の生じた場合は、直ちに所属キャンパスの学務部教務課または教務係へ連絡し、前号に定める手続をとるものとする。なお、手続の最終期限は、定期試験については、試験期間の最終日の翌日から数えて3日目、第7条第2項の試験については、当該試験日の翌日から数えて3日目（いずれも日曜、祝日および事務休業日を除く。）とする。

第14条 追試験の受験許可は、教務委員会が行う。

第15条 第3条に定めるレポートを病気その他やむを得ない理由で所定の期限内に提出できない者は、第13条に定める手続をとるものとする。

第4章 再試験

第1節 通則

第16条 再試験は、卒業年次学生に対してのみ行うものとする。ただし、当該授業科目について南山大学授業科目履修規程第19条に定める試験欠席および欠席過多に該当する者に対しては行わない。

第17条 再試験受験者は、再試験受験手数料を納入しなければならない。その金額については、別に定める。

第18条 再試験の受験は、卒業に必要な所定単位の2科目以内の単位が不足する者または資格取得に2科目以内の単位が不足する者について、第2節に定める再試験科目のうち、その不足する科目・単位数を限度に認められる。

② 再試験科目は、2科目以内とし、南山大学授業科目履修規程第19条に定める「履修成績不可・F」に該当する科目に限る。

第2節 再試験科目

第19条 再試験は、卒業年次に履修した科目で、次のいずれかに該当するもののうち、学部教授会が認めたものについて行うことができる。ただし、共通教育科目のうち体育科目および外国語科目を除く。

- 1 卒業に必要な共通教育科目、学部共通科目および学科科目
- 2 教育職員免許状取得に必要な教職に関する科目および教科に関する科目
- 3 博物館学芸員の基礎資格として必要な科目
- 4 司書の基礎資格として必要な科目
- 5 学校図書館司書教諭の基礎資格として必要な科目

第3節 再試験の実施

第20条 再試験を行う時期は、学部教授会がこれを定める。

第21条 再試験の成績評価は、可（C-合格）または不可（F-不合格）とする。

第22条 再試験合格により卒業する者の卒業の時期は、3月31日あるいは9月15日（1999年度以前の入学生は9月30日）とする。

第5章 補充試験

第1節 通則

第23条 補充試験は、卒業年次以外の学生に対してのみ行うものとする。ただし、当該授業科目について第25条に定める受験資格を満たさない者ならびに南山大学授業科目履修規程第19条に定める試験欠席および欠席過多に該当する者に対しては行わない。

第24条 前条に定める補充試験については、次の学部において行うものとする。

- 1 情報理工学部

第25条 補充試験の受験資格は、学部教授会が別に定める。

第26条 補充試験受験者は、補充試験受験手数料を納入しなければならない。その金額については、別に定める。

第2節 補充試験科目

第27条 補充試験は、当該年次に履修し不合格となった科目のうち、学部教授会が必要と認めたものについてのみ行うことができる。

第3節 補充試験の実施

第28条 補充試験を行う時期は、学部教授会が別に定める。

第29条 補充試験の成績評価は、学部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 再試験に関する内規（昭和41年10月18日施行）
追試験に関する内規（昭和42年9月29日施行）
追試験に関する覚書（昭和42年9月29日施行）
は廃止する。

附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2009年4月1日から施行する。

共通教育科目履修要項

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えるときの履修成績評価は、欠席過多（S）による不合格とする。

A 宗教科目履修要項

1. 卒業のためには、宗教科目を4単位履修しなければならない。
2. 宗教科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）

必修

宗 教 論 (2) 1年次

キリスト教概論 (2) 2年次（ただし、キリスト
教学科については1年次必修）

B 「人間の尊厳」科目履修要項

1. 卒業のためには、2科目4単位履修しなければならない。
2. 「人間の尊厳」科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）

選択必修

宗教に見る人間の尊厳 (2) 哲学・倫理学における人間の尊厳 (2)

思想史に学ぶ人間の尊厳 (2) 政治・経済と人間の尊厳 (2)

法と人間の尊厳 (2) 性と生命における人間の尊厳 (2)

教育・文化における人間の尊厳 (2) 民族問題と人間の尊厳 (2)

3. 履修年次は2・3・4年次とする。
4. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
5. 同一年度に登録できるのは、原則として2科目までとする。

C 外国語科目履修要項

1. 外国語科目の卒業のための要件は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 外国語科目は次のとおりである。
(1) 外国語科目の履修年次及び履修方法

英語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)、III (2年次春学期)、IV (2年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

- a. I、II、III、IVはこの順番で履修しなければならない。
- b. 再履修者に限り I、II と III、IV を同時に履修できる。

フランス語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)を原則とする。
I、II以外は履修年次を指定しないが、I、IIは初級、III、IVは中級である。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II 文法・講読と I、II 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、II と III、IV を同時に履修できる。
- c. III、IVは順番に履修しなくてもよい。

ドイツ語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)を原則とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II 文法・講読と I、II 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、II と III、IV を同時に履修できる。
- c. III、IVは順番に履修しなくてもよい。
- d. I、II以外はペアで履修しなくてもよい。

スペイン語・ポルトガル語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)、III (2年次春学期)、IV (2年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II 文法・講読と I、II 会話・作文を

同時に履修しなければならない。

- b. I、IIとIII、IVを同時に履修できる。
- c. III、IVは順番に履修しなければならない。
- d. IとII、IIIとIVはペアで履修しなければならない。

中国語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期) とする。III、IVは2年次以降の履修とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II語法とI、II会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、IIとIII、IVを同時に履修できる。
- c. III、IVは順番に履修しなくてもよい。

韓国朝鮮語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期) とする。III、IVは2年次以降の履修とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II文法・講読とI、II会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、IIとIII、IVを同時に履修できる。
- c. III、IVは順番に履修しなくてもよい。

インドネシア語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期) とする。

(2) 履修方法

1年次生は、I、II文法・講読とI、II会話・作文を同時に履修しなければならない。

ラテン語

(1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)、III (2年次春学期)、

Ⅳ（２年次秋学期）とする。

（２）履修方法

- a. １年次はⅠとⅡ、ⅢとⅣの同時履修はできない。
- b. Ⅰ、ⅡとⅢ、Ⅳはそれぞれ順番に履修しなければならない。
- c. ⅠとⅡ、ⅢとⅣはそれぞれペアで履修しなければならない。

ギリシャ語

（１）履修年次

各年次履修できる。

（２）履修方法

- a. ⅠとⅡとは順番に履修しなければならない。

日本語

日本語の履修は、別に定める「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」によるので、参照のこと。

(2) 外国語科目

必修外国語

(かっこ内の数字は単位数)

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キリスト教学科(4)	ラテン語Ⅰ文法(1) ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ文法(1) ラテン語Ⅱ講読(1)		
人間文化学科(4) 心理人間学科 日本文化学科	英語I-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅱリーディング(1)		
英米学科(8)	英語I-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-ⅣA(3) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-ⅣA(3) 英語Ⅱリーディング(1)		
スペイン・ ラテンアメリカ 学科(14)	基礎スペイン語Ⅰ文法(2) 基礎スペイン語Ⅰ講読(1) 基礎スペイン語Ⅰ作文(1)	基礎スペイン語Ⅱ文法(2) 基礎スペイン語Ⅱ講読(1) 基礎スペイン語Ⅱ作文(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)	英語Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)
フランス学科 (14)	基礎フランス語ⅠA(1) 基礎フランス語ⅠB(1) 基礎フランス語ⅠC(1) 基礎フランス語ⅠD(1)	基礎フランス語ⅡA(1) 基礎フランス語ⅡB(1) 基礎フランス語ⅡC(1) 基礎フランス語ⅡD(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)	英語Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)
ドイツ学科 (14)	基礎ドイツ語Ⅰ文法(1) 基礎ドイツ語Ⅰ会話・作文(2) 基礎ドイツ語Ⅰ講読(1)	基礎ドイツ語Ⅱ文法(1) 基礎ドイツ語Ⅱ会話・作文(2) 基礎ドイツ語Ⅱ講読(1)	英語Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)	英語Ⅳ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1)
アジア学科 (14)	中国語Ⅰ語法(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1) 中国語Ⅰ文法・講読(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ語法(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1) 中国語Ⅱ文法・講読(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1)	英語Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅲリーディング(1)	英語Ⅳ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅳリーディング(1)
経済学科(8)	英語I-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅲリーディング(1)	英語Ⅳ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅳリーディング(1)
経営学科(8)	英語I-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-ⅣC(2) 英語Ⅰリーディング(1) 英語Ⅰライティング(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-ⅣC(2) 英語Ⅱリーディング(1) 英語Ⅱライティング(1)		
法律学科(4)	英語I-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ-Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ-Ⅳ(1) 英語Ⅱリーディング(1)		

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
経済学科 (4)	* 1 ヲ国語を選択して4単位修得。			
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)		
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)		
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)		
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)		
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)		
	韓国朝鮮語Ⅰ文法・講読 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ文法・講読 (1)		
	韓国朝鮮語Ⅰ会話・作文 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ会話・作文 (1)		
	インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)		
	インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)		
ラテン語Ⅰ文法 (1)	ラテン語Ⅱ文法 (1)			
ラテン語Ⅰ講読 (1)	ラテン語Ⅱ講読 (1)			
ギリシャ語Ⅰ文法 (1)	ギリシャ語Ⅱ文法 (1)			
ギリシャ語Ⅰ講読 (1)	ギリシャ語Ⅱ講読 (1)			
経営学科 (4)	* 1 ヲ国語4単位を修得。			
	英語Ⅰリスニング (1)	英語Ⅱリスニング (1)	英語Ⅲリーディング (1)	英語Ⅳリーディング (1)
	英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)	英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅳ総合 (1)
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)		
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)		
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)		
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)		
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)		
	韓国朝鮮語Ⅰ文法・講読 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ文法・講読 (1)		
	韓国朝鮮語Ⅰ会話・作文 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ会話・作文 (1)		
インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)			
インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)			
ラテン語Ⅰ文法 (1)	ラテン語Ⅱ文法 (1)			
ラテン語Ⅰ講読 (1)	ラテン語Ⅱ講読 (1)			
ギリシャ語Ⅰ文法 (1)	ギリシャ語Ⅱ文法 (1)			
ギリシャ語Ⅰ講読 (1)	ギリシャ語Ⅱ講読 (1)			
法律学科 (4)	* 1 ヲ国語4単位を修得。			
	英語Ⅰライティング (1)	英語Ⅱライティング (1)	英語ⅢトピックディスカッションB (1)	英語ⅣトピックディスカッションB (1)
	英語Ⅰリスニング (1)	英語Ⅱリスニング (1)	英語Ⅲリーディング (1)	英語Ⅳリーディング (1)
	英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)	英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅳ総合 (1)
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)	フランス語Ⅲ文法・講読 (1)	フランス語Ⅳ文法・講読 (1)
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)	フランス語Ⅲ会話・作文 (1)	フランス語Ⅳ会話・作文 (1)
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅲ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読 (1)
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅲ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文 (1)
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅲ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅳ文法・講読 (1)
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅲ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅳ会話・作文 (1)
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)	中国語Ⅲ語法 (1)	中国語Ⅳ語法 (1)
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)	中国語Ⅲ会話・作文 (1)	中国語Ⅳ会話・作文 (1)
	韓国朝鮮語Ⅰ文法・講読 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ文法・講読 (1)	韓国朝鮮語Ⅲ文法・講読 (1)	韓国朝鮮語Ⅳ文法・講読 (1)
韓国朝鮮語Ⅰ会話・作文 (1)	韓国朝鮮語Ⅱ会話・作文 (1)	韓国朝鮮語Ⅲ会話・作文 (1)	韓国朝鮮語Ⅳ会話・作文 (1)	

選択外国語

第2年次以降

英語イマージョンプログラムA (2)	英語イマージョンプログラムB (2)
英語イマージョンプログラムC (2)	英語通訳の基礎 (1)
英語翻訳の基礎 (1)	英語プレゼンテーションの基礎 (1)

(3) 各学部・学科の外国語科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

英語

英語Ⅰオラル・コミュニケーションA (3)	英語Ⅱオラル・コミュニケーションA (3)
英語Ⅰオラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅱオラル・コミュニケーションB (1)
英語Ⅰオラル・コミュニケーションC (2)	英語Ⅱオラル・コミュニケーションC (2)
英語Ⅲオラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅳオラル・コミュニケーションB (1)
英語Ⅰリーディング (1)	英語Ⅱリーディング (1)
英語Ⅲリーディング (1)	英語Ⅳリーディング (1)
英語Ⅰライティング (1)	英語Ⅱライティング (1)
英語Ⅰリスニング (1)	英語Ⅱリスニング (1)
英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)
英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅳ総合 (1)
英語イマージョンプログラムA (2)	英語イマージョンプログラムB (2)
英語イマージョンプログラムC (2)	英語通訳の基礎 (1)
英語翻訳の基礎 (1)	英語プレゼンテーションの基礎 (1)

フランス語

フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)
フランス語Ⅲ文法・講読 (1)	フランス語Ⅳ文法・講読 (1)
フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)
フランス語Ⅲ会話・作文 (1)	フランス語Ⅳ会話・作文 (1)
基礎フランス語ⅠA (1)	基礎フランス語ⅡA (1)
基礎フランス語ⅠB (1)	基礎フランス語ⅡB (1)
基礎フランス語ⅠC (1)	基礎フランス語ⅡC (1)
基礎フランス語ⅠD (1)	基礎フランス語ⅡD (1)

ドイツ語

ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)
----------------	----------------

ドイツ語Ⅲ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読(1)
ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)
ドイツ語Ⅲ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文(1)
基礎ドイツ語Ⅰ文法(1)	基礎ドイツ語Ⅱ文法(1)
基礎ドイツ語Ⅰコミュニケーション(2)	基礎ドイツ語Ⅱコミュニケーション(2)
基礎ドイツ語Ⅰ講読(1)	基礎ドイツ語Ⅱ講読(1)

スペイン語

スペイン語Ⅰ文法・講読(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1)
スペイン語Ⅲ文法・講読(1)	スペイン語Ⅳ文法・講読(1)
スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ会話・作文(1)
スペイン語Ⅲ会話・作文(1)	スペイン語Ⅳ会話・作文(1)
基礎スペイン語Ⅰ文法(2)	基礎スペイン語Ⅱ文法(2)
基礎スペイン語Ⅰ講読(1)	基礎スペイン語Ⅱ講読(1)
基礎スペイン語Ⅰ作文(1)	基礎スペイン語Ⅱ作文(1)

ポルトガル語

ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1)
ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)

中国語

中国語Ⅰ語法(1)	中国語Ⅱ語法(1)
中国語Ⅲ語法(1)	中国語Ⅳ語法(1)
中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ会話・作文(1)
中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ会話・作文(1)
中国語Ⅴ(1)	中国語Ⅵ(1)

韓国朝鮮語

韓国朝鮮語Ⅰ文法・講読(1)	韓国朝鮮語Ⅱ文法・講読(1)
韓国朝鮮語Ⅲ文法・講読(1)	韓国朝鮮語Ⅳ文法・講読(1)
韓国朝鮮語Ⅰ会話・作文(1)	韓国朝鮮語Ⅱ会話・作文(1)
韓国朝鮮語Ⅲ会話・作文(1)	韓国朝鮮語Ⅳ会話・作文(1)

インドネシア語

インドネシア語Ⅰ文法・講読(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1)
------------------	------------------

インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1) インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)

ラテン語

ラテン語Ⅰ文法 (1) ラテン語Ⅱ文法 (1)

ラテン語Ⅲ文法 (1) ラテン語Ⅳ文法 (1)

ラテン語Ⅰ講読 (1) ラテン語Ⅱ講読 (1)

ラテン語Ⅲ講読 (1) ラテン語Ⅳ講読 (1)

ギリシャ語

ギリシャ語Ⅰ文法 (1) ギリシャ語Ⅱ文法 (1)

ギリシャ語Ⅰ講読 (1) ギリシャ語Ⅱ講読 (1)

日本語

日本語Ⅰ (3) 日本語Ⅱ (2)

日本語Ⅲ (3)

総合日本語A (2) 総合日本語B (2)

3. 必要な単位数を超過して修得した単位数および選択外国語科目の単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

D 体育科目履修要項

1. 卒業のためには、体育科目を2単位履修しなければならない。

2. 体育科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数) 必修

基礎体育A (1) 1年次(春学期)

基礎体育B (1) 1年次(秋学期)

選択

スポーツ実技(個人スポーツ) (1) スポーツ実技(集団スポーツ) (1)

スポーツ実技(アウトドアスポーツ) (1) スポーツ実技(健康スポーツ) (1)

スポーツ実技(生涯スポーツ) (1) スポーツ実技(フィットネス) (1)

3. 基礎体育A(春学期)、基礎体育B(秋学期)ともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択をおこなう。

4. スポーツ実技の履修年次は、2・3・4年次とする。
5. スポーツ実技は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
6. 体育科目については、欠席時数が授業予定総時数の20%を越える場合、「欠席過多（S）」による不合格とする。

E テーマ科目履修要項

1. 卒業のためには、テーマ科目を10単位履修しなければならない。
2. テーマ科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択必修

「異文化との出会い」(2)

文化の比較	異文化との接触
異文化の理解	日本との出会い
アジアとの出会い	イスラムとの出会い
ヨーロッパとの出会い	南北アメリカとの出会い

「生命と環境」(2)

生命と倫理問題	環境と倫理問題
人間と環境	生活環境と物質
自然環境と生物	生命観と環境観の変遷
社会システムと環境	生命と法律問題

「知識・言語と情報社会」(2)

こころとは	ことばとは
知識の探求	プライバシーと倫理
人間と機械	文化と情報
情報社会の構造	情報を読む

「モダンの系譜」(2)

思想・文化をめぐって	芸術をめぐって
歴史の諸相	文学をめぐって
社会の諸相	科学の諸相
人権をめぐって	政治・経済の諸相

- (1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。
- (2) 「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4テーマについて、次のいずれかの方法に従って履修しなければならない。

- ① 4 テーマの中から 1 テーマを選択し、そのテーマについて 5 科目を履修する
- ② 4 テーマの中から 2 テーマを選択し、そのうちの 1 テーマについて 3 科目、もう 1 テーマについて 2 科目の計 5 科目を履修する
3. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

F 分野科目履修要項

1. 分野科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 分野科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)
- 選択

哲学A	(2)	哲学B	(2)
文学A	(2)	文学B	(2)
考古学A	(2)	考古学B	(2)
日本史A	(2)	日本史B	(2)
東洋史A	(2)	東洋史B	(2)
西洋史A	(2)	西洋史B	(2)
美術A	(2)	美術B	(2)
音楽A	(2)	音楽B	(2)
倫理学	(2)	人文地理学	(2)
自然地理学	(2)	地誌概論	(2)
世界史	(2)		
法学A	(2)	法学B	(2)
日本国憲法	(2)		
政治学A	(2)	政治学B	(2)
文化人類学A	(2)	文化人類学B	(2)
社会学A	(2)	社会学B	(2)
経済学A	(2)	経済学B	(2)
数学A	(2)	数学B	(2)
物理学A	(2)	物理学B	(2)
生命自然史	(2)	生命科学	(2)
基礎生物学セミナーA	(4)	基礎生物学セミナーB	(4)
化学	(2)		

心理学A	(2)	心理学B	(2)
科学技術論A	(2)	科学技術論B	(2)
地球科学A	(2)	地球科学B	(2)
スポーツ科学論	(2)	健康科学論	(2)
スポーツ科学演習A	(2)	スポーツ科学演習B	(2)

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

G 情報科目履修要項

1. 情報科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 情報科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択
情報リテラシー (2) 情報機器の操作 (2)
(1) 情報リテラシーの履修年次は、1～3年次とする。
(2) 情報機器の操作の履修年次は、1～4年次とする。
3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. 情報科目は、人文学部・外国語学部・法学部の学生に限って登録ができる。
5. 情報科目は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

H インターンシップ科目履修要項

1. インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. インターンシップ科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)
選択
インターンシップ研修 (2)
(1) 履修年次は、3年次とする。
3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. インターンシップ研修は、自由科目(卒業必要単位に算入

されない科目)として履修することはできない。

人文学部履修要項

1. 人文学部生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目8単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項のⅠ」を参照のこと）。
3. 学科科目は必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「各学科履修要項のⅡならびにⅢ」を参照のこと）。
4. それぞれの科目の履修年次については別に定める（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと）。
5. 人文学部生は、下記の科目を卒業に必要な単位として算入することができる。
 - (1) 共通教育科目、学部共通科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位を越えて履修した科目。
 - (2) 他学科の学科科目（他学科生履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部、他学科生履修不可の科目を除く）。ただし、その際の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 人文学部生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。
7. 人文学部生が学期ごとに登録を許される総単位数は自由科目を除き、24単位とする。ただし、学期をまたがる通年科目の単位数については、学期ごとにその単位数の2分の1と算定する。なお、自由科目については、学期ごとの登録単位数の制限を設けない。
8. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた

場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。

キリスト教学科履修要項 ※ () 内は単位数

キリスト教学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目8単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I. 共通教育科目 (32)

キリスト教学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2) キリスト教概論 (2)
基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」
「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

キリスト教学科学生は、ラテン語を含み2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、1言語4単位以上)を修得すること。

必修外国語科目 (4)

第1年次

人文学部 キリスト教学科

ラテン語Ⅰ文法 (1) ラテン語Ⅱ文法 (1)

ラテン語Ⅰ講読 (1) ラテン語Ⅱ講読 (1)

選択必修外国語科目 (8)

第1年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。

選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「Ⅳ. 任意選択科目」の項を参照のこと。

Ⅱ. 学部共通科目 (8)

キリスト教学科生は、学部共通科目として、以下の科目から4科目8単位以上を修得すること。

選択科目 (8)

第2年次以降

キリスト教思想 (2) キリスト教文化 (2)

東西比較思想 (2) 他者と自己 (2)

コミュニケーションと文化 (2) 自己と社会 (2)

パラダイム論 (2) 人文学とキャリア形成 (2)

現代日本社会論 (2) 現代日本社会論 (2)
(自己発見と自己成長) (問題発見と問題解決)

日本語の多様性 (2) ジェンダー論 (2)

福祉論 (2) 青少年問題論 (2)

子ども・学校論 (2) 情報組織化論 (2)

視聴覚メディア論 (2) 生涯学習論 (2)

Ⅲ. 学科科目 (68)

キリスト教学科生は、必修科目を24単位、選択科目を44単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目 (24)

第1年次 (8)

聖書入門 A (2) 聖書入門 B (2)

キリスト教基礎演習Ⅰ (2) キリスト教基礎演習Ⅱ (2)

第2年次 (4)

キリスト教基礎演習Ⅲ (2) キリスト教基礎演習Ⅳ (2)

第3年次 (4)

キリスト教演習Ⅰ (2) キリスト教演習Ⅱ (2)

第4年次 (8)

キリスト教演習Ⅲ (2) キリスト教演習Ⅳ (2)

研究プロジェクト (4)

キリスト教演習Ⅱを履修するためには、キリスト教演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

キリスト教演習Ⅲを履修するためには、キリスト教演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

キリスト教演習Ⅳを履修するためには、キリスト教演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択科目 (44)

第1年次以降

聖書時代史 (2) 聖書解釈史 (2)

キリスト教史(古代教会史) (2) キリスト教史(中世教会史) (2)

キリスト教史(近世教会史) (2) キリスト教史(現代教会史) (2)

古代哲学史Ⅰ (2) 古代哲学史Ⅱ (2)

キリスト教芸術A(美術) (2) キリスト教芸術B(典礼音楽) (2)

第2年次以降

中世哲学史Ⅰ (2) 中世哲学史Ⅱ (2)

近世・現代哲学史Ⅰ (2) 近世・現代哲学史Ⅱ (2)

認識論 (2)

旧約聖書学(モーセ五書A) (2) 旧約聖書学(モーセ五書B) (2)

旧約聖書学(預言書A) (2) 旧約聖書学(預言書B) (2)

新約聖書学 (2) 新約聖書学 (2)
(福音書・使徒言行録A) (福音書・使徒言行録B)

人文学部 キリスト教学科

新約聖書学(書簡A) (2)	新約聖書学(書簡B) (2)
初期キリスト教思想A (2)	初期キリスト教思想B (2)
東方キリスト教思想A (2)	東方キリスト教思想B (2)
西方キリスト教思想A (2)	西方キリスト教思想B (2)
組織神学(キリスト論A) (2)	組織神学(キリスト論B) (2)
組織神学(三位一体論) (2)	組織神学(神学的人間論A) (2)
組織神学(神学的人間論B) (2)	組織神学(終末論) (2)
基礎神学(啓示論) (2)	基礎神学(教会論) (2)
組織神学(秘跡論A) (2)	組織神学(秘跡論B) (2)
典 礼 学 (総 論) (2)	典礼学(感謝の祭儀) (2)
典礼学(典礼暦年A) (2)	典礼学(典礼暦年B) (2)
キリスト教倫理学(基礎論A) (2)	キリスト教倫理学(基礎論B) (2)
キリスト教倫理学(各論A) (2)	キリスト教倫理学(各論B) (2)
日本キリスト教史 (2)	アジアとキリスト教 (2)
宗 教 学 (2)	宗 教 社 会 学 (2)
宗 教 史 I (2)	宗 教 史 II (2)
宗 教 思 想 A (2)	宗 教 思 想 B (2)
カウンセリング指導法 (2)	
司 牧 神 学 (2)	宣 教 学 (2)
教会法(基礎論A) (2)	教会法(基礎論B) (2)
教会法(各論A) (2)	教会法(各論B) (2)
聖書ギリシャ語(初級) I (2)	聖書ギリシャ語(初級) II (2)
聖書ヘブライ語(初級) I (2)	聖書ヘブライ語(初級) II (2)

第3年次以降

聖書ギリシャ語(中級) I (2)	聖書ギリシャ語(中級) II (2)
聖書ヘブライ語(中級) I (2)	聖書ヘブライ語(中級) II (2)
実践神学(説教学) (2)	

IV. 任意選択科目 (20)

キリスト教学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目

- (3) キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない。）

人文学部 キリスト教学科

人文学部キリスト教学科カリキュラム表

【人文学部 キリスト教学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択		8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科 目	必修科目を24単位、選択科目を44単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。					
	必 修	24単位修得しなければならない。				
		聖書入門A(2) 聖書入門B(2) キリスト教学基礎演習Ⅰ(2) キリスト教学基礎演習Ⅱ(2)	キリスト教学基礎演習Ⅲ(2) キリスト教学基礎演習Ⅳ(2)	キリスト教学演習Ⅰ(2) キリスト教学演習Ⅱ(2)	キリスト教学演習Ⅲ(2) キリスト教学演習Ⅳ(2) 研究プロジェクト(4)	
選 択	44単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (3) キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				

卒業に必要な単位数

人文学部キリスト教学科

総単位数 **128**共通教育科目 **32**必修科目 **6**

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(1年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目 **14**

人間の尊厳科目:4(2~4年次)

テーマ科目 **10**1. 1テーマを選択し、そのテーマについて
5科目10単位を修得する

または

2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマに
ついて3科目6単位を修得し、もう1テ
ーマについて2科目4単位の計5科目10
単位を修得する

異文化との出会い:各2(1~4年次)

生命と環境:各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会:各2(1~4年次)

モダンの系譜:各2(1~4年次)

選択科目 **96**

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B
各2(1~4年次)基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技:各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー:2(1~3年次)

情報機器の操作:2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)

※1 ※2

人文学部 キリスト教学科

※1 ※2

外国語科目 12

必修外国語科目 4

ラテン語 4

ラテン語Ⅰ、Ⅱ文法 各1
ラテン語Ⅰ、Ⅱ講読 各1

選択必修外国語科目 8

英語 4~8

英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ⅣオラルコミュニケーションB 各1
英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳリーディング 各1
英語Ⅰ、Ⅱライティング 各1
英語Ⅰ、Ⅱリスニング 各1
英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合 各1

選択必修科目は、
1ヵ国語で8単位を修得
または
2ヵ国語で8単位(各言語
4単位)を修得。

フランス語 4~8

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1
フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ドイツ語 4~8

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1
ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

スペイン語 4~8

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1
スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1
ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

中国語 4~8

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1

韓国朝鮮語 4~8

韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1
韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

インドネシア語 4

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1
インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

ラテン語 4

ラテン語Ⅲ、Ⅳ文法 各1
ラテン語Ⅲ、Ⅳ講読 各1

ギリシャ語 4

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法 各1
ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読 各1

選択外国語科目

英語

英語イマージョンプログラムA、B、C 各2
英語通訳の基礎 1
英語翻訳の基礎 1
英語プレゼンテーションの基礎 1

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 24

選択科目 44

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・キリスト教学科科目の内所定の単位数を超過して修得した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

人類文化学科履修要項※()内は単位数

人類文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I. 共通教育科目 (32)

人類文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基 礎 体 育 A (1) 基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

人類文化学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位（ただし、英語以外は1言語4単位以上）を修

得すること。

必修外国語科目（４）

第１年次

英語ⅠオーラルコミュニケーションB（１） 英語ⅡオーラルコミュニケーションB（１）
英語Ⅰリーディング（１） 英語Ⅱリーディング（１）

選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、
中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「Ⅳ．任意選択科目」の項を参照のこと。

Ⅱ．学部共通科目（８）

人類文化学科学生は、学部共通科目として、選択科目8単位以上を修得すること。

選択科目（８）

第２年次以降

次の科目の中から、４科目８単位以上を修得すること。

キリスト教思想（２）	キリスト教文化（２）
東西比較思想（２）	他者と自己（２）
コミュニケーションと文化（２）	自己と社会（２）
パラダイム論（２）	人文学とキャリア形成（２）
現代日本社会論（２） （自己発見と自己成長）	現代日本社会論（２） （問題発見と問題解決）
日本語の多様性（２）	ジェンダー論（２）
福祉論（２）	青少年問題論（２）
子ども・学校論（２）	情報組織化論（２）
視聴覚メディア論（２）	生涯学習論（２）

Ⅲ. 学科科目 (68)

人類文化学科学生は、必修科目を24単位、選択必修科目を8単位以上、選択科目を36単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目 (24)

第1年次

人類文化学基礎演習Ⅰ (2) 人類文化学基礎演習Ⅱ (2)

人類文化学基礎論A (2) 人類文化学基礎論B (2)

第2年次

人類文化学基礎演習Ⅲ (2) 人類文化学基礎演習Ⅳ (2)

第3年次

人類文化学演習Ⅰ (2) 人類文化学演習Ⅱ (2)

第4年次

人類文化学演習Ⅲ (2) 人類文化学演習Ⅳ (2)

研究プロジェクト (4)

人類文化学演習Ⅱを履修するためには、人類文化学演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

人類文化学演習Ⅲを履修するためには、人類文化学演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

人類文化学演習Ⅳを履修するためには、人類文化学演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目 (8)

第1～2年次

次の科目の中から、4科目8単位以上を修得すること。なお所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

言語学概論A (2) 言語学概論B (2)

哲学概論A (2) 哲学概論B (2)

文化人類学概論A (2) 文化人類学概論B (2)

考古学概論A (2) 考古学概論B (2)

選択科目 (36)

次の科目の中から、36単位以上を修得すること。

第2年次以降

現代の言語学 A (2)	現代の言語学 B (2)
現代の哲学 A (2)	現代の哲学 B (2)
現代の文化人類学 A (2)	現代の文化人類学 B (2)
現代の考古学 (2)	統 語 論 (2)
言 語 分 析 (2)	意 味 論 (2)
社 会 言 語 学 (2)	日 本 語 音 韻 論 (2)
論 理 学 (2)	記 号 論 (2)
認 識 の 枠 組 み (2)	知 識 と 社 会 (2)
科学文化論 A (2)	科学文化論 B (2)
古代哲学史 I (2)	古代哲学史 II (2)
中世哲学史 I (2)	中世哲学史 II (2)
近世哲学史 I (2)	近世哲学史 II (2)
自 然 人 類 学 (2)	宗 教 人 類 学 (2)
社 会 人 類 学 (2)	民 族 誌 論 (2)
東アジア考古学 A (2)	東アジア考古学 B (2)
東アジア考古学 C (2)	文 化 史 A (2)
文 化 史 B (2)	
地域の文化と歴史 (2) (東南アジア)	地域の文化と歴史 (2) (環太平洋)
地域の文化と歴史 (2) (南アジア)	地域の文化と歴史 (2) (オセアニア)
地域の文化と歴史 (2) (アフリカ)	地域の文化と歴史 (2) (西アジア)
地域の文化と歴史 (2) (アメリカ大陸)	
フィールドワーク (4) (文化人類学) I	フィールドワーク (4) (文化人類学) II
考 古 学 実 習 I (2)	考 古 学 実 習 II (2)
文献資料講読(日本)I (2)	文献資料講読(日本)II (2)
文献資料講読(中国) (2)	文献資料講読(西洋)A (2)
文献資料講読(西洋)B (2)	

第3年次以降

人類文化学特殊講義 (2) (統語分析)	人類文化学特殊講義 (2) (構造と意味)
-------------------------	--------------------------

人類文化学特殊講義 (2) (対照言語学)	人類文化学特殊講義 (2) (心理言語学)
人類文化学特殊講義 (2) (英米哲学)	人類文化学特殊講義 (2) (大陸哲学A)
人類文化学特殊講義 (2) (大陸哲学B)	人類文化学特殊講義 (2) (アジアの文化人類学)
人類文化学特殊講義 (2) (文化理論)	人類文化学特殊講義 (2) (アフリカの社会人類学)
人類文化学特殊講義 (2) (新大陸の考古学)	人類文化学特殊講義 (2) (アジアの社会人類学)
人類文化学特殊講義 (2) (縄文文化論)	人類文化学特殊講義 (2) (中国的世界の形成)
人類文化学特殊講義 (2) (農耕文化論)	人類文化学特殊講義 (2) (物質文化論)

IV. 任意選択科目 (20)

人類文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
 - (4) 他学部・他学科科目 (他学部・他学科履修不可科目を除く)
- (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

人文学部人類文化学科カリキュラム表

【人文学部 人類文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。					
学部 共通 科目	選 択				8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。		
学 科	必修科目を24単位、選択必修科目を8単位以上、選択科目を36単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。						
	必 修	24単位修得しなければならない。					
		人類文化学基礎演習Ⅰ(2)	人類文化学基礎演習Ⅲ(2)	人類文化学演習Ⅰ(2)	人類文化学演習Ⅲ(2)		
		人類文化学基礎演習Ⅱ(2)	人類文化学基礎演習Ⅳ(2)	人類文化学演習Ⅱ(2)	人類文化学演習Ⅳ(2)		
	人類文化学基礎論A(2)			研究プロジェクト(4)			
	人類文化学基礎論B(2)						
科	選択必修	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
目	選 択	36単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。					
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目。 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)					

卒業に必要な単位数

人文学部人類文化学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2~4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する

または

2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、自然地理学、人文地理学、地誌概論、倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、文化人類学A、文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~3年次)

情報機器の操作 2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

人文学部 人類文化学科

※1 ※2

外国語科目	12	外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。		
必修外国語科目	4	英 語	4	英語Ⅰ、Ⅱオーラル・コミュニケーションB 各1 英語Ⅰ、Ⅱリーディング 各1
選択必修外国語科目	8	英 語	1~4	英語Ⅰ、Ⅱライティング 各1 英語Ⅰ、Ⅱリスニング 各1 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合 各1 英語Ⅲ、Ⅳオーラル・コミュニケーションB 各1 英語Ⅲ、Ⅳリーディング 各1
選択必修科目は、1ないし2カ国語で8単位(ただし、英語は1~4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。		フ ラ ンス 語	4~8	フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1 フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
		ド イ ツ 語	4~8	ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1 ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
		ス ペ イ ン 語	4~8	スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1 スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
		ポルトガル語	4	ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1 ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1
		中 国 語	4~8	中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1 中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
		韓 国 朝 鮮 語	4~8	韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1 韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1
		インドネシア語	4	インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1 インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1
		ラ テ ン 語	4~8	ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法 各1 ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読 各1
		ギリシャ語	4	ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法 各1 ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読 各1
	選択外国語科目		英 語	

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 24

選択必修科目 8

選択科目 36

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の8単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・人類文化学科科目の内です定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

心理人間学科履修要項 ※()内は単位数

心理人間学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目 8 単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I. 共通教育科目 (32)

心理人間学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基 礎 体 育 A (1) 基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

心理人間学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位（ただし、英語以外は1言語4単位以上）を修

得すること。

必修外国語科目（４）

第１年次

- 英語ⅠオーラルコミュニケーションB（１） 英語ⅡオーラルコミュニケーションB（１）
英語Ⅰリーディング（１） 英語Ⅱリーディング（１）

選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。
英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「Ⅳ．任意選択科目」の項を参照のこと。

Ⅱ．学部共通科目（８）

心理人間学科学生は、学部共通科目として、選択科目を４科目８単位以上修得すること。

選択科目（８）

第２年次以降

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| キリスト教思想（２） | キリスト教文化（２） |
| 東西比較思想（２） | 他者と自己（２） |
| コミュニケーションと文化（２） | 自己と社会（２） |
| パラダイム論（２） | 人文学とキャリア形成（２） |
| 現代日本社会論（自己発見と自己成長）（２） | 現代日本社会論（問題発見と問題解決）（２） |
| 日本語の多様性（２） | ジェンダー論（２） |
| 福祉論（２） | 青少年問題論（２） |
| 子ども・学校論（２） | 情報組織化論（２） |
| 視聴覚メディア論（２） | 生涯学習論（２） |

Ⅲ. 学科科目 (68)

心理人間学科学生は、必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目 (20)

第1年次

心理人間学基礎演習Ⅰ (2) 心理人間学基礎演習Ⅱ (2)

第2年次

心理人間学基礎演習Ⅲ (2) 心理人間学基礎演習Ⅳ (2)

第3年次

心理人間学演習Ⅰ (2) 心理人間学演習Ⅱ (2)

第4年次

心理人間学演習Ⅲ (2) 心理人間学演習Ⅳ (2)

研究プロジェクト (4)

心理人間学演習Ⅱを履修するためには、心理人間学演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

心理人間学演習Ⅲを履修するためには、心理人間学演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

心理人間学演習Ⅳを履修するためには、心理人間学演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

なお、「研究プロジェクト」の単位を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択必修科目 (6)

第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位修得すること。その際、*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科目、合計3科目6単位を修得すること。なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

心理学概論 (2) 教育心理学概論 (2)

*教育学概論 (2) *人間関係概論 (2)

選択科目 (42)

第2年次

人間関係フィールドワークⅠ (4) 人間関係フィールドワークⅡ (4)

人文学部 心理人間学科

心理学実験Ⅰ (2) 心理学実験Ⅱ (2)
第2年次以降

人間関係プロセス論 (3) 人間関係プロセス論 (3)
(グループプロセス) (コミュニケーションプロセス)

人間関係トレーニング (2) 臨床教育学 (2)

教育社会学 (2) 比較教育学 (2)

教育社会史 (2) 教育思想 (2)

教育課程論 (2) 教育制度論 (2)

コミュニケーション論 (2) 障害児教育論 (2)

人格心理学Ⅰ (2) 人格心理学Ⅱ (2)

発達心理学 (2) 学習心理学 (2)

認知心理学 (2) 社会心理学 (2)

心理療法論 (2) 心理検査法 (2)

人間関係原論 (2) カウンセリング的対話 (3)

ボディワーク (3) ボディワーク (3)
(自己の象徴としてのからだ) (未来を切り拓くからだ)

ホリスティック教育論 (2) ホリスティック死生論 (2)

からだことば (3) 地域開発と人間関係 (3)

心理測定法 (2)

第3年次以降

教育と文化 (2) 子ども・青年社会学 (2)

現代教育論 (2) 近代教育と子ども (2)

生涯発達心理学 (2) 乳幼児心理学 (2)

臨床心理学 (2) 精神保健学 (2)

ファシリテーター・トレーニング (2) リーダーシップ・トレーニング (2)

体験学習実践論 (3) 心理人間学文献講読A (2)

心理人間学文献講読B (2) 心理調査法 (2)

心理教育統計法Ⅰ (2) 心理教育統計法Ⅱ (2)

質的研究法 (2)

IV. 任意選択科目 (20)

心理人間学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

(1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目

- (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (3)心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (4)他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く)
(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)

人文学部心理人間学科カリキュラム表

【人文学部 心理人間学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科 目	必修	必修科目を20単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を42単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。 20単位修得しなければならない。 心理人間学基礎演習Ⅱ(2) 心理人間学基礎演習Ⅲ(2) 心理人間学演習Ⅰ(2) 心理人間学演習Ⅲ(2) 心理人間学基礎演習Ⅱ(2) 心理人間学基礎演習Ⅳ(2) 心理人間学演習Ⅱ(2) 心理人間学演習Ⅳ(2) 研究プロジェクト(4)			
	選択必修	6 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	選 択	42単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	任意選択科目	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3) 心理人間学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)			

卒業に必要な単位数

人文学部心理人間学科

総単位数 **128**共通教育科目 **32**必修科目 **6**

宗教科目

宗教論:2(1年次)

キリスト教概論:2(2年次)

体育科目

基礎体育A:1(1年次)

基礎体育B:1(1年次)

選択必修科目 **14**

人間の尊厳科目:4(2~4年次)

テーマ科目 **10**

異文化との出会い:各2(1~4年次)

生命と環境:各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会:各2(1~4年次)

モダンの系譜:各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて
5科目10単位を修得する

または

2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて
3科目6単位を修得し、もう1テーマについて
2科目4単位の計5科目10
単位を修得する選択科目 **96**

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技:各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー:2(1~3年次)

情報機器の操作:2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修:2(3年次)

※1 ※2

人文学部 心理人間学科

※1 ※2

外国語科目	12	外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。	
必修外国語科目	4	英語	4
		英語Ⅰ、Ⅱオーラル・コミュニケーションB	各1
		英語Ⅰ、Ⅱリーディング	各1
選択必修外国語科目	8	英語	1~4
		英語Ⅰ、Ⅱライティング	各1
		英語Ⅰ、Ⅱリスニング	各1
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合	各1
		英語Ⅲ、Ⅳオーラル・コミュニケーションB	各1
		英語Ⅲ、Ⅳリーディング	各1
		フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読	各1
		ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文	各1
		中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法	各1
		韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読	各1
		インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文	各1
		ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法	各1
		ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読	各1
		ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法	各1
		ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読	各1
選択外国語科目		英語	
		英語イマージョンプログラムA、B、C	各2
		英語通訳の基礎	1
		英語翻訳の基礎	1
		英語プレゼンテーションの基礎	1

学部共通科目 8

選択科目 8

学科科目 68

必修科目 20

選択必修科目 6

選択科目 42

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学科科目のうち、選択必修科目の6単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に算入される。

任意選択科目 20

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・心理人間学科科目の内定で所定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

日本文化学科履修要項 ※()内は単位数

日本文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目8単位以上、学科科目68単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得すること。

I. 共通教育科目 (32)

日本文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得すること。

必修科目 (6)

第1年次

宗 教 論 (2)

基 礎 体 育 A (1) 基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (12)

日本文化学科学生は、2カ国語にわたって、各言語を4単位以上を修得すること。

なお、選択必修外国語科目については、1ないし2カ国語8単位(ただし、英語以外は1言語4単位以上)

を修得すること。

必修外国語科目（４）

第１年次

英語ⅠオーラルコミュニケーションB（１） 英語ⅡオーラルコミュニケーションB（１）

英語Ⅰリーディング（１） 英語Ⅱリーディング（１）

選択必修外国語科目（８）

第１年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。

選択必修の単位に導入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「Ⅳ. 任意選択科目」の項を参照のこと。

Ⅱ. 学部共通科目（８）

日本文化学科学生は、学部共通科目として、以下の科目から４科目８単位以上を履修すること。

選択科目（８）

第２年次以降

キリスト教思想（２） キリスト教文化（２）

東西比較思想（２） 他者と自己（２）

コミュニケーションと文化（２） 自己と社会（２）

パラダイム論（２） 人文学とキャリア形成（２）

現代日本社会論（２） 現代日本社会論（２）
（自己発見と自己成長） （問題発見と問題解決）

日本語の多様性（２） ジェンダー論（２）

福祉論（２） 青少年問題論（２）

子ども・学校論（２） 情報組織化論（２）

視聴覚メディア論（２） 生涯学習論（２）

Ⅲ. 学科科目 (68)

日本文化学科学生は、必修科目を20単位、選択科目を48単位以上、合計68単位以上を修得すること。

必修科目 (20)

第1年次

日本文学基礎演習Ⅰ (2) 日本文学基礎演習Ⅱ (2)

第2年次

日本文学基礎演習Ⅲ (2) 日本文学基礎演習Ⅳ (2)

第3年次

日本文学演習Ⅰ (2) 日本文学演習Ⅱ (2)

第4年次

日本文学演習Ⅲ (2) 日本文学演習Ⅳ (2)

研究プロジェクト (4)

日本文学演習Ⅱを履修するためには、日本文学演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

日本文学演習Ⅲを履修するためには、日本文学演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

日本文学演習Ⅳを履修するためには、日本文学演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

なお、「研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出すること。

選択科目 (48)

次の科目の中から48以上単位を修得すること。

第1年次

日本文学入門 (2) 日本文化史概説 (2)

日本文学入門 (2) 日本語教育入門 (2)

第1年次以降

対話的コミュニケーション (2)

からだことば (3) 文章表現法 (2)

言語学概論A (2) 言語学概論B (2)

第2年次以降

日本文化史A (2) 日本文化史B (2)

日本文化史C (2) 近現代日本とアジア (2)

日本民俗文化論 (2) 日本芸能史 (2)

宗教人類学 (2) 消費社会論 (2)

人文学部 日本文化学科

日本経済史 (2)	表象文化論 (2)
表層文化論 (2)	現代社会と人間 (3)
日本思想史 (2)	地域文化論 (2)
日本中世史 (2)	日本美術史 (2)
和歌文学研究 (2)	日本文学史 A (2)
日本文学史 B (2)	日本文学史 C (2)
物語・日記文学研究 (2)	中世文学研究 (2)
王朝文学研究 (2)	近現代文学研究 (2)
近世文学研究 (2)	近現代小説研究 (2)
近現代女性作家研究 (2)	女性と古典文学 (2)
古典資料講読 (2)	中国古典研究 (2)
古文献入門 (2)	
漢文学 A (2)	漢文学 B (2)
漢文学研究 I (2)	漢文学研究 II (2)
日本語史 I (2)	日本語史 II (2)
現代日本語の構造 I (2)	
言語分析 A (2)	言語分析 B (2)
日本語シンタックス (2)	社会言語学 (2)
日本語音声学 (2)	日本語音韻論 (2)
日本語研究史 (2)	外国人による日本語研究 (2)
日本語教授法 I (2)	第二言語習得研究 (2)
日本語の教育と学習 (2)	日本語教育文法(初級) (2)
日本語教育教材研究 (2)	日本語の会話教育 (2)
第3年次以降	
日本語教授法 II (2)	日本語教育文法(中級) (2)
現代日本語の構造 II (2)	心理言語学 (2)
コンピュータと言語学 (2)	日本語の口頭能力研究 (2)
日本語の音声教育 (2)	日本語能力評価法 (2)
第4年次	
日本語教育実地研究 (2)	

Ⅲ. 任意選択科目 (20)

日本文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得すること。任意選択科目として認められる科目は以下のとおりである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (3) 日本文化学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目
- (4) 他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）
（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭」に関する科目）は含まれない）

人文学部日本文化学科カリキュラム表

【人文学部 日本文化学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部 共通 科目	選 択	8 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科		必修科目を20単位、選択科目を48単位以上、合計68単位以上を修得しなければならない。			
科 目	必 修	20単位修得しなければならない。			
		日本文学基礎演習Ⅰ(2) 日本文学基礎演習Ⅱ(2)	日本文学基礎演習Ⅲ(2) 日本文学基礎演習Ⅳ(2)	日本文学演習Ⅰ(2) 日本文学演習Ⅱ(2)	日本文学演習Ⅲ(2) 日本文学演習Ⅳ(2) 研究プロジェクト(4)
科 目	選 択	48単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (3) 日本文学学科科目で所定の単位数を超過して修得した科目。 (4) 他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く) (なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)			

卒業に必要な単位数

人文学部日本文学学科

総単位数 **128**共通教育科目 **32**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて
5科目10単位を修得する

または

2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマに
ついて3科目6単位を修得し、もう1テ
ーマについて2科目4単位の計5科目10
単位を修得する

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、
化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、
科学技術論B、地球科学A、地球科学B、
スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科
学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー: 2(1~3年次)

情報機器の操作: 2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2

人文学部 日本文化学科

※1 ※2

外国語科目	12	外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。	
必修外国語科目	4	英語	4
		英語Ⅰ、ⅡオーラルコミュニケーションB	各1
		英語Ⅰ、Ⅱリーディング	各1
選択必修外国語科目	8	英語	1~4
		英語Ⅰ、Ⅱライティング	各1
		英語Ⅰ、Ⅱリスニング	各1
		英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合	各1
		英語Ⅲ、ⅣオーラルコミュニケーションB	各1
		英語Ⅲ、Ⅳリーディング	各1
		フランス語	4~8
		フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		ドイツ語	4~8
		ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		スペイン語	4~8
		スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		ポルトガル語	4
		ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読	各1
		ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文	各1
		中国語	4~8
		中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法	各1
		韓国朝鮮語	4~8
		韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読	各1
		韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文	各1
		インドネシア語	4
		インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読	各1
		インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文	各1
		ラテン語	4~8
		ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法	各1
		ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読	各1
		ギリシャ語	4
		ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法	各1
		ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読	各1
選択外国語科目		英語	
		英語イマージョンプログラムA、B、C	各2
		英語通訳の基礎	1
		英語翻訳の基礎	1
		英語プレゼンテーションの基礎	1
学部共通科目	8		
選択科目	8		
学科科目	68		
必修科目	20		
選択科目	48		
任意選択科目	20	任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・人文学部共通科目・日本文学科学科科目の内で所定の単位数を超過して履修した科目、および他学部・他学科科目。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。	

外国語学部履修要項

1. 外国語学部学生は、卒業のためには「共通教育科目」、「学科科目」、「外国語学部共通基礎科目」、「外国語学部共通専門科目」、「任意選択科目」を履修して128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める。（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと。）
3. 外国語学部学生は、外国語学部共通基礎科目を8単位以上、また外国語学部共通専門科目を10単位以上修得しなければならない。
4. 外国語学部学生は各自の所属する学科の必修科目、選択科目を、それぞれ所定の単位数修得しなければならない。この履修方法については別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
5. 外国語学部学生は、下記の科目を任意選択科目として卒業に必要な単位に算入できる。算入できる単位数は別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
 - (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した科目。
 - (2) 外国語学部他学科の学科の科目（他学科履修不可の科目を除く）。
 - (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 外国語学部学生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。
7. 外国語学部学生が1学期に履修登録を許される総単位数は自由科目を除き、22単位以内とする。なお、通年科目につ

いては、その単位数の2分の1ずつを各学期に含めるものとする。

8. 本学に設置していない科目を、留学先大学で修得した場合、教育上適切と認められれば、任意選択科目として認定することができる。
9. 特に必修外国語の能力があると認定された学生については、学生本人の申請に基づいて必修外国語科目(学科科目を含む)の履修を免除することがある。なお、この場合、免除された外国語科目と同じ単位数の科目(自由科目を除く)を履修しなければならない。

また、この場合、指定年次に達していない場合でも、免除された外国語科目の上級年次の外国語科目の履修を認めることがある。
10. 外国語学部学生は「演習Ⅳ」の単位を修得するには卒業論文を提出しなければならない。
11. 欠席時数が授業科目の授業予定数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績は原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

英米学科履修要項

I. 共通教育科目 (36)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

外国語科目 (16)

必修外国語科目 (8)

下記の4科目計8単位を第1年次に履修すること。

英語ⅠオーラルコミュニケーションA (3) 英語ⅡオーラルコミュニケーションA (3)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

選択必修外国語科目 (8)

次の外国語の中から、1または2言語8単位(ただし1言語は4単位以上)を履修すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、
韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

外国語科目については、共通教育科目履修要項を参照す

ること。

II. 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説)A
文学研究の基礎 (2) (小説)B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

B. 選択科目

この科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第1年次

キャリアデザイン (2)

学部共通専門科目 (10)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2)	心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2)	第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2)	比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2)	南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2)	国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2)	比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)	

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2)	日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2)	西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2)	国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2)	社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4)	憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2)	国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2)	国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4)	行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2)	国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2)	西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2)	政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2)	政 治 思 想 史 B (2)
国 際 政 治 学 A (2)	国 際 政 治 学 B (2)
国 際 機 構 論 (2)	

Ⅲ. 学科科目 (52)

必修科目 (30)

下記の18科目計30単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

英米研究入門Ⅰ (2) 英米研究入門Ⅱ (2)

Writing in EnglishⅠ (2) Writing in EnglishⅡ (2)

English WorkshopⅠ (1) English WorkshopⅡ (1)

第2年次

Writing in EnglishⅢ (1) Writing in EnglishⅣ (1)

English WorkshopⅢ (1) English WorkshopⅣ (1)

Communication in EnglishⅠ (3) Communication in EnglishⅡ (3)

Reading in EnglishⅠ (1) Reading in EnglishⅡ (1)

第3年次

演習Ⅰ (2) 演習Ⅱ (2)

第4年次

演習Ⅲ (2) 演習Ⅳ (2)

演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

演習Ⅲを履修するためには、演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

演習Ⅳを履修するためには、演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

選択科目 (22)

下記の科目の中から計22単位を履修すること。

第2年次以降

アメリカ事情実習 (4)

第3年次以降

政治とコミュニケーション (2) 人間関係とコミュニケーション (2)

コミュニケーション特殊研究A (2) コミュニケーション特殊研究B (2)

英語教育特殊研究 (2) 英語教育特殊研究 (2)
(メディアの活用) (評価)

英語教育特殊研究 (2) 英語の構造Ⅰ (2)
(教材作成)

英語の構造Ⅱ (2)	英文法論Ⅰ (2)
英文法論Ⅱ (2)	英語音声学Ⅰ (2)
英語音声学Ⅱ (2)	英語学特殊研究 (2) (テキスト言語学)
英語学特殊研究 (2) (理論言語学)	英語学特殊研究 (2) (応用言語学)
英語学特殊研究 (2) (意味論)	英語学特殊研究 (2) (統語論)
英語学特殊研究 (2) (対照言語学)	英語学特殊研究 (2) (音韻論)
英語学特殊研究 (2) (比較言語学)	英語学特殊研究 (2) (心理言語学)
イギリス文学史Ⅰ (2)	イギリス文学史Ⅱ (2)
アメリカ文学史Ⅰ (2)	アメリカ文学史Ⅱ (2)
英米の小説 (2)	英米の詩 (2)
英米の演劇 (2)	
英米文学特殊研究 (2) (小説)A	英米文学特殊研究 (2) (小説)B
英米文学特殊研究 (2) (詩)A	英米文学特殊研究 (2) (詩)B
英米文学特殊研究 (2) (演劇)A	英米文学特殊研究 (2) (演劇)B
作家作品研究 (2) (アメリカ文学)A	作家作品研究 (2) (アメリカ文学)B
作家作品研究 (2) (イギリス文学)A	作家作品研究 (2) (イギリス文学)B
アメリカの歴史 (2)	アメリカ史特殊研究A (2)
アメリカ史特殊研究B (2)	アメリカ史特殊研究C (2)
アメリカの政治 (2)	アメリカ政治特殊研究A (2)
アメリカ政治特殊研究B (2)	アメリカの社会 (2)
アメリカ社会特殊研究A (2)	アメリカ社会特殊研究B (2)
アメリカの外交 (2)	アメリカ外交特殊研究A (2)
アメリカ外交特殊研究B (2)	アメリカの経済 (2)
アメリカ経済特殊研究A (2)	アメリカ経済特殊研究B (2)
日米関係論 (2)	英米の思想 (2)

基礎英語通訳法 (2)	上級英語通訳法 (2)
マスメディアの英語 (2)	英語プレゼンテーション (2)
英語翻訳法 (2)	ビジネス・コミュニケーション (2)
クリエイティブライティング (2)	
Intermediate English Skills A (2)	Intermediate English Skills B (2)
Advanced English Skills A (2)	Advanced English Skills B (2)
Special Topics in English: Issues in Society	(2)
Special Topics in English: Issues in the Humanities	(2)
Special Topics in English: Issues in Interdisciplinary Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in International Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Cross-cultural Studies	(2)
Special Topics in English: Issues in Language Studies	(2)

IV. 任意選択科目 (22)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計22単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部英米学科カリキュラム表

【外国語学部 英米学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		36単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	A. 選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	任意選択科目に算入される。			
学部共通専門科目	A. 選択必修	10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。			
学 科 必 修 目	必修科目を30単位、選択科目を22単位以上、合計52単位以上を修得しなければならない。				
	必 修	30単位修得しなければならない。			
		英米研究入門Ⅰ(2) 英米研究入門Ⅱ(2) Writing in EnglishⅠ(2) English WorkshopⅠ(1) English WorkshopⅡ(1)	Writing in EnglishⅢ(1) Writing in EnglishⅣ(1) English WorkshopⅢ(1) English WorkshopⅣ(1) Communication in EnglishⅠ(3) Communication in EnglishⅡ(3) Reading in EnglishⅠ(1) Reading in EnglishⅡ(1)	演習Ⅰ(2) 演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2) 演習Ⅳ(2)
選 択	22単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目	22単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				

卒業に必要な単位数

外国語学部英米学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **36**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B、
世界史、自然地理学、人文地理学、
地誌概論、倫理学

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

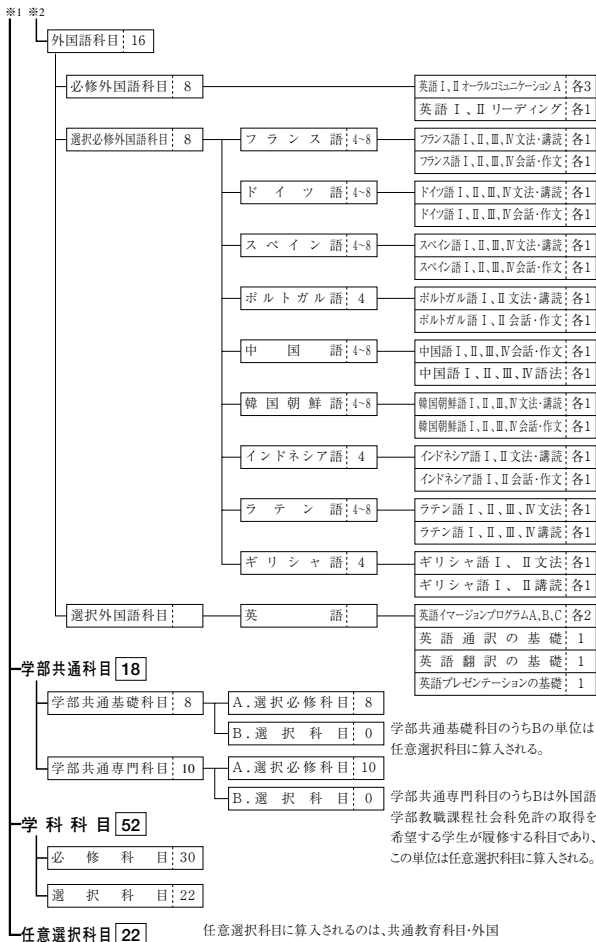
情報科目

情報リテラシー: 2(1~3年次)

情報機器の操作: 2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)



任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・外国語学部共通科目・英米学科科目の内での所定の単位数を超過して修得した科目、及び他学部・他学科科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項

I. 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎スペイン語Ⅰ文法 (2) 基礎スペイン語Ⅱ文法 (2)

基礎スペイン語Ⅰ講読 (1) 基礎スペイン語Ⅱ講読 (1)

基礎スペイン語Ⅰ作文 (1) 基礎スペイン語Ⅱ作文 (1)

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

第2年次(2)

英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)

II. 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

A. 選択必修科目

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説)A
文学研究の基礎 (2) (小説)B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

B. 選択科目

この科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第1年次

キャリアデザイン (2)

学部共通専門科目 (10)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対 照 言 語 学 (2)	心 理 言 語 学 (2)
外 国 語 教 育 論 (2)	第 二 言 語 習 得 論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文 学 理 論 (2)
文 学 と 社 会 (2)	比 較 文 化 論 (2)
第 三 世 界 論 (2)	南 北 ア メ リ カ 論 (2)
国 際 関 係 論 (2)	国 際 経 済 学 (2)
開 発 経 済 学 (2)	比 較 社 会 論 (2)
国 際 企 業 論 (2)	

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日 本 経 済 史 A (2)	日 本 経 済 史 B (2)
西 洋 経 済 史 A (2)	西 洋 経 済 史 B (2)
国 際 金 融 論 A (2)	国 際 金 融 論 B (2)
社 会 保 障 論 A (2)	社 会 保 障 論 B (2)
憲 法 A (人 権) (4)	憲 法 B (統 治 機 構) (2)
国 際 法 総 論 A (2)	国 際 法 総 論 B (2)
国 際 法 各 論 A (2)	国 際 法 各 論 B (2)
行 政 法 総 論 (4)	行 政 法 各 論 (2)
国 際 私 法 A (2)	国 際 私 法 B (2)
日 本 法 史 (2)	西 洋 法 史 A (2)
西 洋 法 史 B (2)	政 治 史 (2)
政 治 思 想 史 A (2)	政 治 思 想 史 B (2)

- 国際政治学 A (2) 国際政治学 B (2)
 国際機構論 (2)

Ⅲ. 学科科目 (60)

必修科目 (34)

下記の28科目計34単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

- | | |
|------------------|-------------------|
| スペインの文化 (2) | ラテンアメリカの文化 (2) |
| スペイン語 I 会話 A (1) | スペイン語 II 会話 A (1) |
| スペイン語 I 会話 B (1) | スペイン語 II 会話 B (1) |

第2年次

- | | |
|--------------------|-------------------|
| スペイン語 I 作文 (1) | スペイン語 II 作文 (1) |
| スペイン語 I 講読 (1) | スペイン語 II 講読 (1) |
| スペイン語 I 文法 (1) | スペイン語 II 文法 (1) |
| スペイン語 III 会話 A (1) | スペイン語 IV 会話 A (1) |
| スペイン語 III 会話 B (1) | スペイン語 IV 会話 B (1) |

第3年次

- | | |
|------------------|-----------------|
| 演習 I (2) | 演習 II (2) |
| スペイン語 III 作文 (1) | スペイン語 IV 作文 (1) |
| スペイン語 III 講読 (1) | スペイン語 IV 講読 (1) |
| スペイン語 V 会話 (1) | スペイン語 VI 会話 (1) |

第4年次

- | | |
|----------------|-----------------|
| 演習 III (2) | 演習 IV (2) |
| スペイン語 V 講読 (1) | スペイン語 VI 講読 (1) |

演習 II を履修するためには、演習 I の単位を修得していなければならない。

演習 III を履修するためには、演習 II の単位を修得していなければならない。

演習 IV を履修するためには、演習 III の単位を修得していなければならない。

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次以降

スペイン語実習 (4)

第2年次

ブラジル・ポルトガル語Ⅰ (1) ブラジル・ポルトガル語Ⅱ (1)

第3・4年次

スペイン史 (2) ラテンアメリカ史A (2)

ラテンアメリカ史B (2) スペイン文学A (2)

スペイン文学B (2) ラテンアメリカ文学A (2)

ラテンアメリカ文学B (2) スペイン思想史 (2)

ラテンアメリカの政治 (2) ラテンアメリカ経済史 (2)

ラテンアメリカの経済 (2) ラテンアメリカの経済政策 (2)

スペイン法 (2) スペイン語表現法Ⅰ (2)

スペイン語表現法Ⅱ (2) ポルトガル語比較文法 (2)

ブラジル・ポルトガル文化研究 (2) スペイン特殊研究 (2)

ラテンアメリカ特殊研究 (2) スペイン語学特殊研究 (2)

スペイン文学特殊研究A (2) スペイン文学特殊研究B (2)

スペイン語通訳法Ⅰ (2) スペイン語通訳法Ⅱ (2)

時事スペイン語Ⅰ (2) 時事スペイン語Ⅱ (2)

スペイン語翻訳法Ⅰ (2) スペイン語翻訳法Ⅱ (2)

ラテンアメリカ文化論A (2) ラテンアメリカ文化論B (2)

ラテンアメリカ社会論A (2) ラテンアメリカ社会論B (2)

スペイン語圏事情A (2) スペイン語圏事情B (2)

経済スペイン語 (2)

スペイン語圏異文化コミュニケーション論A (2)

スペイン語圏異文化コミュニケーション論B (2)

IV. 任意選択科目 (16)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計16単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。

- (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。

その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科カリキュラム表

【外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	A. 選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	任意選択科目に算入される。			
学部共通専門科目	A. 選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
	B. 選 択			B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。	
学 科 必 修 目	必修科目を34単位、選択科目を26単位以上、合計60単位以上を修得しなければならない。				
	必 修	34単位修得しなければならない。			
		スペインの文化(2) ラテンアメリカの文化(2) スペイン語I会話A(1) スペイン語I会話B(1) スペイン語II会話A(1) スペイン語II会話B(1)	スペイン語I作文(1) スペイン語II作文(1) スペイン語I講読(1) スペイン語II講読(1) スペイン語I文法(1) スペイン語II文法(1) スペイン語III会話A(1) スペイン語III会話B(1) スペイン語IV会話A(1) スペイン語IV会話B(1)	演習I(2) 演習II(2) スペイン語III作文(1) スペイン語IV作文(1) スペイン語III講読(1) スペイン語IV講読(1) スペイン語V会話(1) スペイン語VI会話(1)	演習III(2) 演習IV(2) スペイン語V講読(1) スペイン語VI講読(1)
選 択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目	16単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科学科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科学科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科学科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				

卒業に必要な単位数

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 **14**

人間の尊厳科目 4(2~4年次)

テーマ科目 **10**

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~3年次)

情報機器の操作 2(1~4年次)

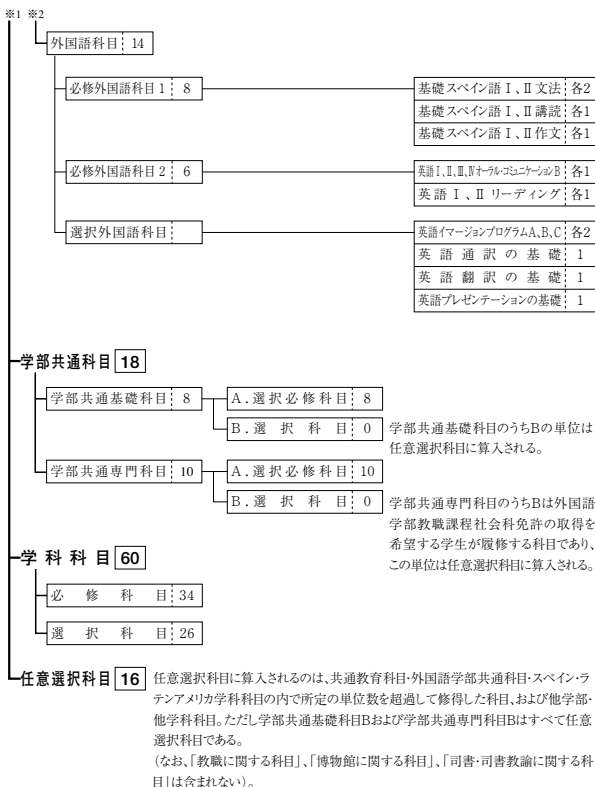
インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

外国語学部

外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科



フランス学科履修要項

I. 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を履修すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の14科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎フランス語 I A (1) 基礎フランス語 II A (1)

基礎フランス語 I B (1) 基礎フランス語 II B (1)

基礎フランス語 I C (1) 基礎フランス語 II C (1)

基礎フランス語 I D (1) 基礎フランス語 II D (1)

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

外国語学部 フランス学科

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)
第2年次 (2)

英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)

Ⅱ. 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) 言語研究の基礎 (2)
(言葉の機能) (文法論)

言語研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(形態論) (小説)A

文学研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(小説)B (詩)

文学研究の基礎 (2) 外国語教育の基礎 (2)
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2) コミュニケーション研究の基礎 (2)
(人文的アプローチ) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2) 政治研究の基礎 (2)
(アメリカ)

政治研究の基礎 (2) 社会学研究の基礎 (2)
(ドイツ) (アメリカ)

社会学研究の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(アジア) (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(日本とアジア) (日本と中南米)

歴史研究の基礎 (2) 歴史研究の基礎 (2)
(アメリカ) (スペイン)

歴史研究の基礎 (2) 経済研究の基礎 (2)
(ドイツ) (ミクロ経済学)

経済研究の基礎 (2)
(マクロ経済学)

B. 選択科目

この科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第1年次

キャリアデザイン (2)

学部共通専門科目 (10)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日本経済史 A (2)	日本経済史 B (2)
西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
国際金融論 A (2)	国際金融論 B (2)
社会保障論 A (2)	社会保障論 B (2)
憲法 A (人権) (4)	憲法 B (統治機構) (2)
国際法総論 A (2)	国際法総論 B (2)
国際法各論 A (2)	国際法各論 B (2)
行政法総論 (4)	行政法各論 (2)
国際私法 A (2)	国際私法 B (2)
日本法史 (2)	西洋法史 A (2)
西洋法史 B (2)	政治史 (2)
政治思想史 A (2)	政治思想史 B (2)
国際政治学 A (2)	国際政治学 B (2)
国際機構論 (2)	

Ⅲ. 学科科目 (58)

必修科目 (32)

下記の24科目計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (8)

フランスの文化と社会Ⅰ (2) フランスの文化と社会Ⅱ (2)

総合フランス語Ⅰ文法 (1) 総合フランス語Ⅱ文法 (1)

総合フランス語Ⅰコミュニケーション (1) 総合フランス語Ⅱコミュニケーション (1)

第2年次 (14)

フランスの文化と社会Ⅲ (2) 論文作成法 (2)

総合フランス語Ⅲ文法 (1) 総合フランス語Ⅳ文法 (1)

総合フランス語ⅢコミュニケーションA (1) 総合フランス語ⅣコミュニケーションA (1)

総合フランス語ⅢコミュニケーションB (1) 総合フランス語ⅣコミュニケーションB (1)

総合フランス語ⅢコミュニケーションC (1) 総合フランス語ⅣコミュニケーションC (1)

中級フランス語講読AⅠ (1) 中級フランス語講読AⅡ (1)

第3年次 (6)

上級フランス語Ⅰ作文 (1) 上級フランス語Ⅱ作文 (1)

演習Ⅰ (2) 演習Ⅱ (2)

第4年次 (4)

演習Ⅲ (2) 演習Ⅳ (2)

演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していただかなければならない。

演習Ⅲを履修するためには、演習Ⅱの単位を修得していただかなければならない。

演習Ⅳを履修するためには、演習Ⅲの単位を修得していただかなければならない。

選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

フランス語実習 (4)

第2年次

中級フランス語講読BⅠ (1) 中級フランス語講読BⅡ (1)

中級フランス語講読C I (1)	中級フランス語講読C II (1)
第2年次以降	
フランス文学史 (2)	フランスの歴史 (2)
フランス精神 (2)	フランスの政治 (2)
第3・4年次	
コミュニケーション特論IA (2)	コミュニケーション特論IIA (2)
コミュニケーション特論IB (2)	コミュニケーション特論IIB (2)
フランス語実践演習I (2)	フランス語実践演習II (2)
フランス語表現法 (2)	フランス語翻訳法 (2)
フランス文法論 (2)	フランス語学 (2)
フランス文学講読 (2)	フランス文学研究 (2)
フランスの社会と文学 (2)	フランスの文化 (2)
フランスの思想 (2)	フランスの法制 (2)
フランスの外交 (2)	フランスの社会 (2)
日仏交流史 (2)	時事フランス語 (2)
文献講読 (2)	フランス語通訳法 (2)

IV. 任意選択科目 (18)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から18単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部 フランス学科

外国語学部フランス学科カリキュラム表

【外国語学部 フランス学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	A. 選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	任意選択科目に算入される。			
学部共通専門科目	A. 選択必修				10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。
	B. 選 択				B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。
必修科目を32単位、選択科目を26単位、合計58単位を修得しなければならない。					
学 科 必 修 科 目		32単位修得しなければならない。			
		フランスの文化と社会I(2) フランスの文化と社会II(2) 総合フランス語I文法(1) 総合フランス語II文法(1) 総合フランス語I コミュニケーション(1) 総合フランス語II コミュニケーション(1)	フランスの文化と社会III(2) 論 文 作 成 法 (2) 総合フランス語III文法(1) 総合フランス語IV文法(1) 総合フランス語III コミュニケーションA(1) 総合フランス語IV コミュニケーションA(1) 総合フランス語III コミュニケーションB(1) 総合フランス語IV コミュニケーションB(1) 総合フランス語III コミュニケーションC(1) 総合フランス語IV コミュニケーションC(1) 中級フランス語講読AI(1) 中級フランス語講読AII(1)	上級フランス語I作文(1) 上級フランス語II作文(1) 演習I(2) 演習II(2)	演習III(2) 演習IV(2)
日 選 択		26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部フランス学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2~4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~3年次)

情報機器の操作 2(1~4年次)

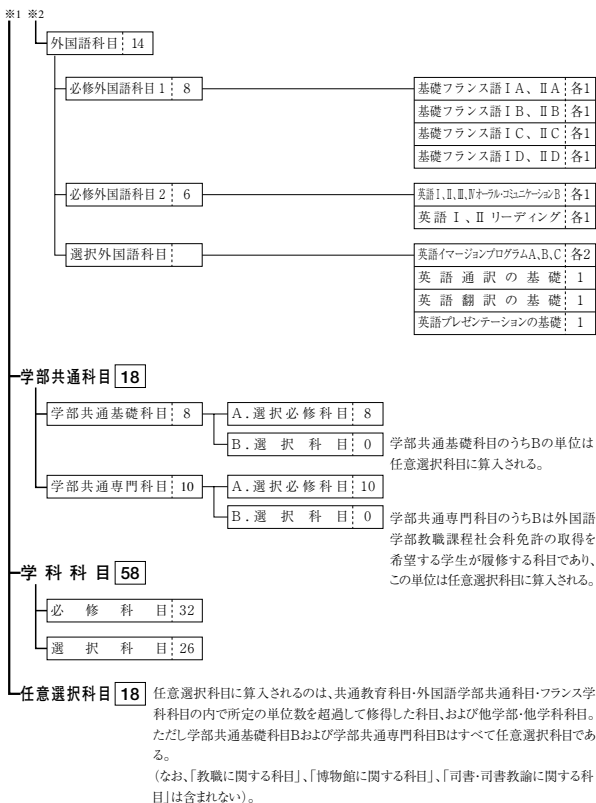
インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

外国語学部

※1 ※2

外国語学部 フランス学科



ドイツ学科履修要項

I. 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の12科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次 (12)

基礎ドイツ語 I 文法 (1) 基礎ドイツ語 II 文法 (1)

基礎ドイツ語 I コミュニケーション (2) 基礎ドイツ語 II コミュニケーション (2)

基礎ドイツ語 I 講読 (1) 基礎ドイツ語 II 講読 (1)

英語 I オーラルコミュニケーション B (1) 英語 II オーラルコミュニケーション B (1)

英語 I リーディング (1) 英語 II リーディング (1)

外国語学部 ドイツ学科

第2年次(2)

英語Ⅲオーラル・コミュニケーションB (1) 英語Ⅳオーラル・コミュニケーションB (1)

II. 外国語学部共通科目(18)

学部共通基礎科目(8)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) 言語研究の基礎 (2)
(言葉の機能) (文法論)

言語研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(形態論) (小説)A

文学研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(小説)B (詩)

文学研究の基礎 (2) 外国語教育の基礎 (2)
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2) コミュニケーション研究の基礎 (2)
(人文的アプローチ) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2) 政治研究の基礎 (2)
(アメリカ)

政治研究の基礎 (2) 社会学研究の基礎 (2)
(ドイツ) (アメリカ)

社会学研究の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(アジア) (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(日本とアジア) (日本と中南米)

歴史研究の基礎 (2) 歴史研究の基礎 (2)
(アメリカ) (スペイン)

歴史研究の基礎 (2) 経済研究の基礎 (2)
(ドイツ) (ミクロ経済学)

経済研究の基礎 (2)
(マクロ経済学)

B. 選択科目

この科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第1年次

キャリアデザイン (2)

学部共通専門科目 (10)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日本経済史 A (2)	日本経済史 B (2)
西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
国際金融論 A (2)	国際金融論 B (2)
社会保障論 A (2)	社会保障論 B (2)
憲法 A (人権) (4)	憲法 B (統治機構) (2)
国際法総論 A (2)	国際法総論 B (2)
国際法各論 A (2)	国際法各論 B (2)
行政法総論 (4)	行政法各論 (2)
国際私法 A (2)	国際私法 B (2)
日本法史 (2)	西洋法史 A (2)
西洋法史 B (2)	政治史 (2)
政治思想史 A (2)	政治思想史 B (2)
国際政治学 A (2)	国際政治学 B (2)
国際機構論 (2)	

Ⅲ. 学科科目 (58)

必修科目 (28)

下記の19科目計28単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

ドイツ研究入門Ⅰ (2) ドイツ研究入門Ⅱ (2)

ドイツ語作文Ⅰ (1) ドイツ語作文Ⅱ (1)

ドイツ語講読Ⅰ (1) ドイツ語講読Ⅱ (1)

第2年次

ドイツ研究入門Ⅲ (2) ドイツ語作文Ⅲ (1)

ドイツ語作文Ⅳ (1) ドイツ語講読Ⅲ (1)

ドイツ語講読Ⅳ (1) ドイツ語文法Ⅰ (1)

ドイツ語文法Ⅱ (1) ドイツ語コミュニケーションⅠ (2)

ドイツ語コミュニケーションⅡ (2)

第3年次

演習Ⅰ (2) 演習Ⅱ (2)

第4年次

演習Ⅲ (2) 演習Ⅳ (2)

演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

演習Ⅲを履修するためには、演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

演習Ⅳを履修するためには、演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

選択必修科目 (6)

下記の上級ドイツ語科目の中から2単位、応用ドイツ語科目から4単位を、第3年次以降に履修すること。ただし、それぞれ所定の単位数を超えて履修した選択必修の単位は選択科目に算入される。

【上級ドイツ語科目】 (2)

上級ドイツ語会話Ⅰ (1) 上級ドイツ語会話Ⅱ (1)

上級ドイツ語作文Ⅰ (1) 上級ドイツ語作文Ⅱ (1)

【応用ドイツ語科目】（４）

- | | |
|------------|------------|
| 作品講読 A (2) | 作品講読 B (2) |
| 文献講読 A (2) | 文献講読 B (2) |
| 時事ドイツ語 (2) | |

選択科目 (24)

下記の科目の中から計24単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次以降

- | | |
|------------------|-----------------|
| ドイツ語演劇研究 I (2) | ドイツ語演劇研究 II (2) |
| ドイツ語演劇研究 III (2) | ドイツ語演劇研究 IV (2) |
| ドイツ語演劇研究 V (2) | ドイツ語演劇研究 VI (2) |

第1年次～第3年次

- ドイツ語実習 (4)

第2年次

- | | |
|----------------|-----------------|
| 中級ドイツ語講読 I (1) | 中級ドイツ語講読 II (1) |
|----------------|-----------------|

第2年次以降

- | | |
|------------------|------------------|
| ドイツの思想と文化 (2) | ドイツの政治と社会 (2) |
| ドイツ中世史 (2) | ドイツ近代史 (2) |
| ドイツ現代史 (2) | ドイツ文学史 A (2) |
| ドイツ文学史 B (2) | ドイツ哲学史 A (2) |
| ドイツ哲学史 B (2) | 留学のためのドイツ語 A (1) |
| 留学のためのドイツ語 B (1) | |

第3年次以降

- | | |
|---------------|-------------|
| ドイツの社会と文学 (2) | ドイツの経済 (2) |
| ドイツの法制 (2) | ドイツ文学研究 (2) |
| ドイツ語学研究 (2) | ドイツ経済研究 (2) |
| ドイツ政治研究 (2) | |

IV. 任意選択科目 (18)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計18単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎

科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。

- (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部ドイツ学科カリキュラム表

【外国語学部 ドイツ学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	A. 選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	任意選択科目に算入される。			
学部共通専門科目	A. 選択必修				10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。
	B. 選 択				B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科学コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。
学 科 必 修 目	必修科目を28単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を24単位以上、合計58単位以上を修得しなければならない。				
	必 修	28単位修得しなければならない。			
		ドイツ研究入門Ⅰ(2) ドイツ研究入門Ⅱ(2) ドイツ語作文Ⅰ(1) ドイツ語作文Ⅱ(1) ドイツ語講読Ⅰ(1) ドイツ語講読Ⅱ(1)	ドイツ研究入門Ⅲ(2) ドイツ語作文Ⅲ(1) ドイツ語作文Ⅳ(1) ドイツ語講読Ⅲ(1) ドイツ語講読Ⅳ(1) ドイツ語文法Ⅰ(1) ドイツ語文法Ⅱ(1) ドイツ語 コミュニケーションⅠ(2) ドイツ語 コミュニケーションⅡ(2)	演習Ⅰ(2) 演習Ⅱ(2)	演習Ⅲ(2) 演習Ⅳ(2)
		選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。		
選 択	24単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目	18単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				

卒業に必要な単位数

外国語学部ドイツ学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 14

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

テーマ科目: 10

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、自然地理学、人文地理学、地誌概論、倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、文化人類学A、文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

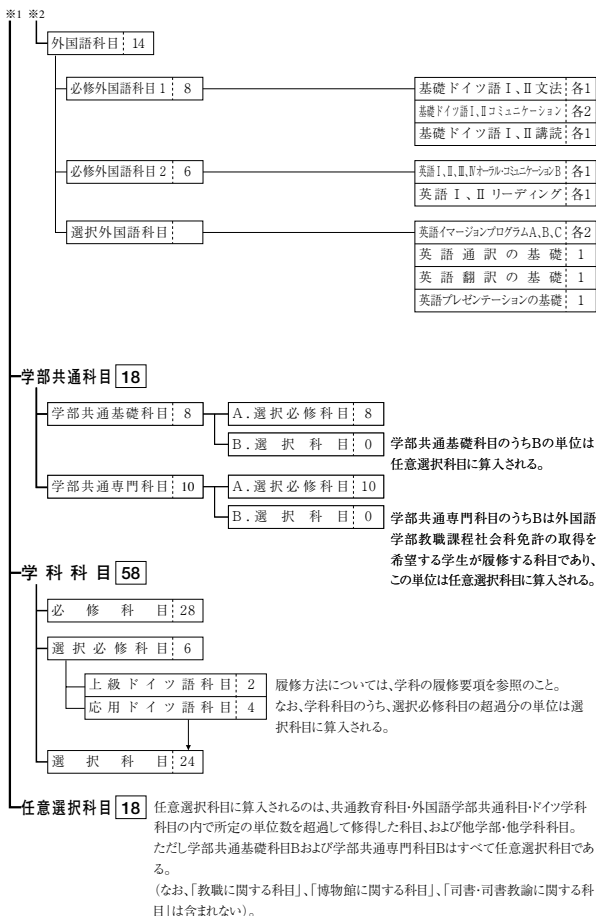
情報リテラシー: 2(1~3年次)

情報機器の操作: 2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2



アジア学科履修要項

I. 共通教育科目 (34)

必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

外国語科目 (14)

必修外国語科目 (14)

下記の14科目14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

中国語Ⅰ会話・作文 (1) 中国語Ⅱ会話・作文 (1)

中国語Ⅰ語法 (1) 中国語Ⅱ語法 (1)

インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1) インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)

インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1) インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

第2年次

英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

II. 外国語学部共通科目 (18)

学部共通基礎科目 (8)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第1・2年次に履修すること。

第1・2年次

言語研究の基礎 (2) 言語研究の基礎 (2)
(言葉の機能) (文法論)

言語研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(形態論) (小説)A

文学研究の基礎 (2) 文学研究の基礎 (2)
(小説)B (詩)

文学研究の基礎 (2) 外国語教育の基礎 (2)
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2) コミュニケーション研究の基礎 (2)
(人文的アプローチ) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2) 政治研究の基礎 (2)
(アメリカ)

政治研究の基礎 (2) 社会学研究の基礎 (2)
(ドイツ) (アメリカ)

社会学研究の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(アジア) (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎 (2) 国際関係論の基礎 (2)
(日本とアジア) (日本と中南米)

歴史研究の基礎 (2) 歴史研究の基礎 (2)
(アメリカ) (スペイン)

歴史研究の基礎 (2) 経済研究の基礎 (2)
(ドイツ) (ミクロ経済学)

経済研究の基礎 (2)
(マクロ経済学)

B. 選択科目

この科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第1年次

キャリアデザイン (2)

学部共通専門科目 (10)

A. 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

B. 選択科目

下記の科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目である。

これらの科目の履修単位は任意選択科目の単位とする。

第3年次以降

日本経済史 A (2)	日本経済史 B (2)
西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
国際金融論 A (2)	国際金融論 B (2)
社会保障論 A (2)	社会保障論 B (2)
憲法 A (人権) (4)	憲法 B (統治機構) (2)
国際法総論 A (2)	国際法総論 B (2)
国際法各論 A (2)	国際法各論 B (2)
行政法総論 (4)	行政法各論 (2)
国際私法 A (2)	国際私法 B (2)
日本法史 (2)	西洋法史 A (2)
西洋法史 B (2)	政治史 (2)
政治思想史 A (2)	政治思想史 B (2)
国際政治学 A (2)	国際政治学 B (2)
国際機構論 (2)	

Ⅲ. 学科科目 (56)

必修科目 (18)

下記の10科目計18単位をそれぞれ指定の年次に履修すること。

なお、所定の単位数を超過して修得した選択必修科目は、選択科目に算入される。

第1年次

入 門 演 習 (2) 近代アジアの歴史 (2)

中国語Ⅰ発音・聴力 (1) 中国語Ⅱ発音・聴力 (1)

第2年次

基 礎 演 習 (2) アジアと日本 (2)

第3年次

演 習 I (2) 演 習 II (2)

第4年次

演 習 III (2) 演 習 IV (2)

演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

演習Ⅲを履修するためには、演習Ⅱの単位を修得していなければならない。

演習Ⅳを履修するためには、演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

選択必修科目 (6)

下記の科目の中から計6単位をそれぞれ指定年次に履修すること。

第2年次

中級中国語Ⅰ会話 (1) 中級中国語Ⅱ会話 (1)

中級中国語Ⅰ語法 (1) 中級中国語Ⅱ語法 (1)

中級中国語Ⅰ読解 (1) 中級中国語Ⅱ読解 (1)

中級インドネシア語Ⅰ会話 (1) 中級インドネシア語Ⅱ会話 (1)

中級インドネシア語Ⅰ文法 (1) 中級インドネシア語Ⅱ文法 (1)

中級インドネシア語Ⅰ読解 (1) 中級インドネシア語Ⅱ読解 (1)

選択科目 (32)

下記の科目の中から計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1・2年次

アジア言語実習A (3) アジア言語実習B (3)

第2年次

中国圏の文化と社会 (2) 東南アジアの歴史と社会 (2)

中国の現代事情A (2) 中国の現代事情B (2)

韓国・朝鮮の言語と文化I (2) 韓国・朝鮮の言語と文化II (2)

第3年次

中級中国語Ⅲ会話 (1) 中級中国語Ⅳ会話 (1)

中級中国語Ⅲ読解 (1) 中級中国語Ⅳ読解 (1)

中国語時事A (2) 中国語時事B (2)

中級インドネシア語Ⅲ会話 (1) 中級インドネシア語Ⅳ会話 (1)

中級インドネシア語Ⅲ読解 (1) 中級インドネシア語Ⅳ読解 (1)

インドネシア語時事A (2) インドネシア語時事B (2)

中国語作文A (2) 中国語作文B (2)

第4年次

中国語通訳法 (2) 上級インドネシア語会話 (1)

第3・4年次

インドネシア語作文A (2) インドネシア語作文B (2)

韓国・朝鮮の言語と文化Ⅲ (2) 韓国・朝鮮の言語と文化Ⅳ (2)

タイの言語と文化I (2) タイの言語と文化II (2)

中国古代史研究 (2) 中国経済研究 (2)

タイ文化研究 (2) ベトナム文化研究 (2)

ベトナム社会研究 (2) 華人社会研究 (2)

華人文化研究 (2) アジア経済論I (2)

アジア経済論II (2) 漢文学I (2)

漢文学II (2) 近現代日本とアジア (2)

アジア芸術研究 (2) 中国特殊研究 (2)

東南アジア特殊研究A (2) 東南アジア特殊研究B (2)

インドネシア宗教研究 (2) インドネシア民族研究 (2)

東南アジアイスラム研究 (2) インドネシア社会研究 (2)

インドネシア文化研究 (2) 中国古典文学研究 (2)

中国現代文学研究 (2) 中国語学研究 (2)

中国社会研究 (2) 東アジア国際政治史研究 (2)

中国近現代史研究 (2)

IV. 任意選択科目 (20)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計20単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。
- (2) 外国語学部他学科科目の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部アジア学科カリキュラム表

【外国語学部 アジア学科】

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通基礎科目	A. 選択必修	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	B. 選 択	任意選択科目に算入される。			
学部共通専門科目	A. 選択必修			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
	B. 選 択			B. 選択科目は外国語学部教職課程社会科コースの学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。	
必修科目を18単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を32単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。					
学 科	必 修	18単位修得しなければならない。			
		入門演習(2) 近代アジアの歴史(2) 中国語I発音・聴力(1) 中国語II発音・聴力(1)	基礎演習(2) アジアと日本(2)	演習I(2) 演習II(2)	演習III(2) 演習IV(2)
	選択必修	6単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
目	選 択	32単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目		20単位修得しなければならない。詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。ただし学部共通基礎科目B、学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。 (2) 外国語学部他学科科目の学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 (3) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修科目不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			

卒業に必要な単位数

外国語学部アジア学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育 A 1(1年次)

基礎体育 B 1(1年次)

選択必修科目 14

人間の尊厳科目 4(2~4年次)

テーマ科目 10

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得
または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得
(ただし、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~3年次)

情報機器の操作 2(1~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

外国語学部

外国語学部 アジア学科

※1 ※2

外国語科目	14	
必修外国語科目1	4	中国語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1 中国語Ⅰ、Ⅱ語法 各1
必修外国語科目2	4	インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1 インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1
必修外国語科目3	6	英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ⅣオラルコミュニケーションB 各1 英語Ⅰ、Ⅱリーディング 各1
選択外国語科目		英語イマージョンプログラムA、B、C 各2 英語通訳の基礎 1 英語翻訳の基礎 1 英語プレゼンテーションの基礎 1

学部共通科目 18

学部共通基礎科目	8	A. 選択必修科目: 8 B. 選択科目: 0	学部共通基礎科目のうちBの単位は任意選択科目に算入される。
学部共通専門科目	10	A. 選択必修科目: 10 B. 選択科目: 0	学部共通専門科目のうちBは外国語学部教職課程社会科免許の取得を希望する学生が履修する科目であり、この単位は任意選択科目に算入される。

学科科目 56

必修科目	18	近代アジアの歴史 2 中国語Ⅰ、Ⅱ発音・聴力 各1 入門演習 2 基礎演習 2 アジアと日本 2 演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 各2
選択必修科目	6	中級中国語Ⅰ、Ⅱ会話 各1 中級中国語Ⅰ、Ⅱ語法 各1 中級中国語Ⅰ、Ⅱ読解 各1 中級インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話 各1 中級インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法 各1 中級インドネシア語Ⅰ、Ⅱ読解 各1
選択科目	32	

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。
なお、学科科目のうち、選択必修科目の超過分の単位は選択科目に算入される。

任意選択科目 20 任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目・外国語学部共通科目・アジア学科科目内で所定の単位数を超過して修得した科目、および他学部・他学科科目。ただし学部共通基礎科目Bおよび学部共通専門科目Bはすべて任意選択科目である。(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)。

経済学部履修要項

I. 科目履修上の一般要件

1. 経済学部の学生が卒業に必要な単位数は128単位である。この128単位のうち、共通教育科目を少なくとも32単位、経済学科科目を少なくとも88単位修得する必要がある。卒業に必要な残りの8単位については、共通教育科目、経済学科科目、他学科で開講される科目の中から任意に科目を選択して修得することができる。ただし科目の履修に際しては、この経済学部履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 教育職員免許状取得資格を得ようとするものは、「教職課程履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
3. 博物館学芸員資格を得ようとするものは、「博物館に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
4. 司書および司書教諭の資格を得ようとするものは、「司書・司書教諭に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
5. 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目は卒業にかかわらない自由科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位に算入されない。
6. 卒業にかかわる授業科目については1学期に履修登録できる単位数の上限を24単位とする。通年4単位科目は1学期あたり2単位として計算する。自由科目の履修登録単位数については制限を設けない。
7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

II. 共通教育科目の履修要件

1. 共通教育科目の履修については「共通教育科目履修要項」に従わなければならない。以下においては履修要件の要点を再掲するとともに、経済学部の決定に委ね

られている部分についての履修要件を定める。

2. 共通教育科目の中の、履修が必要な科目、必要単位数、履修年次は以下のとおりである。

宗教科目（4単位・必修）

第1年次

宗 教 論（2）

第2年次

キリスト教概論（2）

体育科目（2単位・必修）

第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

「人間の尊厳」科目（2科目4単位・選択必修）

第2年次以降

宗教に見る人間の尊厳（2） 哲学・倫理学における人間の尊厳（2）

思想史に学ぶ人間の尊厳（2） 政治・経済と人間の尊厳（2）

法と人間の尊厳（2） 性と生命における人間の尊厳（2）

教育・文化における人間の尊厳（2） 民族問題と人間の尊厳（2）

テーマ科目（5科目10単位・選択必修）

以下の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する。

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する。

第1年次以降

「異文化との出会い」（2） 「生命と環境」（2）

「知識・言語と情報社会」（2） 「モダンの系譜」（2）

分野科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。

情報科目

経済学部の学生は「情報リテラシー」および「情報機器の操作」を履修することはできない。

インターンシップ科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。履修年次は3年次とする。

外国語科目（8単位・必修 | 4単位・選択必修）

必修外国語は英語を8単位、選択必修外国語はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、の中から1言語を選択して4単位修得しなければならない。

選択外国語は、最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に参入することができる。

それぞれの言語の科目指定と履修年次は下表のとおりである。

		1年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語ⅠオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語ⅡオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅱリーディング(1)
選択必修 外国語 (4単位)	フランス語	フランス語Ⅰ文法・講読(1) フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1) フランス語Ⅱ会話・作文(1)
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1) ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1) ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)
	スペイン語	スペイン語Ⅰ文法・講読(1) スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1) スペイン語Ⅱ会話・作文(1)
	ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)
	中国語	中国語Ⅰ語法(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ語法(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1)
	韓国朝鮮語	韓国朝鮮語Ⅰ文法・講読(1) 韓国朝鮮語Ⅰ会話・作文(1)	韓国朝鮮語Ⅱ文法・講読(1) 韓国朝鮮語Ⅱ会話・作文(1)
	インドネシア語	インドネシア語Ⅰ文法・講読(1) インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1) インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)
	ラテン語	ラテン語Ⅰ文法(1) ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ文法(1) ラテン語Ⅱ講読(1)
	ギリシャ語	ギリシャ語Ⅰ文法(1) ギリシャ語Ⅰ講読(1)	ギリシャ語Ⅱ文法(1) ギリシャ語Ⅱ講読(1)
		2年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語ⅢオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰリスニング(1)	英語ⅣオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰライティング(1)

3. 宗教科目と体育科目の必修科目を除いて、最低必要単位数を越えて修得した共通教育科目の単位は、所定の範囲で

卒業に必要な単位に算入することができる。

Ⅲ. 経済学科科目の履修要件

1. 経済学科科目については、以下に定める履修要件に従って必修科目を28単位、選択必修科目を少なくとも4単位、関連分野科目を除く選択科目を少なくとも44単位修得し、さらに経済学科科目全体で少なくとも88単位を修得しなければならない。
2. 経済学科の開設科目、必要単位数、履修年次は次のとおりである。

(1) 必修科目 (28単位)

〔演習科目〕

第1年次

経済演習Ⅰ (4)

第2年次

経済演習Ⅱ (4)

第3年次

経済演習Ⅲ (4)

第4年次

経済演習Ⅳ (4)

〔基礎科目〕

第1年次

ミクロ経済学 (4) マクロ経済学 (4)

データ処理入門 (2) 経済学のための数学 (2)

(2) 選択必修科目 (4単位)

〔入門科目〕

第1年次以降

現代経済入門 (2) 経済史入門A (2)

経済史入門B (2) 経済思想入門 (2)

経済統計入門 (2) 地域経済入門 (2)

生活経済入門 (2)

(3) 選択科目 (経済外国語科目、専攻分野科目、およびキャリア科目で44単位)

〔経済外国語科目〕

第2年次以降

経済英語Ⅰ (2) 経済英語Ⅱ (2)

ビジネス英語Ⅰ (2)	ビジネス英語Ⅱ (2)
時事英語Ⅰ (2)	時事英語Ⅱ (2)
外書講読A (2) (理論と情報)	外書講読B (2) (理論と情報)
外書講読A (2) (政策)	外書講読B (2) (政策)
外書講読A (2) (国際)	外書講読B (2) (国際)
外書講読A (2) (歴史と思想)	外書講読B (2) (歴史と思想)

〔専攻分野科目〕

第2年次以降

〔経済分析と情報〕

中級ミクロ経済学A (2)	中級ミクロ経済学B (2)
中級マクロ経済学A (2)	中級マクロ経済学B (2)
計量経済学Ⅰ (2)	計量経済学Ⅱ (2)
経済統計論Ⅰ (2)	経済統計論Ⅱ (2)
理論経済学Ⅰ (2)	理論経済学Ⅱ (2)
情報経済学A (2)	情報経済学B (2)
データ解析A (2)	データ解析B (2)
生活経済学A (2)	生活経済学B (2)
特別テーマ講義A (2) (理論と情報)	特別テーマ講義B (2) (理論と情報)

〔日本経済の分析と政策〕

経済政策論A (2)	経済政策論B (2)
経済変動論A (2)	経済変動論B (2)
日本経済論A (2)	日本経済論B (2)
財政学Ⅰ (2)	財政学Ⅱ (2)
金融論Ⅰ (2)	金融論Ⅱ (2)
労働経済学A (2)	労働経済学B (2)
公共経済学Ⅰ (2)	公共経済学Ⅱ (2)
産業組織論A (2)	産業組織論B (2)
社会保障論A (2)	社会保障論B (2)
特別テーマ講義A (2) (政策)	特別テーマ講義B (2) (政策)

〔国際経済の分析と政策〕

国際経済学 I (2)	国際経済学 II (2)
開発経済学 I (2)	開発経済学 II (2)
国際金融論 A (2)	国際金融論 B (2)
国際経済政策論 A (2)	国際経済政策論 B (2)
農業経済論 A (2)	農業経済論 B (2)
アジア経済論 A (2)	アジア経済論 B (2)
アメリカ経済論 A (2)	アメリカ経済論 B (2)
特別テーマ講義 A (2) (国際)	特別テーマ講義 B (2) (国際)

〔経済の歴史と思想〕

西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
日本経済史 A (2)	日本経済史 B (2)
経済思想史 A (2)	経済思想史 B (2)
経済倫理学 A (2)	経済倫理学 B (2)
経済体制論 A (2)	経済体制論 B (2)
経済学史 I (2)	経済学史 II (2)
消費社会論 A (2)	消費社会論 B (2)
特別テーマ講義 A (2) (歴史と思想)	特別テーマ講義 B (2) (歴史と思想)

〔キャリア科目〕

第2年次以降

仕事とキャリアの形成 (2)	自己とキャリアの形成 (2)
企業と業界の研究 (2)	

〔関連分野科目〕 (最低必要単位数を定めない)

第1年次以降

会計原理 I (2)	会計原理 II (2)
第2年次以降	
国際会計論 A (2)	国際会計論 B (2)
経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
ファイナンス A (2)	ファイナンス B (2)
マーケティング論 A (2)	マーケティング論 B (2)
法と経済学 (2)	

経営史 A (2) 経営史 B (2)

経営労務論 A (2) 経営労務論 B (2)

民法 I (2) 民法 II (2)

商法 I (2) 商法 II (2)

第2年次秋学期以降

現代産業論 (2) 現代産業論 (2)
(総合商社論) (現代銀行論)

現代産業論 (2) 現代産業論 (2)
(電子・電機産業論) (自動車産業論)

現代産業論 (2)
(ツーリズム概論)

第3年次以降

職業指導 A (2) 職業指導 B (2)

オペレーションズ・リサーチA (2) オペレーションズ・リサーチB (2)

経済法 A (2) 経済法 B (2)

労働法 A (2) 労働法 B (2)

行政法 I (2) 行政法 II (2)

3. 「経済演習Ⅲ」の単位を修得していなければ、「経済演習Ⅳ」を履修登録することはできない。また「経済演習Ⅲ」と「経済演習Ⅳ」は原則として同じ担当者の演習科目でなければならない。
4. 「経済演習Ⅳ」の単位修得のためには、「卒業論文」を提出して審査に合格することが必要である。
5. 「現代産業論」は、2科目4単位を上限として卒業に必要な単位数に算入することができる。これを超えて単位を修得した科目は自由科目とされ、卒業に必要な単位数に算入することができない。

IV. 任意選択科目の履修要件

1. 任意選択科目 (8単位)

下記の(1)～(2)に該当する科目の中から計8単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、経済学科の学科科目の内、必要単位数を超えて修得した科目。
- (2) 他学部の学部共通科目、学科科目 (他学部履修不

可の科目を除く)。ただし、履修の際は、該当学部・学科の履修要項に定められた要件に従わなければならない。

2. 下記の (1)～(2)に該当する科目は、任意選択科目とは認められない。

- (1) 前項の共通教育科目、他学部開講科目履修の際、経済学科科目と同一名称である科目。

- (2) 「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」。

V. その他の履修要件

1. 単位を修得した科目の重複履修はできない。
2. 科目名の末尾に「Ⅰ」「Ⅱ」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「Ⅱ」を履修するためには、原則として「Ⅰ」のついた同じ名称の科目を履修していなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めていない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
3. 海外留学中に履修した英語プログラムは、別に定める「『英語プログラム』の単位認定について」の規程に従って単位を認定する。
4. 休学の後に復学した者は、原則としてそれまでの修業年数に応じた年次指定科目に限って履修登録することができる。

「英語プログラム」の単位認定について

経済学部では、海外留学を奨励するという趣旨に則り、留学先で修得した「英語プログラム」の単位認定を以下の方法により行う。

- I. 「英語プログラム」の単位認定の手続きは正規の授業科目の単位認定に必要な申請手続きに準ずるものとし、以下の基準により単位を認定する。
 - (1) 認定単位数の計算は、「南山大学授業科目履修規程」にある外国語科目の単位数計算の基礎に基づいて行う。
 - (2) 「英語プログラム」により履修した科目は、経済学科科目の「経済英語Ⅰ・Ⅱ」、「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」、「時事英語Ⅰ・Ⅱ」、「外書講読（理論と情報）A・B」、「外書講読（政策）A・B」、「外書講読（国際）A・B」、「外書講読（歴史と思想）A・B」、または「経済演習Ⅱ」として認定する。
 - (3) 留学先で修得した正規の授業科目を含めた認定単位数が30単位を超える場合は、「英語プログラム」の方の認定単位を調整し、認定単位数を30単位以下におさえる。
- II. 留学先大学から「英語プログラム」の成績が提出されないときは、以下の条件のいずれかが満たされた場合に、前条の(1)(2)(3)に従って認定する。
 - (1) 留学中あるいは帰国直後に受けたTOEFLの得点が500点以上ある場合。
 - (2) 前項(1)の得点が留学交流小委員会の記録に記載された留学前のTOEFLの得点と比べて60点以上向上した場合。
- III. 留学先大学で修得した英語以外の外国語の単位認定についても、上記の認定基準を適用する。ただし、I(2)の個別認定は行わず、「経済外国語科目」として包括認定する。

なお、包括認定を含め「経済外国語科目」の単位数上限は28単位とする。

経済学部経済学科カリキュラム表

【経済学部 経済学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目(32)			詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科	演習科目(16)		経済演習Ⅰ(4)	経済演習Ⅱ(4)	経済演習Ⅲ(4)	経済演習Ⅳ(4)
	必修 基礎科目 (12)		ミクロ経済学(4) マクロ経済学(4) データ処理入門(2) 経済学のための数学 (2)			
科	選択 必修 入門科目 (4)		現代経済入門(2) 経済史入門A(2) 経済史入門B(2) 経済思想入門(2) 経済統計入門(2) 地域経済入門(2) 生活経済入門(2) より、4単位以上修 得しなければならない。			
目 (88)	選択 専攻分野科目 (44)	経済外国語科目		経済外国語科目、専攻分野科目、およびキャリア科目で44単位以上 修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。		
	キャリア科目					
	選択 関連分野科目		最低必要単位数を定めない。			
任意選択科目(8)		12単位分は、選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の 単位で充当。				
任意選択科目(8)		卒業に必要な単位数は128単位なので、不足分8単位については、共通教育科目、経済 学科科目(必修科目を除く)、他学科で開講される科目(履修不可科目を除く)の中から任 意に履修した科目の単位および本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められ た単位で充当すること。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目(卒業に必要な単 位には算入されない。)				

(注)記載された単位数は各科目分類別の最低必要単位数を示している。

卒業に必要な単位数

経済学部経済学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **32**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **14**

「人間の尊厳」科目 4(2~4年次)

テーマ科目 **10**

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
 または
 2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、音楽A、音楽B、倫理学、人文地理学、自然地理学、地誌概論、世界史、法学A、法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、文化人類学、文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

 各2(1~4年次)

 基礎生物学セミナーA、基礎生物学セミナーB

 各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

注)経済学部経済学科の学生による「情報リテラシー(2)」および「情報機器の操作(2)」の履修登録は認められない。

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

外国語科目 **12**

必修外国語科目 **8**

選択必修外国語科目 **4**

選択外国語科目

内訳は次ページ参照

英語イメージプログラムA、B、C 各2

英語通訳の基礎 1

英語翻訳の基礎 1

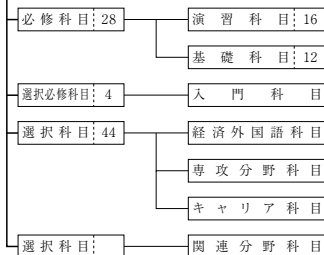
英語プレゼンテーションの基礎 1

経済学部

※1

		1年次		2年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修外国語科目 (8単位)	英語	英語Iオール・ コミュニケーションB(1) 英語リーディング(1)	英語IIオール・ コミュニケーションB(1) 英語リーディング(1)	英語IIIオール・ コミュニケーションB(1) 英語リスニング(1)	英語IVオール・ コミュニケーションB(1) 英語ライティング(1)
選択必修外国語 科目 (4単位)	フランス語	フランス語I文法・講読(1) フランス語I会話・作文(1)	フランス語II文法・講読(1) フランス語II会話・作文(1)		
	ドイツ語	ドイツ語I文法・講読(1) ドイツ語I会話・作文(1)	ドイツ語II文法・講読(1) ドイツ語II会話・作文(1)		
	スペイン語	スペイン語I文法・講読(1) スペイン語I会話・作文(1)	スペイン語II文法・講読(1) スペイン語II会話・作文(1)		
	ポルトガル語	ポルトガル語I文法・講読(1) ポルトガル語I会話・作文(1)	ポルトガル語II文法・講読(1) ポルトガル語II会話・作文(1)		
	中国語	中国語I語法(1) 中国語I会話・作文(1)	中国語II語法(1) 中国語II会話・作文(1)		
	韓国朝鮮語	韓国朝鮮語I文法・講読(1) 韓国朝鮮語I会話・作文(1)	韓国朝鮮語II文法・講読(1) 韓国朝鮮語II会話・作文(1)		
	インドネシア語	インドネシア語I文法・講読(1) インドネシア語I会話・作文(1)	インドネシア語II文法・講読(1) インドネシア語II会話・作文(1)		
	ラテン語	ラテン語I文法(1) ラテン語I講読(1)	ラテン語II文法(1) ラテン語II講読(1)		
	ギリシャ語	ギリシャ語I文法(1) ギリシャ語I講読(1)	ギリシャ語II文法(1) ギリシャ語II講読(1)		

学 科 科 目 **88** (注)(3)参照



任意選択科目 **8**

- (注)(1)記載された単位数は各科目分類の最低必要単位を示している。
 (2)共通教育科目の32単位、経済学科科目の88単位を合計した120単位は、卒業に必要な総単位数の128単位に達していない。この不足分の8単位については、共通教育科目、経済学科科目(必修科目を除く)および他学科で開講される科目(履修不可科目を除く)の中から任意に履修した科目の単位で充当することができる。また、本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められた単位で充当することができる。
 (3)経済学科科目の最低必要単位数は88単位であるが、必修科目の28単位、選択必修科目の4単位、関連分野科目を除く選択科目の44単位を合計した76単位では12単位不足している。この12単位分は、選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の単位で充当する。

経営学部経営学科履修要項

1. 経営学部経営学科学生は共通教育科目32単位以上、経営学科科目70単位以上、任意選択科目を26単位以上、合計128単位以上を、卒業に必要な単位として修得しなければならない。

2. 共通教育科目（32単位）の履修は次のとおりである。

(1) 必修科目（6単位）を修得しなければならない。

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

(2) 選択必修科目（14単位）を次のとおり修得しなければならない。

第1年次以降

次の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から、2科目4単位以上修得すること。

(3) 外国語科目（12単位）を次のとおり修得しなければならない。

必修外国語科目（8単位）

第1年次

英語IオーラルコミュニケーションC(2)	英語IIオーラルコミュニケーションC(2)
英語Iリーディング(1)	英語IIリーディング(1)
英語Iライティング(1)	英語IIライティング(1)

選択必修外国語科目(4単位)

次の外国語の中から1種類の外国語を選択して、4単位修得すること。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項」を参照すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、英語

3. 経営学科科目の必修・選択必修・選択・任意選択の指定、単位数および履修年次は次のとおりである(かっこ内の数字は単位数を示す)。

必修科目

演習科目(8単位)

下記の2科目8単位をそれぞれの履修年次に履修すること。

第3年次

経営演習I(4)

第4年次

経営演習II(4)

選択必修科目

演習科目(6単位)

下記の科目から計6単位をそれぞれの履修年次に履修すること。なお、必要単位数を超過して修得した演習科目の単位は選択科目に算入される。

第1年次

基礎演習I(2) 基礎演習II(2)

第2年次

基礎演習III(2) 基礎演習IV(2)

基本科目(24単位)

下記の科目から計24単位をそれぞれの履修年次に履

修すること。なお、必要単位数を超過して修得した基本科目の単位は選択科目に算入される。

第1年次

[基礎科目]

統計学 I (2) 統計学 II (2)
 数学 I (2) 数学 II (2)

[コア科目]

経営学総論 A (2) 経営学総論 B (2)
 会計原理 I (2) 会計原理 II (2)

第2年次

[基礎科目]

経済原論 I (2) 経済原論 II (2)

[コア科目]

経営労務論 A (2) 経営労務論 B (2)
 ファイナンス A (2) ファイナンス B (2)
 マーケティング論 A (2) マーケティング論 B (2)
 財務会計論 A (2) 財務会計論 B (2)

選択科目 (32単位)

下記の科目から計32単位をそれぞれの履修年次に履修すること。なお、必要単位数を超過して修得した選択科目の単位は任意選択科目に算入される。

第1年次以降

[コア科目]

アドバンスト会計 (2)

[情報・解析科目]

情報基礎 (2) 情報処理 A (2)

第2年次以降

[コア科目]

経営組織論 A (2) 経営組織論 B (2)
 資本市場論 (2) 資本市場論 (2)
 (債券・株式) (金融機関)
 流通論 A (2) 流通論 B (2)
 国際会計論 A (2) 国際会計論 B (2)

[一般科目]

経営史 A (2)	経営史 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営管理論 A (2)	経営管理論 B (2)
経営環境論 A (2)	経営環境論 B (2)
経営倫理 (2)	法と経済学 (2)
商法 I (2)	商法 II (2)

[関連科目]

民法 I (2)	民法 II (2)
----------	-----------

[経営英語科目]

ビジネス英語Iオーラルコミュニケーション (2)	ビジネス英語Iリーディング&ライティング (2)
ビジネス英語IIオーラルコミュニケーション (2)	ビジネス英語IIリーディング&ライティング (2)

[簿記科目]

商業簿記中級 I (2)	商業簿記中級 II (2)
工業簿記 I (2)	工業簿記 II (2)

[情報・解析科目]

情報処理 B (2)	経営数学 (2)
経営統計学 (2)	

第2年次秋学期以降

[関連科目]

現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (現代銀行論)
現代産業論 (2) (電子・電機産業論)	現代産業論 (2) (自動車産業論)
現代産業論 (2) (起業論)	現代産業論 (2) (ツーリズム概論)
現代産業論 (2) (現代証券業論)	現代産業論 (2) (先輩実務家と語る)

第3年次以降

[コア科目]

労使関係論 A (2)	労使関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)
投資論 (2) (実物投資)	投資論 (2) (証券投資)

国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
デリバティブ (2)	
消費者行動論 (2)	ブランド・マネジメント (2)
マーケティング・コミュニケーションA (2)	マーケティング・コミュニケーションB (2)
内部監査論 (2)	外部監査論 (2)
経営分析論 A (2)	経営分析論 B (2)
税務会計論 A (2)	税務会計論 B (2)
管理会計論 (2)	公会計論 (2)
原価計算論 (2)	

[一般科目]

グローバル・ビジネス論A (2)	グローバル・ビジネス論B (2)
経営戦略論 A (2)	経営戦略論 B (2)
オペレーションズ・リサーチA (2)	オペレーションズ・リサーチB (2)
経営情報システム論 (2)	

[関連科目]

金融論 I (2)	金融論 II (2)
国際経済学 I (2)	国際経済学 II (2)
産業組織論 A (2)	産業組織論 B (2)
労働経済学 A (2)	労働経済学 B (2)
労働法 A (2)	労働法 B (2)
経済法 A (2)	経済法 B (2)
行政法 I (2)	行政法 II (2)
職業指導 A (2)	職業指導 B (2)

[経営英語科目]

英語ビジネス・ディスカッション (4)	英語ビジネス・ライティング (4)
上級ビジネス英語 (2)	TOEIC Preparation (2)
Corporate Finance A (2)	Corporate Finance B (2)
International Management A (2)	International Management B (2)
英語で学ぶ経営学 (2) (組織・労務)	英語で学ぶ経営学 (2) (ファイナンス)
英語で学ぶ経営学 (2) (マーケティング)	英語で学ぶ経営学 (2) (会計)
英語で学ぶ経営学 (2) (ツーリズム)	

[情報・解析科目]

意識調査法 (2)	数量ファイナンス (2)
-----------	--------------

- マーケティング・リサーチ (2) データ解析 (2)
- ビジネス・シミュレーション (2)

任意選択科目 (26単位)

下記の (1) ~ (3) に該当する科目の中から計26単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目および経営学科科目のうちで必要単位数を超過して修得した科目。
- (2) 他学部の学部共通科目、学科科目 (他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科に定められた履修年次を遵守しなければならない。
- (3) 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。

4. I、IIまたはA、Bが付された科目の履修登録方法は下記のとおりとする。

- (1) 授業科目にI、IIが付されている科目は、原則として、Iの履修後でなければIIを履修登録することができない。III、IVが付されている科目も同様とする。
- (2) 授業科目にA、Bが付されている科目は、AまたはBのいずれか一つを履修登録することができる。ただし、止むを得ない場合を除いて、A、Bともに履修登録することが望ましい。

5. 演習科目を各履修年次の指導教員制クラスとする。従って、第2年次を修了するまでは、毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない。なお、6単位を超過して修得した基礎演習科目の単位は選択科目に算入される。

6. 「経営演習I」を履修登録するためには、原則として、共通教育科目および経営学科科目の単位を合計44単位以上修得し、併せて基本科目の単位を12単位以上修得していなければならない。

7. 「経営演習Ⅱ」は、「経営演習Ⅰ」の単位修得後でなければこれを履修登録することができない。また、「経営演習Ⅰ」と「経営演習Ⅱ」は原則として同じ担当者の演習科目でなければならない。
8. 「経営演習Ⅱ」の単位を修得するためには卒業論文を作成し、指定された期日までにこれを提出しなければならない。なお、卒業論文が満たすべき要件、提出期日等については別に定める。
9. 「現代産業論」は、3科目6単位を上限として卒業必要単位数に算入することができる。上限を越えて単位を修得した科目は自由科目とする。
10. 経営学部経営学科の学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修登録することができる。
11. 経営学部経営学科の学生が1学期に履修登録することが許される単位数は22単位までとする（自由科目は含まない）。
12. 瀬戸キャンパスで開講される科目の履修は2年次からとする。ただし、科目毎の年次制限が優先される。また、キャンパスが異なる場合は、学則上同一名称の科目で複数回履修することを妨げない。なお、瀬戸キャンパスで履修した科目（共通教育、学部・学科）は任意選択科目として認める。
13. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。

経営英語カリキュラムについて

経営学部の学生は、1年次に全ての共通教育必修外国語科目「英語Ⅰ/Ⅱオーラル・コミュニケーションC」「英語Ⅰ/Ⅱリーディング」「英語Ⅰ/Ⅱライティング」を履修することが

可能である。

さらに、経営学部では、2年次以降の学生に選択科目として以下のようなビジネスにおける英語力を向上させる科目（ビジネス英語科目）が設置されているので、積極的に履修することが望まれる。

第2年次以降

ビジネス英語[オーラル・コミュニケーション]（2） ビジネス英語[リーディング&ライティング]（2）

ビジネス英語[オーラル・コミュニケーション]（2） ビジネス英語[リーディング&ライティング]（2）

上記の科目は、リーディング&ライティングとオーラル・コミュニケーションのどちらか一方だけを選択することはできず、2科目併せて履修しなければならない。また、定員があるので、12月頃に試験を行って選抜し、予備登録を行なう。

第3年次以降

英語ビジネス・ディスカッション（4） 英語ビジネス・ライティング（4）

上級ビジネス英語（2） TOEIC Preparation（2）

英語で学ぶ経営学(ツーリズム)（2）

また、3年次以降の学生対象に以下の英語で学ぶ経営学に関する科目が設置されているので、積極的に履修することが望まれる。

国際財務論A（2） 国際財務論B（2）

Corporate Finance A（2） Corporate Finance B（2）

International Management A（2） International Management B（2）

英語で学ぶ経営学(組織・労務)（2） 英語で学ぶ経営学(マーケティング)（2）

英語で学ぶ経営学(マーケティング)（2） 英語で学ぶ経営学(会計)（2）

基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳ・経営演習Ⅰの予備登録について

基礎演習Ⅲ、基礎演習Ⅳおよび経営演習Ⅰを履修するためには、事前に予備登録する必要がある。予備登録の説明会は、基礎演習Ⅲについては毎年12月頃、基礎演習Ⅳについては6月頃、経営演習Ⅰについては、11月頃に実施する予定なので、掲示に

は十分注意すること。

松山大学経営学部との単位互換協定について

松山大学経営学部との単位互換協定による特別聴講生を希望する学生は秋頃に教務課窓口で説明を受けること。

経営学部簿記検定試験合格者単位認定制度について

本学入学以前もしくは入学後に文部科学省認定の（あるいはそれに準ずる）簿記検定試験に合格した2006年度以降の経営学部入学生に対し、以下の通り単位を認定する。

この制度は、商業高等学校出身者に対して、商業高等学校での学習成果を評価し、より高度な会計関連専門科目の履修意欲を高めるために、そして、高等学校普通科等の出身者に対しては、会計資格取得のためのインセンティブを与え、より高度な会計関連専門科目の履修意欲を高めるために設置する。

検定試験	級	認定科目	(計) 単位数
簿記検定 (日本商工会議所)	2級以上	会計原理Ⅰ (2)	8単位まで
簿記能力検定 (全国経理教育協会)	2級以上	会計原理Ⅱ (2) 商業簿記中級Ⅰ (2)	
簿記実務検定 (全国商業高等学校協会)	1級	工業簿記Ⅰ (2)	

1. 認定を希望する学生は、各学期授業開始日まで（開始日を含む）に、申請書に当該検定試験の合格証明書コピーを添えて、名古屋キャンパス教務課まで申請すること。申請書は教務課窓口で配布する。在学期間中の申請は1回とする。
2. 2種類以上の検定試験が単位認定の対象となる場合は、本人の申請により、いずれか1種類の検定試験のみを認定する。
3. 既に認定科目を単位修得している場合は、未修得の科目のみを単位認定対象とする。
4. 未修得の認定科目のうち、本人が認定を希望する科目のみを単位認定する。
5. 認定された単位は各学期の履修登録単位数には含めない。成績評価は一律に「認定 (T)」とする。認定された単位は卒業に必要な単位に算入することができる。
6. 既に認定科目を登録している場合は、認定後登録を取り消す。

経営学部経営学科カリキュラム表

【経営学部経営学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目(32)			32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 科 目 (70)	必修 科目	演習 科目			経営演習Ⅰ(4)	経営演習Ⅱ(4)
	選択 必修 科目	演習 科目	6単位修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。 [第2年次を修了するまでは毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない。] [6単位を超過して修得した基礎演習科目の単位は、選択科目に算入される。]			
		基本 科目	24単位修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。 [24単位を超過して修得した基本科目の単位は、選択科目に算入される。]			
	選択科目		32単位修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。 [32単位を超過して修得した選択科目の単位は、任意選択科目に算入される。]			
任意選択科目		26単位修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目および経営学科科目のうちで必要単位数を超過して修得した科目 (2) 他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可科目を除く) (3) 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

選択科目の「現代産業論」は、3科目6単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

卒業に必要な単位数

経営学部経営学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **32**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

人間の尊厳科目: 4(2~4年次)

選択必修科目: 10

テーマ科目: 10

1. 1テーマを選択してそのテーマについて5科目を修得
または
2. 2テーマを選択してそのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、世界史、
自然地理学、人文地理学、地誌概論、
倫理学、法学A、法学B、日本国憲法、
政治学A、政治学B、文化人類学A、
文化人類学B、社会学A、社会学B、
経済学A、経済学B、数学A、数学B、
物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学概論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、
基礎生物学セミナーB

各2(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2

外国語科目	12			
必修外国語科目	8	英語	8	英語Ⅰ・Ⅱオーラルコミュニケーション:各2 英語Ⅰ・Ⅱリーディング:各1 英語Ⅰ・Ⅱライティング:各1
選択必修外国語科目	4	フランス語	4	フランス語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 フランス語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
1か国語4単位を修得すること		ドイツ語	4	ドイツ語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 ドイツ語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		スペイン語	4	スペイン語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 スペイン語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		ポルトガル語	4	ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		中国語	4	中国語Ⅰ、Ⅱ語法:各1 中国語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		韓国朝鮮語	4	韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 韓国朝鮮語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		インドネシア語	4	インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読:各1 インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文:各1
		ラテン語	4	ラテン語Ⅰ、Ⅱ文法:各1 ラテン語Ⅰ、Ⅱ講読:各1
		ギリシア語	4	ギリシア語Ⅰ、Ⅱ文法:各1 ギリシア語Ⅰ、Ⅱ講読:各1
		英語	4	英語Ⅰ、Ⅱリスニング:各1 英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合:各1 英語Ⅲ、Ⅳリーディング:各1
選択外国語科目		英語		英語イマージョンプログラムA、B、C:各2 英語通訳の基礎:1 英語翻訳の基礎:1 英語プレゼンテーションの基礎:1

学科科目 70

必修科目	8	演習科目	経営演習Ⅰ・Ⅱ	各4
選択必修科目	30	演習科目	基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	各2
		基本科目		24
選択科目	32	コア科目		
		一般科目		
		関連科目		
		経営英語科目		
		簿記科目		
		情報・解析科目		

※超過して修得した単位数は
選択科目に算入される。

任意選択科目 26

任意選択科目に算入されるのは、共通教育科目および経営学科科目のうちで必要単位数を超過して修得した科目、他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可科目を除く）、および本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。
 （なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない。）

法学部履修要項

1. 法学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」および「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な132単位を履修しなければならない。このうち、共通教育科目については最低28単位、学科科目については最低92単位を履修しなければならない。卒業に必要な残り12単位については、学科科目、または、任意選択科目(共通教育科目、他学部開講科目、および本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの)から、任意に科目を選んで履修して、単位を修得しなければならない。

2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。

(1) 必修科目 (6 単位)

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

(2) 選択必修科目 (14単位)

第1年次

下記の4テーマの中から、①または②のいずれかの方法に従って5科目10単位を修得しなければならない。

① 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する

② 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から4単位以上

科目の詳細は、それぞれの要項を参照すること。

(3) 外国語科目 (8 単位)

必修科目 (4 単位)

法学部 法律学科

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

選択必修科目 (4単位)

次の外国語の中から、一種類の外国語を選択して、4単位を修得すること(外国語科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること)。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国朝鮮語

3. 任意選択科目 (0～12単位)

(1) 共通教育科目で、日本国憲法(2)、法学A(2)、法学B(2)以外の科目。

(2) 他学部科目、他学科科目(履修不可の科目を除く)。その履修年次は、当該学部および学科の履修要項に従わなければならない。

(3) 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。

4. 法学部に開設する学科科目とその単位数および履修年次は次のとおりとする。(かっこ内の数字は単位数を示す)

A群(第1年次および第2年次以降配当科目)

第1年次

ベーシック演習(4)

憲法A(人権)(4) 憲法B(統治機構)(2)

民法総論(4) 刑法総論(4)

第2年次以降

ミドル演習(4) 行政法総論(4)

行政法各論(2) 行政救済法(2)

現代社会と刑法各論A(2) 現代社会と刑法各論B(2)

刑事訴訟法A(2) 刑事訴訟法B(2)

刑事政策(2)

国際法総論A(2) 国際法総論B(2)

物権法(4) 契約法(4)

不法行為法(2) 家族法(4)

企業法総論 (2)	会社法 A (4)
民事訴訟法 A (2)	民事訴訟法 B (2)
労働法 A (2)	労働法 B (2)
国際私法 A (2)	国際私法 B (2)
法哲学 A (2)	法哲学 B (2)
法社会学 (2)	日本法史 (2)
西洋法史 A (2)	西洋法史 B (2)
英米法 (2)	ドイツ法 (2)
フランス法 (2)	スペイン法 (2)
政治学原論 A (2)	政治学原論 B (2)
行政学 A (2)	行政学 B (2)
政治思想史 A (2)	政治思想史 B (2)
政治史 (2)	
国際政治学 A (2)	国際政治学 B (2)
国際機構論 (2)	
外書講読 A (2)	外書講読 B (2)
経済原論 A (2)	経済原論 B (2)

B群 (第3年次以降および第4年次配当科目)

第3年次以降

アドバンスト演習 (4)	税財政法 (2)
環境法 (2)	情報法 (2)
国際法各論 A (2)	国際法各論 B (2)
国際経済組織法 (2)	
債権法総論 (2)	消費者法 (2)
知的財産法 (2)	有価証券法 (2)
保険法 (2)	会社法 B (2)
経済法 A (2)	経済法 B (2)
民事執行法 (2)	倒産法 (2)
国際取引法 (2)	社会保障法 (2)
企業法務 (2)	少年法 (2)
ジェンダーと法 (2)	法と経済学 (2)

第4年次

法学演習 A (2)	法学演習 B (2)
------------	------------

法学部 法律学科

法学演習 C (2) 法学演習 D (2)
法学演習 E (2) 法学演習 F (2)
卒業論文演習 (2)

5. 法学部学生は、A群で64単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な学科科目のうち、残り最低28単位については、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。
6. 第1年次においてベーシック演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができない。
7. 第2年次においてミドル演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができない。
8. 科目名の末尾に「Ⅰ」「Ⅱ」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「Ⅱ」を履修するためには、原則として「Ⅰ」のついた同じ名称の科目を履修しなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めていない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
9. 法学演習(A、B、C、D、E、F)は、4年次において最大4単位まで履修することができる。
10. 法学部学生は、教職に関する科目、博物館に関する科目および司書・司書教諭に関する科目を自由科目として履修することができる(ただし、科目とも定められた履修年次を遵守しなければならない)。これらは、卒業に必要な単位に算入されない。
11. 第1・2・3年次生の履修可能単位数は春学期・秋学期それぞれ22単位(なお、2004年度以前の入学者は26単位)とし、第4年次以降の履修可能単位数は各期それぞれ30単位

とする（なお通年科目の単位数については、各期ごとに単位数を割り振る。したがって、4単位の通年科目を登録した場合、その科目につき各期2単位を登録したものとして計算する）。ただし、自由科目（教職に関する科目、博物館に関する科目および司書・司書教諭に関する科目）については、上記の制限を受けずに履修することができる。

12. 講義概要の当該授業科目評価欄に「欠席過多（S）」適用に関する記載がある場合、欠席の時数が当該授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた者の当該授業科目の成績は、「欠席過多（S）」による不合格とする。

法学部法律学科カリキュラム表

【法学部 法律学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		28単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学科科目 (92単位以上)	A 群	64単位以上修得しなければならない。 学科科目の卒業必要単位92単位のうち、上記64単位を差し引いた残り28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照				
	B 群	学科科目の卒業必要単位92単位のうち、A群で修得した64単位以上を差し引いた残り最大28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照				
任意選択科目		0～12単位 詳細は、「履修要項」を参照 共通教育科目のうち、日本国憲法(2)、法学A(2)、法学B(2)以外の科目 他学部・他学科開講科目 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目				

卒業に必要な単位数

法学部法律学科

総単位数 **132**共通教育科目 **28以上**必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **14**

「人間の尊厳」科目 4(2~4年次)

テーマ科目 **10**

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目、もう1テーマについて2科目の計5科目を修得する

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、
美術A、美術B、音楽A、音楽B、倫理学、
人文地理学、自然地理学、地誌概論、
世界史、政治学A、政治学B、
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、
生命科学、化学、心理学A、心理学B、
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、
スポーツ科学演習A、スポーツ科学演習B

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~3年次)

情報機器の操作 2(1~4年次)

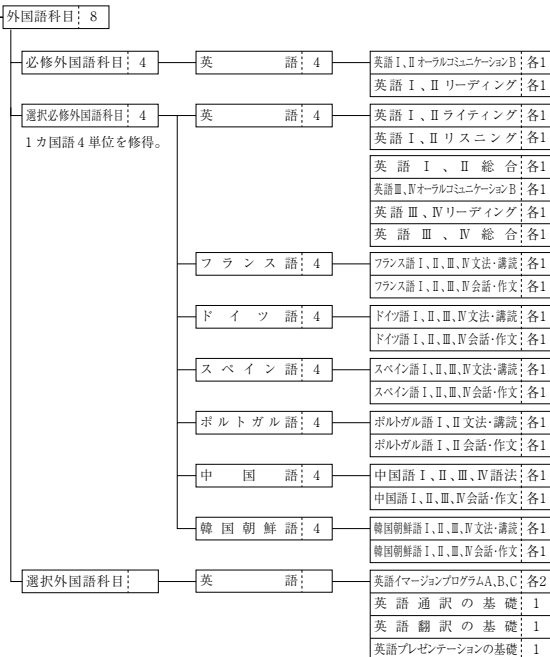
インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

法学部 法律学科

※1 ※2



学科科目 92以上

- A 群: 1・2～4年次 — 64単位以上
- B 群: 3～4年次

任意選択科目 (上記以外で卒業単位数に算入出来るもの) 0～12

- 共通教育科目のうち日本国憲法、法学A、法学Bを除くすべての科目
- 他学部開講科目
- 本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの。

共通教育科目履修要項

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えると
きの履修成績評価は、「欠席過多 (S)」による不合格とする。
日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのうちのいずれかを履修する学生について
は、履修年次は学科の指定によるものとする。

1. 宗教科目

- (1) 卒業のためには、宗教科目4単位を修得しなければならない。
- (2) つぎの宗教科目を開設する。

必修

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

2. 「人間の尊厳」科目

- (1) 卒業のためには、「人間の尊厳」科目4単位以上を修得しなければならない。
ただし、4単位を超えて修得した「人間の尊厳」科目の
取り扱いについては、各学部・学科の履修要項に従う。
- (2) つぎの「人間の尊厳」科目を開設する。

選択必修

第2年次以降

宗教に見る人間の尊厳A (2) 宗教に見る人間の尊厳B (2)

哲学・倫理学における人間の尊厳A (2) 哲学・倫理学における人間の尊厳B (2)

哲学・倫理学における人間の尊厳C (2) 思想史に学ぶ人間の尊厳A (2)

政治・経済と人間の尊厳A (2) 政治・経済と人間の尊厳B (2)

政治・経済と人間の尊厳C (2) 法と人間の尊厳A (2)

法と人間の尊厳B (2) 法と人間の尊厳C (2)

性と生命における 人間の尊厳A	(2)	性と生命における 人間の尊厳B	(2)
教育・文化における 人間の尊厳A	(2)	教育・文化における 人間の尊厳B	(2)
民族問題と人間の 尊厳A	(2)		

3. 外国語科目

- (1) 外国語科目の修得については、各学部・学科の定めるところによる。
- (2) 総合政策学部学生ならびに情報理工学部学生のために、つぎの外国語科目を開設する。
なお、日本語を外国語として履修する学生については、履修上の要件を別に定める。

総合政策学部学生のための外国語科目

必修（情報理工学部学生は履修できない）

英語コミュニケーションⅠ	(2)		
英語リテラシーⅠA	(1)	英語リテラシーⅠB	(1)
英語コミュニケーションⅡ	(2)		
英語リテラシーⅡA	(1)	英語リテラシーⅡB	(1)

選択必修（情報理工学部学生は、総合政策学部の許可を得て履修できる場合がある）

中国語Ⅰ	(4)	フランス語Ⅰ	(4)
スペイン語Ⅰ	(4)	ドイツ語Ⅰ	(4)
韓国朝鮮語Ⅰ	(4)	外国語Ⅰ	(1)
外国語Ⅱ	(5)		

選択（情報理工学部学生は、総合政策学部の許可を得て履修できる場合がある）

中国語Ⅱ	(2)	フランス語Ⅱ	(2)
スペイン語Ⅱ	(2)	ドイツ語Ⅱ	(2)
韓国朝鮮語Ⅱ	(2)	英語リテラシーⅢ	(2)

情報理工学部学生のための外国語科目

必修（総合政策学部学生は履修できない）

英語コミュニケーションⅠ	(2)	英語リテラシーⅠA	(1)
英語コミュニケーションⅡ	(2)	英語リテラシーⅡA	(1)
英語ⅠA	(1)	英語ⅠB	(1)
英語ⅡA	(1)	英語ⅡB	(1)

瀬戸キャンパス学部学生のための外国語科目

選択

English Skills Workshop A	(1)	English Skills Workshop B	(1)
English Skills Workshop C	(1)	English Skills Workshop D	(1)
TOEIC対策英語A	(1)	TOEIC対策英語B	(1)
TOEIC対策英語C	(1)	TOEFL対策英語A	(1)
TOEFL対策英語B	(1)	中国語ⅢA	(1)
中国語ⅢB	(1)	フランス語ⅢA	(1)
フランス語ⅢB	(1)	スペイン語ⅢA	(1)
スペイン語ⅢB	(1)	ドイツ語ⅢA	(1)
ドイツ語ⅢB	(1)	韓国朝鮮語ⅢA	(1)
韓国朝鮮語ⅢB	(1)		
英語リサーチ・イマージョンプログラム	(2)		
英語で学ぶイベント企画・交渉スキル	(2)		

日本語を外国語として履修する学生のために開設する日本語科目

日本語Ⅰ(文法)	(8)	日本語Ⅰ(読解作文)	(2)
日本語Ⅰ(運用)	(2)	日本語Ⅱ(読解)	(4)
日本語Ⅱ(表現技術A)	(2)	日本語Ⅱ(表現技術B)	(2)
日本語Ⅱ(総合)	(2)	日本語Ⅲ(読解)	(4)
日本語Ⅲ(表現技術A)	(2)	日本語Ⅲ(表現技術B)	(2)
日本語Ⅲ(総合)	(2)		

4. 体育科目

(1) 卒業のためには、体育科目2単位以上を修得しなければならない。

ただし、体育科目のうちの選択科目を修得した場合の

取り扱いについては、各学部・学科の履修要項に従う。

(2) つぎの体育科目を開設する。

必修

第1年次

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

選択

第2年次以降

スポーツ実技 (1) スポーツ実技 (1)
(ヘルススポーツ) (ウェルネススポーツ)

スポーツ実技 (1) スポーツ実技 (1)
(ライフロングスポーツ) (リフレッシュスポーツ)

スポーツ実技 (1) スポーツ実技 (1)
(アウトドアスポーツ) (レジャースポーツ)

スポーツ実技 (2)
(マリンスポーツ)

- (3) 基礎体育A、基礎体育Bともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択を行う。
- (4) 体育科目については、欠席時数が授業予定時数の20%を超える場合には、「欠席過多 (S)」による不合格とする。

5. テーマ科目

(1) 卒業のためには、「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4テーマについて、つぎのいずれかの方法に従って修得しなければならない。

① 4テーマの中から1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位以上を修得する

② 4テーマの中から2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位以上、もう1テーマについて2科目4単位以上の計5科目10単位以上を修得する。ただし、日本語を外国語として履修する学生については、各学部・学科の履修要項に従う。また、超過して修得した単位の取り扱いについては、各学

部学科の履修要項に従うものとする。

(2) テーマ科目として、つぎの科目を開設する。

選択必修

第1年次以降

「異文化との出会い」

異文化との出会い (2) 異文化との出会い (2)
(キリスト教との出会い) (文学にみる異文化受容)

異文化との出会い (2) 異文化との出会い (2)
(社会言語学から見た異文化) (フランス語圏文化)

異文化との出会い (2) 異文化との出会い (2)
(日本文化論) (東南アジア文化論)

異文化との出会い (2) 異文化との出会い (2)
(異文化体験から学ぶ) (企業と諸外国の異文化コミュニケーションの取り方)

「生命と環境」

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(環境倫理) (経済と環境問題)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(地球環境のゆくえ) (自然環境と生物)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(生命倫理) (キリスト教と環境)

生命と環境 (2) 生命と環境 (2)
(地域開発と環境保全) (生命の科学)

「知識・言語と情報社会」

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(社会現象とOR) (情報倫理)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(知識と意識) (偶然の中の規則性)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(言語と表現) (情報社会とコンピュータネットワーク)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(情報社会におけるソフトウェアの役割) (ことばとは)

知識・言語と情報社会 (2) 知識・言語と情報社会 (2)
(計算機を用いた最適化計算入門) (システムと制御)

「モダンの系譜」

モダンの系譜 (2) (国民国家の諸問題)	モダンの系譜 (2) (近代女性思想)
モダンの系譜 (2) (近代科学史)	モダンの系譜 (2) (科学技術論)
モダンの系譜 (2) (社会科学のパラダイム)	モダンの系譜 (2) (労働観の変遷)
モダンの系譜 (2) (税金と社会)	モダンの系譜 (2) (現代社会の諸問題と心理)
モダンの系譜 (2) (モダンからポストモダンへ)	モダンの系譜 (2) (都市論)

6. 分野科目

- (1) 分野科目の中から修得した単位の取り扱い、各学部・学科の履修要項に従うものとする。
- (2) 分野科目として、つぎの科目を開設する。

第1年次以降

選択科目

哲	学 (2)	文	学 (2)
日	本 史 (2)	美	術 (2)
音	楽 (2)	法	学 (2)
政	治 学 (2)	文	化 人 類 学 (2)
社	会 学 (2)	経	済 学 (2)
数	学 (2)	物	理 学 (2)
生	物 学 (2)	化	学 (2)
心	理 学 (2)	地	球 科 学 (2)
ス	ポーツ科学論 (2)	健	康 科 学 論 (2)

7. アカデミックリテラシー科目

- (1) アカデミックリテラシー科目として、つぎの科目を開設する。

総合政策学部学生のためのアカデミックリテラシー科目

必修

第1年次

基 礎 演 習 (2)	コ	ン	ピ	ュ	ー	タ	基	礎	演	習	I (1)
コ	ン	ピ	ュ	ー	タ	基	礎	演	習	II (1)	

情報理工学部学生のためのアカデミックリテラシー科目
必修

第1年次

基礎演習(2)

8. インターンシップ科目

- (1) インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
- (2) インターンシップ科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択

第3年次

インターンシップ研修(2)

- (3) 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
- (4) インターンシップ研修は、自由科目(卒業必要単位に算入されない科目)として履修することはできない。

総合政策学部総合政策学科履修要項

～外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修しない学生に適用～

1. 総合政策学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」、「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な130単位を修得しなければならない。このうち、共通教育科目については38単位が、学科科目については80単位が含まれていなければならない。

この履修要項は外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修しない学生に適用する。

2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。(38単位)

(1) 必修科目 (10単位)

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)
基 礎 体 育 B (1) 基 礎 演 習 (2)

第1年次春学期

コンピュータ基礎演習Ⅰ (1)

第1年次秋学期

コンピュータ基礎演習Ⅱ (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

(2) 選択必修科目 (14単位)

第1年次以降

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4テーマについて、次のいずれかの方法に従って修得しなければならない。

- ① 4テーマの中から1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位以上を修得する
② 4テーマの中から2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位以上、もう1テーマについて2科目4単位以上の計5科目10単位以上を修得する

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

(3) 外国語科目 (12単位)

必修科目 (8単位)

第1年次

- | | |
|------------------|------------------|
| 英語コミュニケーションⅠ (2) | 英語コミュニケーションⅡ (2) |
| 英語リテラシーⅠA (1) | 英語リテラシーⅠB (1) |
| 英語リテラシーⅡA (1) | 英語リテラシーⅡB (1) |

選択必修科目 (4単位または6単位)

第2年次

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 中国語Ⅰ (4) | フランス語Ⅰ (4) |
| スペイン語Ⅰ (4) | ドイツ語Ⅰ (4) |
| 韓国朝鮮語Ⅰ (4) | 外国語Ⅰ (1) |
| 外国語Ⅱ(中国語) (5) | 外国語Ⅱ(韓国語) (5) |
| 外国語Ⅱ(マレー・インドネシア語) (5) | 外国語Ⅱ(ベトナム語) (5) |
| 外国語Ⅱ(フィリピン語) (5) | 外国語Ⅱ(タイ語) (5) |

外国語Ⅰ・Ⅱは短期アジア留学プログラムとして開講し、外国語Ⅰは事前・事後指導、外国語Ⅱは海外における語学研修(中国語、韓国語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、マレー・インドネシア語)とする。また、外国語Ⅰ・Ⅱは分割して履修することはできない。

選択科目

第1年次

- | | |
|----------------|----------------|
| TOEIC対策英語A (1) | TOEIC対策英語B (1) |
| TOEIC対策英語C (1) | TOEFL対策英語A (1) |
| TOEFL対策英語B (1) | |

第2年次

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 中国語Ⅱ(2)* | フランス語Ⅱ(2)* |
| スペイン語Ⅱ(2)* | ドイツ語Ⅱ(2)* |
| 韓国朝鮮語Ⅱ(2)* | 英語リテラシーⅢ(2) |
| 英語で学ぶイベント企画・交渉スキル | (2) |
| 英語リサーチ・イマージョンプログラム | (2) |
| English Skills Workshop A (1) | English Skills Workshop B (1) |
| English Skills Workshop C (1) | English Skills Workshop D (1) |

第3年次

- | | |
|-------------|-------------|
| 中国語ⅢA (1) | 中国語ⅢB (1) |
| フランス語ⅢA (1) | フランス語ⅢB (1) |

スペイン語Ⅲ A (1) スペイン語Ⅲ B (1)
 ドイツ語Ⅲ A (1) ドイツ語Ⅲ B (1)
 韓国朝鮮語Ⅲ A (1) 韓国朝鮮語Ⅲ B (1)
 *の科目(中国語Ⅱ、フランス語Ⅱ、スペイン語Ⅱ、
 ドイツ語Ⅱ、韓国朝鮮語Ⅱ)のいずれかを履修してい
 ないと、それぞれの言語の総合政策外国文献講読Ⅰを
 履修することができない。ただし、外国語Ⅰ・Ⅱ(中
 国語)、および(韓国語)を履修した場合には、総合
 政策外国文献講読Ⅰのそれぞれ中国語セクション、お
 よび韓国朝鮮語のセクションを履修することができる。

(4) 選択科目

第1年次以降

哲	学 (2)	文	学 (2)
日 本	史 (2)	美	術 (2)
音	楽 (2)	法	学 (2)
政 治	学 (2)	文 化 人 類	学 (2)
社 会	学 (2)	経 済	学 (2)
数	学 (2)	物 理	学 (2)
生 物	学 (2)	化	学 (2)
心 理	学 (2)	地 球 科 学	(2)
スポーツ科学論	(2)	健 康 科 学 論	(2)

第2年次以降

スポーツ実技 (1) (ヘルススポーツ)	(1)	スポーツ実技 (1) (ウェルネススポーツ)	(1)
スポーツ実技 (1) (ライフロングスポーツ)	(1)	スポーツ実技 (1) (リフレッシュスポーツ)	(1)
スポーツ実技 (1) (アウトドアスポーツ)	(1)	スポーツ実技 (1) (レジャースポーツ)	(1)
スポーツ実技 (2) (マリンスポーツ)	(2)		

第3年次以降

インターンシップ研修 (2)

なお、必要な単位を超えて修得した単位は共通教育科目ま
 たは任意選択科目として卒業に必要な単位数に算入するこ
 とができる。

3. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目の中から、必修科目を12単位、
選択必修科目の〔基礎科目〕を10単位以上、
選択必修科目の〔方法論科目〕を4単位以上、
選択必修科目の〔文明論科目〕を12単位以上、
選択必修科目の〔総合政策科目〕を12単位以上、
選択科目を30単位以上修得し、合計で80単位を修得しなければならない。
ただし、ここでいう〔文明論科目〕には、必修科目の文明論概論は含まれない。
ただし、ここでいう〔総合政策科目〕には、必修科目の総合政策入門は含まれない。
4. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目を、次に示した履修年次に従って、履修するものとする。

(1) 必修科目 (12単位)

第1年次

文明論概論 (2) 総合政策入門 (2)

第3年次

総合政策プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ (各2)

第4年次

総合政策プロジェクト研究Ⅲ・Ⅳ (各2)

(2) 選択必修科目 (38単位)

〔基礎科目〕 (10単位)

第1年次以降

環境学概論 (2) マクロ経済学 (2)

ミクロ経済学 (2) 産業心理学 (2)

政治学概論 (2) 経営学 (2)

行政学 (2) 国際関係論 (2)

社会学概論 (2) 会計学 (2)

環境生物学 (2) 民法 (2)

憲法 (2) 簿記原理 (2)

行政法 (2)

第2年次

政策演習 (2)

第2年次以降

統計学 (2) O R 概論 (2)

財政学 (2)

統計解析履修のためには、統計学を履修することが必要である。

[方法論科目] (4単位)

第2年次

統計解析 (2)

ただし、統計解析を履修するためには統計学を履修していなければならない。

第3年次

総合政策数量的アプローチ (2)

ただし、総合政策数量的アプローチを履修するためには統計学を履修していなければならない。

総合政策外国文献講読Ⅰ (2)

ただし、英語以外のセクションを履修するためには次の要件を満たす必要がある。

中国語のセクションを履修するためには、中国語Ⅰ・Ⅱを履修しているか、あるいは外国語Ⅰ・Ⅱで中国語のセクションを履修していなければならない。

フランス語のセクションを履修するためには、フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していなければならない。

スペイン語のセクションを履修するためには、スペイン語Ⅰ・Ⅱを履修していなければならない。

ドイツ語のセクションを履修するためには、ドイツ語Ⅰ・Ⅱを履修していなければならない。

韓国朝鮮語のセクションを履修するためには、韓国朝鮮語Ⅰ・Ⅱを履修しているか、あるいは外国語Ⅰ・Ⅱで韓国語のセクションを履修していなければならない。

第3年次以降

空間情報分析法 (2) 総合政策外国文献講読Ⅱ (2)

ただし、総合政策外国文献講読Ⅱ履修登録のためには、総合政策外国文献講読Ⅰを履修することが必要

である。

[文明論科目] (12単位)

第1年次以降

近 現 代 史 (2)	地 域 文 明 論 A (2) (アジア)
地 域 文 明 論 B (2) (アジア)	地 域 文 明 論 C (2) (ヨーロッパ)
地 域 文 明 論 D (2) (ヨーロッパ)	地 域 文 明 論 E (2) (アメリカ)
地 域 文 明 論 F (2) (アメリカ)	地 域 文 明 論 G (2) (アフリカ)
地 域 文 明 論 H (2) (アジア)	地 域 文 明 論 I (2) (ヨーロッパ)
地 域 文 明 論 J (2) (アメリカ)	地 域 文 明 論 K (2) (中 東)
環 境 と 文 明 (2)	宗 教 と 文 明 (2)
ジェンダーと文明 (2)	産 業 文 明 論 (2)
比 較 社 会 論 (2)	エ コ シ ス テ ム 論 (2)
国 家 と 宗 教 (2)	政 策 倫 理 (2)
中世ヨーロッパにおける社会と法律 (2)	

[総合政策科目] (12単位)

総合政策論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから計12単位を修得すること。

第1年次以降

総 合 政 策 論 Ⅰ (2) (現代文明論)	総 合 政 策 論 Ⅰ (2) (現代国家論)
総 合 政 策 論 Ⅰ (2) (グローバルガバナンス)	

第2年次以降

総 合 政 策 論 Ⅰ (2) (現代企業論)	総 合 政 策 論 Ⅰ (2) (公共政策論)
総 合 政 策 論 Ⅱ (2) (環境政策論)	総 合 政 策 論 Ⅱ (2) (国際相互依存論)
総 合 政 策 論 Ⅱ (2) (人的資源論)	総 合 政 策 論 Ⅱ (2) (組織行動論)
総 合 政 策 論 Ⅱ (2) (公衆衛生論)	総 合 政 策 論 Ⅲ (2) (環境行政論)

総合政策論Ⅲ (2)
(総合政策原論)

第3年次以降

総合政策論Ⅲ (2) 総合政策論Ⅲ (2)
(先進国政治の課題) (国際環境と日本)

総合政策論Ⅲ (2) 総合政策論Ⅲ (2)
(労働問題と政策) (政治構造と社会変動)

総合政策論Ⅲ (2)
(政治変動論)

(3) 選択科目 (30単位)

第1年次以降

総合政策学外体験プログラムA (国内) (2)

総合政策学外体験プログラムB (海外) (2)

総合政策連続講義A (2)

総合政策連続講義B (2)

第2年次以降

国際社会と法A (2) 国際社会と法B (2)

日本政治論 (2) 人権政策論 (2)

環境保全論 (2) 経済政策論 (2)

現代家族と法 (2) アメリカの外交 (2)

アメリカの経済 (2) アジア政治論 (2)

政治過程論 (2) 国際開発論 (2)

官僚機構論 (2) 労働経済論 (2)

政治行動論 (2) 公会計論 (2)

地球政治論 (2) 地方財政政策論 (2)

地方財政分析論 (2) 環境社会学 (2)

現代社会における共生と言語 (2)

第3年次

環境調査法 (2)

第3年次以降

国際政治行政論 (2) 国際貿易論 (2)

国際金融論 (2) 地域経済論 (2)

地域政治変動論 (2) 都市環境論 (2)

アジア国際関係論 (2) 法政策比較論 (2)

環境経済学 (2) 地球環境論 (2)

アジア移民論 (2)	日本経営論 (2)
中国政治論 (2)	環境法制論 (2)
経済政策のモデル解析 (2)	国際組織論 (2)
国際経営戦略論 (2)	国際財務論 (2)
立法過程論 (2)	経営財務論 (2)
非営利組織論 (2)	地方自治論 (2)
マーケティング論 (2)	国際戦略論 (2)
経済援助論 (2)	監査論 (2)
経営労務論 (2)	開発政治論 (2)
経営分析論 (2)	環境会計論 (2)
社会調査法 (2)	環境衛生学 (2)

5. 卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は任意選択科目の中から履修するものとする。

(1) 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて履修したものについては、任意選択科目に振り替える。

(2) 任意選択科目として、共通教育科目、学科科目、履修可能な瀬戸キャンパスの他学部・他学科開講科目、履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）を履修することができる。ただし、他学部・他学科開講科目の履修に際しては、該当学部・学科の履修年次を遵守しなければならない。

(3) 総合政策学部総合政策学科学生については、「履修可能な情報理工学部学部共通科目」、「履修可能なソフトウェア工学科科目」、「履修可能なシステム創成工学科科目」、「履修可能な情報システム数理学科科目」、「履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）」の中から8単位までを任意選択科目に含めることを認める。

6. 総合政策学部総合政策学科学生が履修登録できる単位数は、卒業に必要な単位数として算入されるものについては、学期あたり24単位までとする。

7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。
8. 総合政策学科学生が総合政策プロジェクト研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するためには以下の条件を満たさなくてはならない。
 - (1) 総合政策プロジェクト研究Ⅰを履修するためには、原則として、卒業に必要な単位数を50単位以上修得していなければならない。
 - (2) 総合政策プロジェクト研究Ⅱは総合政策プロジェクト研究Ⅰの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅲは総合政策プロジェクト研究Ⅱの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅳは総合政策プロジェクト研究Ⅲの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅰと同一担当者のセクションに限って履修することができる。
9. 総合政策プロジェクト研究Ⅳの単位を修得するためには、卒業論文かあるいはそれにかわるリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画書を提出して合格しなければならない。詳細は別途定める。
10. 総合政策学部総合政策学科学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。

総合政策学部総合政策学科カリキュラム表

【総合政策学部 総合政策学科】

(日本語を履修しない学生)

区分		年次別		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		詳細は、「共通教育科目履修要項」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照					
学 科 目	必修科目	文明論概論(2) 総合政策入門(2)				総合政策プロジェクト 研究Ⅰ・Ⅱ(各2)	総合政策プロジェクト 研究Ⅲ・Ⅳ(各2)
	基礎科目	10単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。					
	方法論科目	4単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。					
	文明論科目	12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。					
	総合政策科目	12単位以上を修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。					
選択科目	30単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。						
任意選択科目		卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目から修得するものとする。 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。 「履修可能な情報理工学部学部共通科目」「履修可能なソフトウェア工学科科目」「履修可能なシステム創成工学科科目」「履修可能な情報システム数理工学科科目」および「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位まで任意選択科目の単位として認める。					
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)					

卒業に必要な単位数〔日本語を履修しない学生〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 130

共通教育科目 38以上

必修科目 10

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

アカデミックリテラシー科目

基礎演習 2(1年次)

コンピュータ基礎演習Ⅰ 1(1年次)

コンピュータ基礎演習Ⅱ 1(1年次)

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 10

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目

分野科目

哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、政治学、文化人類学、社会学、経済学、数学、物理学、生物学、化学、心理学、地球科学、スポーツ科学論、健康科学論
各2(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 1,2(2~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

外国語科目 12または14

必修外国語科目 8

英語 8

英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ 各2(1年次)

英語リテラシーⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB 各1(1年次)

選択必修外国語科目 4または6

1. 外国語Ⅰ、Ⅱの2科目6単位、または中国語Ⅰ、フランス語Ⅰ、スペイン語Ⅰ、ドイツ語Ⅰ、韓国朝鮮語Ⅰから1科目4単位を修得すること。
2. 履修にあたっての前提要件については、172頁を参照のこと。

中国語Ⅰ 4(2年次)

フランス語Ⅰ 4(2年次)

スペイン語Ⅰ 4(2年次)

ドイツ語Ⅰ 4(2年次)

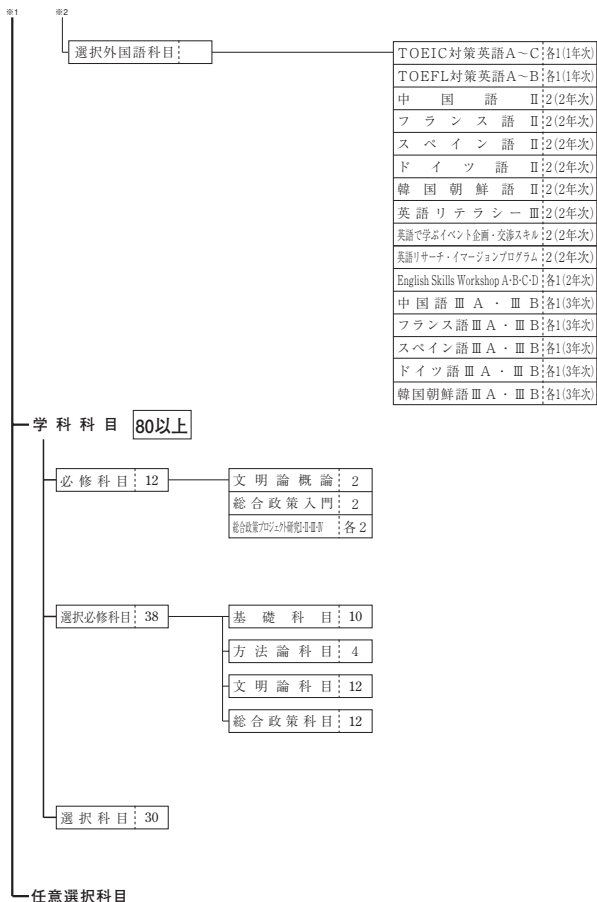
韓国朝鮮語Ⅰ 4(2年次)

外国語Ⅰ、Ⅱ 1,5(2年次)

※1

※2

総合政策学部 総合政策学科



総合政策学部総合政策学科履修要項

～外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修する学生に適用～

1. 総合政策学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」、「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な130単位を修得しなければならない。

この履修要項は外国語科目「日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のうちの一部またはすべてを履修する学生に適用する。

2. 日本語を外国語として履修する学生については、学習歴と日本語能力等を勘案して、日本語未修者、日本語中級者、日本語上級者のうちのいずれかに分類する。

日本語未修者については、共通教育科目を54単位、学科科目を76単位修得するものとする。

日本語中級者については、共通教育科目を44単位、学科科目を80単位、任意選択科目を6単位修得するものとする。

日本語上級者については、共通教育科目を38単位、学科科目を80単位、任意選択科目を12単位修得するものとする。

3. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。

(1) 必修科目 (10単位)

宗 教 論 (2)	キリスト教概論 (2)
基 礎 体 育 A (1)	基 礎 体 育 B (1)
コンピュータ基礎演習Ⅰ (1)	コンピュータ基礎演習Ⅱ (1)
基 礎 演 習 (2)	

(2) 選択必修科目 (日本語未修者の場合は12単位、日本語中級者・上級者の場合は14単位)

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4テーマについて、次のいずれかの方法に従って修得しなければならない。

① 4テーマの中から1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位以上を修得する (ただし日本語未修者の場合は4科目8単位とする)

② 4テーマの中から2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位以上、もう1テーマにつ

いて2科目4単位以上の計5科目10単位以上を修得する

(ただし、日本語未修者の場合は、上記の制限を設けず4科目8単位とする)。

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を修得すること。

(3) 外国語科目

日本語未修者の必修科目 (32単位)

日本語Ⅰ(文法)	(8)	日本語Ⅰ(読解作文)	(2)
日本語Ⅰ(運用)	(2)	日本語Ⅱ(読解)	(4)
日本語Ⅱ(表現技術A)	(2)	日本語Ⅱ(表現技術B)	(2)
日本語Ⅱ(総合)	(2)	日本語Ⅲ(読解)	(4)
日本語Ⅲ(表現技術A)	(2)	日本語Ⅲ(表現技術B)	(2)
日本語Ⅲ(総合)	(2)		

日本語中級者の必修科目 (20単位)

日本語Ⅱ(読解)	(4)	日本語Ⅱ(表現技術A)	(2)
日本語Ⅱ(表現技術B)	(2)	日本語Ⅱ(総合)	(2)
日本語Ⅲ(読解)	(4)	日本語Ⅲ(表現技術A)	(2)
日本語Ⅲ(表現技術B)	(2)	日本語Ⅲ(総合)	(2)

日本語上級者の必修科目 (10単位)

日本語Ⅲ(読解)	(4)	日本語Ⅲ(表現技術A)	(2)
日本語Ⅲ(表現技術B)	(2)	日本語Ⅲ(総合)	(2)

日本語上級者の選択必修科目 (2単位)

英語リテラシーⅠA	(1)	英語リテラシーⅡA	(1)
英語リテラシーⅢ	(2)	英語コミュニケーションⅠ	(2)
英語コミュニケーションⅡ	(2)	英語リテラシーⅠB	(1)
英語リテラシーⅡB	(1)	English Skills Workshop A	(1)
English Skills Workshop B	(1)	English Skills Workshop C	(1)
English Skills Workshop D	(1)		
英語で学ぶイベント企画・交渉スキル			(2)
英語リサーチ・イマージョンプログラム			(2)

(4) 選択科目 (日本語中級者と日本語上級者の場合)

哲	学	(2)	文	学	(2)
---	---	-----	---	---	-----

日 本 史 (2)	美 術 (2)
音 楽 (2)	法 学 (2)
政 治 学 (2)	文 化 人 類 学 (2)
社 会 学 (2)	経 済 学 (2)
数 学 (2)	物 理 学 (2)
生 物 学 (2)	化 学 (2)
心 理 学 (2)	地 球 科 学 (2)
スポーツ科学論 (2)	健 康 科 学 論 (2)
スポーツ実技 (1) (ヘルススポーツ)	スポーツ実技 (1) (ウェルネススポーツ)
スポーツ実技 (1) (ライフロングスポーツ)	スポーツ実技 (1) (リフレッシュスポーツ)
スポーツ実技 (1) (アウトドアスポーツ)	スポーツ実技 (1) (レジャースポーツ)
スポーツ実技 (1) (マリンスポーツ)	
インターンシップ研修 (2)	

なお、必要な単位を超えて修得した単位は共通教育科目または任意選択科目として卒業に必要な単位数に算入することができない。

4. 総合政策学部学生は、総合政策学科学科科目を履修するものとする。

(1) 必修科目 (12単位)

文 明 論 概 論 (2) 総 合 政 策 入 門 (2)
総合政策プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (各2)

(2) 選択必修科目

[基礎科目] (12または14単位)

日本語未修者は12単位を修得すること。日本語中級者・上級者は14単位を修得すること。

総合政策外国文献講読Ⅰ (2) 総合政策外国文献講読Ⅱ (2)
統 計 解 析 (2) 総合政策数量的アプローチ (2)

ただし、統計解析あるいは総合政策数量的アプローチを履修するためには、統計学を履修することが必要である。

また総合政策外国文献講読Ⅱを履修するためには、総合政策外国文献講読Ⅰを履修することが必要である。

統計学 (2)	環境学概論 (2)
マクロ経済学 (2)	ミクロ経済学 (2)
産業心理学 (2)	政治学概論 (2)
経営学 (2)	行政学 (2)
国際関係論 (2)	社会学概論 (2)
会計学 (2)	環境生物学 (2)
民法 (2)	憲法 (2)
簿記原理 (2)	行政法 (2)
政策演習 (2)	O R 概論 (2)
財政学 (2)	空間情報分析法 (2)

[文明論科目] (12単位)

近現代史 (2)	地域文明論 A (2) (アジア)
地域文明論 B (2) (アジア)	地域文明論 C (2) (ヨーロッパ)
地域文明論 D (2) (ヨーロッパ)	地域文明論 E (2) (アメリカ)
地域文明論 F (2) (アメリカ)	地域文明論 G (2) (アフリカ)
地域文明論 H (2) (アジア)	地域文明論 I (2) (ヨーロッパ)
地域文明論 J (2) (アメリカ)	地域文明論 K (2) (中東)
環境と文明 (2)	宗教と文明 (2)
ジェンダーと文明 (2)	産業文明論 (2)
比較社会論 (2)	エコシステム論 (2)
国家と宗教 (2)	政策倫理 (2)
中世ヨーロッパの社会と法律 (2)	

[総合政策科目] (12単位)

総合政策論Ⅰ (2) (現代文明論)	総合政策論Ⅰ (2) (現代国家論)
総合政策論Ⅰ (2) (グローバルガバナンス)	総合政策論Ⅰ (2) (現代企業論)

総合政策論Ⅰ (2) (公共政策論)	総合政策論Ⅱ (2) (環境政策論)
総合政策論Ⅱ (2) (国際相互依存論)	総合政策論Ⅱ (2) (人的資源論)
総合政策論Ⅱ (2) (組織行動論)	総合政策論Ⅱ (2) (公衆衛生論)
総合政策論Ⅲ (2) (環境行政論)	総合政策論Ⅲ (2) (総合政策原論)
総合政策論Ⅲ (2) (先進国政治の課題)	総合政策論Ⅲ (2) (国際環境と日本)
総合政策論Ⅲ (2) (労働問題と政策)	総合政策論Ⅲ (2) (政治構造と社会変動)
総合政策論Ⅲ (2) (政治変動論)	

(3) 選択科目 (28または30単位)

日本語未修者は28単位。それ以外は30単位。

総合政策学外体験プログラムA (国内)	(2)
総合政策学外体験プログラムB (海外)	(2)
総合政策連続講義A (2)	総合政策連続講義B (2)
国際社会と法A (2)	国際社会と法B (2)
日本政治論 (2)	人権政策論 (2)
環境保全論 (2)	経済政策論 (2)
現代家族と法 (2)	アメリカの外交 (2)
アメリカの経済 (2)	アジア政治論 (2)
政治過程論 (2)	国際開発論 (2)
官僚機構論 (2)	労働経済論 (2)
政治行動論 (2)	公会計論 (2)
地球政治論 (2)	地方財政政策論 (2)
地方財政分析論 (2)	環境社会学 (2)
現代社会における共生と言語 (2)	環境調査法 (2)
国際政治行政論 (2)	国際貿易論 (2)
国際金融論 (2)	地域経済論 (2)
地域政治変動論 (2)	都市環境論 (2)
アジア国際関係論 (2)	法政策比較論 (2)
環境経済学 (2)	地球環境論 (2)

アジア移民論 (2)	日本経営論 (2)
中国政治論 (2)	環境法制論 (2)
経済政策のモデル解析 (2)	国際組織論 (2)
国際経営戦略論 (2)	国際財務論 (2)
立法過程論 (2)	経営財務論 (2)
非営利組織論 (2)	地方自治論 (2)
マーケティング論 (2)	国際戦略論 (2)
経済援助論 (2)	監査論 (2)
経営労務論 (2)	開発政治論 (2)
経営分析論 (2)	環境会計論 (2)
社会調査法 (2)	環境衛生学 (2)

5. 卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は任意選択科目の中から履修するものとする。

(1) 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて履修したものについては、任意選択科目に振り替える。

(2) 任意選択科目として、共通教育科目、学科科目、履修可能な瀬戸キャンパスの他学部・他学科開講科目、履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）を履修することができる。ただし、他学部・他学科開講科目の履修に際しては、該当学部・学科の履修年次を遵守しなければならない。

(3) 総合政策学部総合政策学科学生については、「履修可能な情報理工学部学部共通科目」、「履修可能なソフトウェア工学科科目」、「履修可能なシステム創成工学科科目」、「履修可能な情報システム数理学科科目」、「履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）」の中から8単位までを任意選択科目に含めることを認める。

6. 総合政策学部総合政策学科学生が履修登録できる総単位数は、卒業に必要な単位数として算入できるものについては、学期あたり24単位までとする。

7. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多（S）」による不合格とする。
8. 総合政策学科学生が総合政策プロジェクト研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを履修するためには以下の条件を満たさなくてはならない。
- (1) 総合政策プロジェクト研究Ⅰを履修するためには、次の条件を満たさなくてはならない。
 - ① 原則として、卒業に必要な単位数を50単位以上修得していなければならない。
 - ② 外国語科目日本語Ⅲを8単位以上（日本語Ⅲ（読解）を含む）修得していなければならない。
 - (2) 総合政策プロジェクト研究Ⅱは総合政策プロジェクト研究Ⅰの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅲは総合政策プロジェクト研究Ⅱの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅳは総合政策プロジェクト研究Ⅲの単位を修得した者のみが、総合政策プロジェクト研究Ⅰと同一担当者のセクションに限って履修することができる。
9. 総合政策プロジェクト研究Ⅳの単位を修得するためには、卒業論文かあるいはそれにかわるリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画書を提出して合格しなければならない。詳細は別途定める。
10. 総合政策学部総合政策学科学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。

総合政策学部 総合政策学科

付表：総合政策学部外国人留学生の卒業要件

		卒業必要単位			
		日本語未修者	日本語中級者	日本語上級者	
共通教育科目	宗教科目	4	4	4	
	「人間の尊厳」科目	4	4	4	
	外国語科目	日本語 32	日本語 20	日本語10 英語2	
	体育科目	2	2	2	
	テーマ科目	8	10	10	
	アカデミックリテラシー科目	4	4	4	
	科目区分を定めない	0	0	2	
学科科目	必修科目	文明論概論	2	2	2
		総合政策入門	2	2	2
		総合政策プロジェクト研究I、II、III、IV	8	8	8
	選択必修科目	基礎科目	12	14	14
		文明論科目	12	12	12
		総合政策科目	12	12	12
選択科目		28	30	30	
任意選択科目		0	6	12	
合 計		130	130	130	

総合政策学部 総合政策学科カリキュラム表

【総合政策学部 総合政策学科】

(日本語未修者)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			詳細は、「共通教育科目履修要項」及び後掲「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 目	必修科目		文明論概論(2) 総合政策入門(2)		総合政策プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ(各2) 総合政策プロジェクト研究Ⅲ・Ⅳ(各2)	
	基礎 科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	文明論 科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	総合政 策科目		12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	選択科目		28単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
任意選択科目			卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目の中から履修するものとする。 「履修可能な情報理工学部学部共通科目」「履修可能なソフトウェア工学科科目」「履修可能なシステム創成工学科科目」「履修可能な情報システム数理学科科目」「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位までを任意選択科目の単位として認める。			
自由科目			「教職に関する科目」「博物館に関する科目」「司書・司書教諭に関する科目」(卒業に必要な単位には算入されない。)			

総合政策学部 総合政策学科

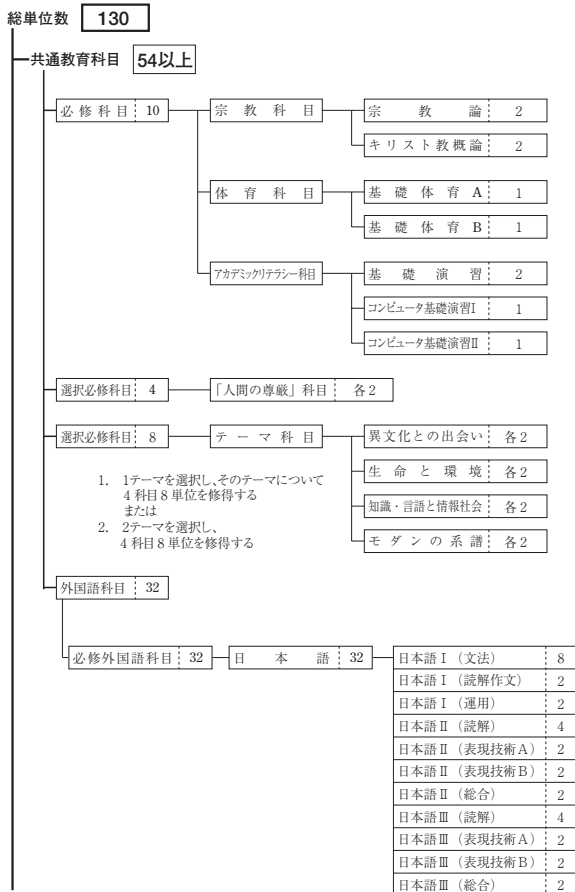
【総合政策学部 総合政策学科】

(日本語中級者・上級者)

区分		年次別			
		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		詳細は、「共通教育科目履修要項」及び後掲「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 目	必修科目	文明論概論(2) 総合政策入門(2)		総合政策プロジェクト研究Ⅰ・Ⅱ(各2) 総合政策プロジェクト研究Ⅲ・Ⅳ(各2)	
	選択 基礎 科目	14単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	必修 文明論 科目	12単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	必修 総合政 策科目	12単位を修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
	選択 科目	30単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照。			
任意選択科目		卒業に必要な総単位数のうち、上記で定めた単位数に不足する単位は、任意選択科目の中から履修するものとする。 共通教育科目ならびに学科科目について、所定の単位数を超えて修得した単位は、任意選択科目に振り替えることができる。 「履修可能な情報理工学部学部共通科目」「履修可能なソフトウェア工学科科目」「履修可能なシステム創成工学科科目」「履修可能な情報システム数理学科科目」「履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)」については、8単位までを任意選択科目の単位として認める。			
自由科目		「教職に関する科目」「博物館に関する科目」「司書・司書教諭に関する科目」 (卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数〔日本語未修者〕

総合政策学部総合政策学科



81

※1

学科科目 76以上

必修科目 12

文明論概論	2
総合政策入門	2
総合政策/中/外研究/ⅠⅡⅢ	各2

選択必修科目 36

基礎科目	12
文明論科目	12
総合政策科目	12

選択科目 28

任意選択科目

卒業に必要な単位数〔日本語中級者〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 **130**共通教育科目 **44以上**

必修科目 10

宗教科目

宗教論 2

キリスト教概論 2

体育科目

基礎体育A 1

基礎体育B 1

アカデミックリテラシー科目

基礎演習 2

コンピュータ基礎演習Ⅰ 1

コンピュータ基礎演習Ⅱ 1

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2

選択必修科目 10

テーマ科目

異文化との出会い 各2

生命と環境 各2

知識・言語と情報社会 各2

モダンの系譜 各2

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選択科目

分野科目

哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、政治学、文化人類学、社会学、経済学、数学、物理学、生物学、化学、心理学、地球科学、スポーツ科学論、健康科学論
各2

体育科目

スポーツ実技 1,2

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2

外国語科目 20

必修外国語科目 20

日本語 20

日本語Ⅱ(読解) 4

日本語Ⅱ(表現技術A) 2

日本語Ⅱ(表現技術B) 2

日本語Ⅱ(総合) 2

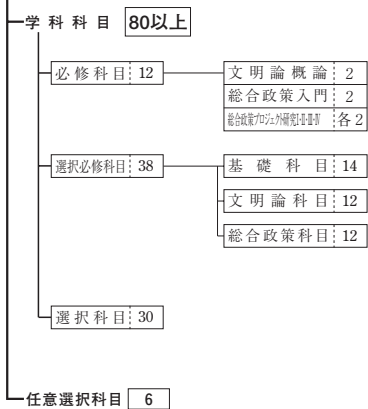
日本語Ⅲ(読解) 4

日本語Ⅲ(表現技術A) 2

日本語Ⅲ(表現技術B) 2

日本語Ⅲ(総合) 2

※1



卒業に必要な単位数〔日本語上級者〕

総合政策学部総合政策学科

総単位数 130

共通教育科目 38以上

必修科目 10	宗教科目	宗 教 論	2
		キリスト教概論	2
	体育科目	基礎体育 A	1
		基礎体育 B	1
	アカデミックリテラシー科目	基礎演習	2
		コンピュータ基礎演習Ⅰ	1
		コンピュータ基礎演習Ⅱ	1

選択必修科目 4 「人間の尊厳」科目 各2

選択必修科目 10	テーマ科目	異文化との出会い	各2
		生命と環境	各2
		知識・言語と情報社会	各2
		モダンの系譜	各2

1. 1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位を修得する
または
2. 2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位を修得し、もう1テーマについて2科目4単位の計5科目10単位を修得する

選 択 科 目	分野科目	哲学、文学、日本史、美術、音楽、法学、政治学、文化人類学、社会学、経済学、数学、物理学、生物学、化学、心理学、地球科学、スポーツ科学論、健康科学論	各2
	体育科目	ス ポ ー ツ 実 技	1、2
	インターンシップ科目	インターンシップ研修	2

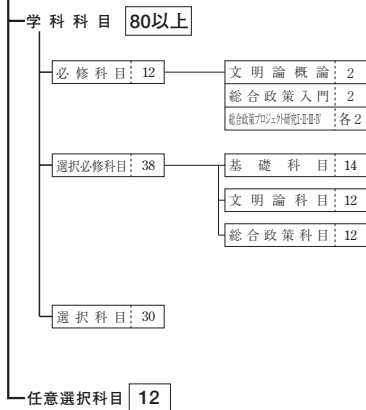
外国語科目 12

必修外国語科目 10	日 本 語 10	日本語Ⅲ（読解）	4
		日本語Ⅲ（表現技術A）	2
		日本語Ⅲ（表現技術B）	2
		日本語Ⅲ（総合）	2

選択必修外国語科目 2	英語リテラシーⅠA	1
	英語リテラシーⅡA	1
	英語リテラシーⅢ	2
	英語コミュニケーションⅠ	2
	英語コミュニケーションⅡ	2
	英語リテラシーⅠB	1
	英語リテラシーⅡB	1
	English Skills Workshop A・B・C・D	各1
	英語で学ぶイベント企画・交渉スキル	2
	英語リサーチ・イマージョンプログラム	2

総合政策学部 総合政策学科

※1



情報理工学部履修要項 ※()内は単位数

1. 情報理工学部はソフトウェア工学科、システム創成工学科、情報システム数理学科の3学科で構成される。情報理工学部学生は第3年次以降にいずれかの学科に配属されなければならない。情報理工学部学生は、共通教育科目を32単位以上、学部共通必修科目を32単位、学部共通選択必修科目を12単位以上、配属された学科の必修科目を18単位、専門科目群から合計24単位以上、任意選択科目を14単位以上、合計132単位以上を卒業に必要な単位として修得しなければならない。

2. 共通教育科目 (32)

情報理工学部学生は共通教育科目として合計32単位以上を修得しなければならない。

必修科目 (8)

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1) 基 礎 演 習 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

選択必修科目 (14)

第1年次以降

「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4テーマについて、次のいずれかの方法に従って修得しなければならない。

① 4テーマの中から1テーマを選択し、そのテーマについて5科目10単位以上を修得する。

② 4テーマの中から2テーマを選択し、そのうち1テーマについて3科目6単位以上、もう1テーマについて2科目4単位以上の計5科目10単位以上を修得する。

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得する。

必修外国語科目 (10)

第1年次

英語コミュニケーションⅠ（２） 英語コミュニケーションⅡ（２）

英語リテラシーⅠA（１） 英語リテラシーⅡA（１）

第２年次

英 語 Ⅰ A（１） 英 語 Ⅰ B（１）

英 語 Ⅱ A（１） 英 語 Ⅱ B（１）

選択科目

分野科目、必修科目でない体育科目、必修科目でない外国語科目およびインターンシップ科目などの履修可能な科目は、卒業に必要な単位としては任意選択科目となる。“７．任意選択科目”の節を参照。

３．学部共通必修科目（32）

情報理工学部学生は、学部共通必修科目を32単位修得しなければならない。

第１年次

微 積 分 学 Ⅰ（２） 微 積 分 学 Ⅱ（２）

線 形 代 数 学 Ⅰ（２） プログラミング基礎（２）

情報理工学概論（２） 情 報 倫 理（２）

数 学 演 習 A（２） 数 学 演 習 B（２）

プログラミング基礎実習（２） 情 報 数 学（２）

第２年次

線 形 代 数 学 Ⅱ（２） 物 理 学 基 礎（２）

確 率 ・ 統 計（２） 通 信 ネットワーク基礎（２）

プログラミング応用（２） プログラミング応用実習（２）

４．学部共通選択必修科目（12）

情報理工学部学生は、学部共通選択必修科目を12単位以上修得しなければならない。

第２年次

情 報 技 術 倫 理（２） 物 理 学 応 用（２）

回 路 理 論（２） 統 計 的 方 法（２）

O R 概 論（２） シ ス テ ム 理 論（２）

通 信 理 論（２） 計 算 機 アーキテクチャとOS（２）

ア ル ゴ リ ズ ム 論（２）

5. 学科必修科目 (18)

各学科に配属された学生は、その学科の実習、演習、卒業研究から構成される学科必修科目を18単位修得しなければならない。

ソフトウェア工学科必修科目

第3年次

ソフトウェア工学実習 (2) ソフトウェア工学演習Ⅰ (2)
ソフトウェア工学演習Ⅱ (2)

第4年次

ソフトウェア工学演習Ⅲ (2) ソフトウェア工学演習Ⅳ (2)
卒業研究Ⅰ (4) 卒業研究Ⅱ (4)

システム創成工学科必修科目

第3年次

システム創成工学実習 (2) システム創成工学演習Ⅰ (2)
システム創成工学演習Ⅱ (2)

第4年次

システム創成工学演習Ⅲ (2) システム創成工学演習Ⅳ (2)
卒業研究Ⅰ (4) 卒業研究Ⅱ (4)

情報システム数理学科必修科目

第3年次

情報システム数理実習 (2) 情報システム数理演習Ⅰ (2)
情報システム数理演習Ⅱ (2)

第4年次

情報システム数理演習Ⅲ (2) 情報システム数理演習Ⅳ (2)
卒業研究Ⅰ (4) 卒業研究Ⅱ (4)

6. 専門科目群 (24)

専門科目群とは、学部共通選択科目、学科選択科目、関連選択科目からなり、関連選択科目とは配属された学科以外の情報理工学部学科選択科目を指す。

学部共通選択科目は第3年次以上の学生が、また学科選択科目および関連選択科目は各学科に配属された学生が履修することができる。

情報理工学部各学科の学生は専門科目群を24単位以上修得しなければならない。

ソフトウェア工学科に配属された学生は専門科目群としてソフトウェア工学科の学科選択科目を4単位以上修得しなければならない。

システム創成工学科に配属された学生は専門科目群としてシステム創成工学科の学科選択科目を4単位以上修得しなければならない。

情報システム数理学科に配属された学生は専門科目群として情報システム数理学科の学科選択科目を4単位以上修得しなければならない。

学部共通選択科目

- 代 数 系 入 門 (2) 数 理 論 理 学 (2)
- 数 値 解 析 (2) 応 用 解 析 学 (2)
- 位 相 幾 何 入 門 (2) ソフトウェア工学基礎 (2)
- マルチメディア情報通信 (2) シミュレーション (2)
- 情報社会と倫理 (2)
- 情報理工学特別講義A (ソフトウェア工学) (2)
- 情報理工学特別講義B (システム工学) (2)
- 情報理工学特別講義C (数理科学) (2)

ソフトウェア工学科選択科目

- ソフトウェア工学応用 (2) オブジェクト指向プログラミング (2)
- プログラミング言語 (2) ソフトウェア開発技術I (2)
- ソフトウェア開発技術II (2) データベース (2)

システム創成工学科選択科目

- モデリング理論 (2) 確 率 モ デ ル (2)
- 制 御 理 論 (2) 通 信 プ ロ ト コ ル (2)
- 電 磁 波 工 学 (2) 情報通信セキュリティ (2)
- 情報システム工学 (2)

情報システム数理学科選択科目

- 線 形 計 画 法 (2) 数 理 統 計 学 (2)
- 多 変 量 解 析 (2) 幾 何 学 入 門 (2)
- 非線形・整数計画法 (2) 統 計 調 査 法 (2)

7. 任意選択科目 (14)

情報理工学部学生は、任意選択科目として、14単位以上を修得しなければならない。

「履修可能な共通教育科目」

「履修可能な総合政策学科科目」

「履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）」

「本学の単位認定制度により、任意選択科目として認められたもの」

8. 自由科目

自由科目は次の科目である（卒業に必要な単位に算入されない科目）。

「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、

「司書・司書教諭に関する科目」

9. 単位の振替え

- (1) 学部共通選択必修科目のうち12単位を超過して修得した単位は、学部共通選択科目の単位に振り替えることができる。
- (2) 専門科目群のうち24単位を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
- (3) 共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。
- (4) 履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）は、あわせて8単位まで任意選択科目の単位として認める。

10. 履修および学科配属の条件

- (1) 第2年次の学部共通科目を履修するためには、前年度までに学部共通必修科目を10単位以上修得していなければならない。
- (2) 学科配属は原則として第3年次の開始時に行われる。学科に配属されるためには、前年度までに卒業に必要な単位を64単位以上修得し、かつ、前年度までに共通教育科目の基礎演習と学部共通必修科目を20単位以上修得していなければならない。
- (3) 情報理工学部の学科必修科目または学科選択科目（ソフトウェア工学科、システム創成工学科、情報システム数理解学科）を履修するためには、いずれかの学科に配属さ

れていなければならない。

(4)各学科の演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱの履修について以下の条件を定める。

ア) 演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱは原則として同一担当者の科目を履修するものとする。

イ) 演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位を修得していなければならない。

ウ) 演習Ⅲを履修するためには、演習Ⅱ、実習のいずれの単位も修得していなければならない。

エ) 演習Ⅳを履修するためには、演習Ⅲの単位を修得していなければならない。

オ) 卒業研究Ⅰを履修するためには、卒業に必要な単位を98単位以上修得し、学部共通必修科目の32単位をすべて修得していなければならない。さらに、演習Ⅲを同時に履修するか、すでにその単位を修得していなければならない。

カ) 卒業研究Ⅱを履修するためには、卒業研究Ⅰの単位を修得していなければならない。さらに、演習Ⅳを同時に履修するか、すでにその単位を修得していなければならない。

11. その他

(1) 情報理工学部生が登録を許される単位数は、自由科目を除いて、入学年度は春学期秋学期ともに24単位までとし、2年目以降は各学期28単位までとする。ただし、各年次において春学期秋学期の登録単位数の合計が48単位を超えてはならない。

(2) 情報理工学部のコースは次のとおりである。

学 科	コ ー ス	
ソフトウェア工学科	ソフトウェア工学一般コース (ソフトウェア工学科)	情報技術専修コース (ソフトウェア工学科・ システム創成工学科・ 情報システム数理学科)
システム創成工学科	システム創成一般コース (システム創成工学科)	
情報システム数理学科	情報システム数理一般コース (情報システム数理学科)	

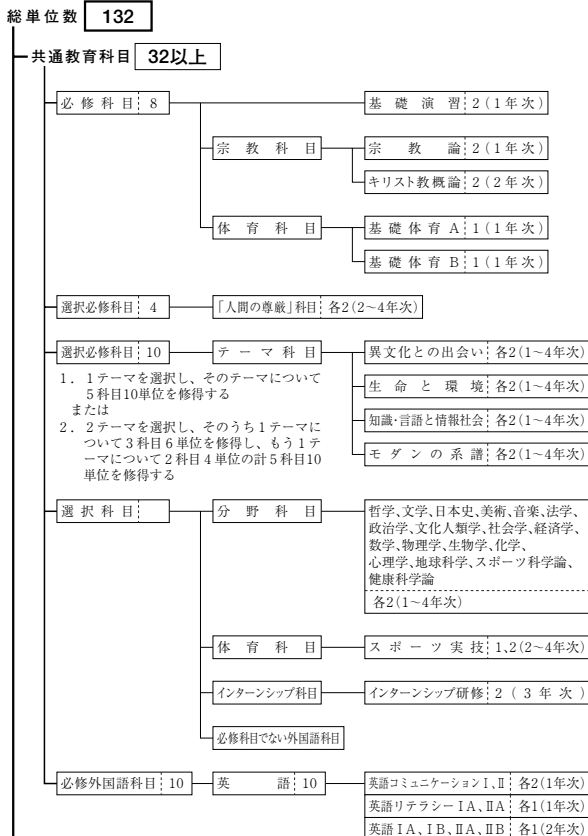
情報理工学部生は、学科配属と同時に、情報理工学部の定める

規定により、上表のコース登録を行う。情報技術専修コース（ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科）に登録する学生には、この履修要項とこの冊子の『JABEE対応コース「情報技術専修コース（ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科）」履修要項』を適用する。

情報理工学部カリキュラム表

区分	年次別	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
共通教育科目		32単位以上修得しなければならない。 詳細は「共通教育科目履修要項」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照			
学部共通必修科目 (32)	基礎科目	情報数学(2) 微積分学Ⅰ(2) 微積分学Ⅱ(2) 線形代数学Ⅰ(2) 情報理工学概論(2) プログラミング基礎(2)	確率・統計(2) 通信ネットワーク基礎(2) 線形代数学Ⅱ(2) 物理学基礎(2) プログラミング応用(2)		
	情報倫理教育科目	情報倫理(2)			
	実習・演習	プログラミング基礎実習(2) 数学演習A(2) 数学演習B(2)	プログラミング応用実習(2)		
学部共通選択必修科目 (12)		(第2年次) 12単位以上修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 12単位を超過して修得した単位は、学部共通選択科目の単位に振り替えることができる。			
学科必修科目 (18)				演習Ⅰ(2) 演習Ⅱ(2) 実習(2)	演習Ⅲ(2) 卒業研究Ⅰ(4) 演習Ⅳ(2) 卒業研究Ⅱ(4)
専門科目群 (24)				24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照 学部共通選択科目 学科選択科目 ソフトウェア工学科 4単位以上 システム創成工学科 4単位以上 情報システム数理学科 4単位以上 関連選択科目(情報理工学部他学科科目) 24単位を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。	
任意選択科目 (14)		14単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」を参照 履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目(資格関連科目は除く)は、あわせて8単位まで任意選択科目の単位として認める。共通教育科目および専門科目群で所定の単位数を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。			
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」(卒業に必要な単位数に算入されない。)			

卒業に必要な単位数



共通教育科目で所定の単位数を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。

※1

学部共通必修科目 **32(1・2年次)**

基礎科目：22

情報倫理科目：2

実習・演習：8

学部共通選択必修科目 **12(2年次)**

12単位を超過して修得した単位は、学部共通選択科目の単位に振り替えることができる。

学科必修科目 **18(3・4年次)**

配属された学科の実習：2

配属された学科の演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ：各2

卒業研究Ⅰ、Ⅱ：各4

専門科目群 **24(3・4年次)**

学部共通選択科目：

配属された学科の選択科目：4

関連選択科目(他学科の選択科目)：

24単位を超過して修得した単位は、任意選択科目の単位に振り替えることができる。

任意選択科目 **14(1～4年次)**

履修可能な総合政策学科科目および履修可能な名古屋キャンパス開講科目（資格関連科目は除く）は、あわせて8単位まで任意選択科目の単位として認められる。

情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)履修要項 ※()内は単位数

1. この履修要項は情報理工学部学生に適用する。

- (1) 情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)の登録は、学科配属と同時にしなければならない。
- (2) 情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)に登録した情報理工学部学生は、卒業のためには情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)を修了しなければならない。
- (3) 情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)に登録した情報理工学部学生は、原則として、登録を取り消すことはできない。

2. 登録の条件

- (1) 情報理工学部学生は、情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)に登録するには、学科に配属されるための条件を満たさなければならない。

3. 修了の条件

- (1) 情報理工学部学生は、情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)を修了するには、情報理工学部履修要項に記載されている卒業するための条件を満たさなければならない。
- (2) 情報理工学部学生は、情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)を修了するには、次の5科目10単位をすべて修得しなければならない。

情報技術倫理(2) 計算機アーキテクチャとOS(2)
アルゴリズム論(2) プログラミング言語(2)
ソフトウェア工学基礎(2)

- (3) 情報理工学部学生は、情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)を修了するには、次の2科目4単位から1科目2単位以上を修得しなければならない。

O R 概 論 (2) シ ス テ ム 理 論 (2)

- (4) 情報理工学部学生は、情報技術専修コース(ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科)を修了するには、学部共通選択必修科目と専門科目群を合わせて25科目50単位以上修得しなければならない。

卒業論文等提出についての注意事項

(人文・外国語・経済・経営・法学部)

卒業論文提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

卒業論文題目の提出

論文を提出しようとする学生は、論文題目を決定し、各学科の指示に従い、期日までに届けてください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります。)

人文学部生

人文学部生の研究プロジェクト報告書(卒業論文)作成は指導教員の指示に従ってください。また、表紙については、12月中に所定の「表紙用添付用紙」を教務課が提供しますので、それを表紙に貼って提出してください。

外国語学部生

外国語学部生の論文作成は各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

経済学部生

経済学部生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) A4判用紙、字数は原則として20,000字以上。ただし必要に応じてグラフや表を含めることも可。
- (2) 外国語で作成する場合は指導教員の指示に従ってください。
- (3) 論文のタイトルページは別表の様式を参考にしてください。
- (4) 大学指定ファイルの表紙に教務課提供の「表紙用添付用紙」を貼り、必要事項を記載してください。

経営学部生

経営学部経営学科生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) ワープロ・ソフトあるいはワープロ専用機を使用して、A4判用紙に印刷してください。
- (2) 字数は20,000文字以上。
- (3) 欧文でも作成することができますが、作成要領については指導教員の指示に従ってください。

- (4) 指導教員の下承を前提に共同論文を認めます。その際、下記の要領に従ってください。
- (ア) 各自の担当部分を必ず明確にしてください。
 - (イ) 各自の担当部分の字数は20,000字以上。
 - (ウ) 論文の提出の際には、代表者でなく各自が論文全体あるいは担当部分を提出してください。どちらを提出するかについては指導教員の指示に従ってください。
- (5) 論文には、12月に教務課が提供する「表紙用添付用紙」を表紙に貼って提出してください。
- また、扉には別表の様式により必要事項を記載してください。

法学部生

法学部生は、下記の要領に従って卒業論文を提出してください。

- (1) 用紙は、ワープロ使用の場合A4判用紙を、やむをえず手書きをする場合は400字詰または800字詰の原稿用紙を用いてください。
- (2) 論文作成枚数は、ワープロ使用の場合20,000字以上、手書きの場合は400字詰50枚以上または800字詰25枚以上になっています。
- (3) 論文には、12月に教務課が提供する「表紙用添付用紙」を表紙に貼って提出してください。また、扉は別表の様式に従ってください。

筆記用具等

筆記用具に関しては、別表「作成筆記用具並びに装丁等について」を参照してください。

論文題目の変更

届け出た論文題目を変更する必要がある場合は、各学部の指示に従って、届け出てください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります)

論文提出期限

論文提出期限は「授業日予定表」を参照すること。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期日間際になってあわてないように注意して準備してください。

<別表>

(縦書の場合)

提出 年 月 日	南山大学〇〇学部 学生番号 氏名	卒業論文	論文題目
-------------------	------------------------	------	------

(横書の場合)

南山大学〇〇学部 〇〇〇〇教授演習 卒業論文	論文題目
南山大学〇〇学部〇〇学科 学生番号 〇〇〇〇〇〇 氏名 提出年月日	

作成筆記用具並びに装丁等について

学部	学 科	筆 記 用 具 等	装丁(ファイル形式等)
人 文	キリスト教	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	人類文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	心理人間	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	日本文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
外 国 語	英 米	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	スペイン・ラテンアメリカ	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	フランス	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	ドイツ	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	アジア	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
経 済	経 済	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル
経 営	経 営	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
法	法 律	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル

卒業論文等提出についての注意事項

(総合政策・情報理工学部)

卒業論文等の提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

総合政策学部

■ 卒業研究題目の提出

卒業研究（卒業論文もしくはそれに代替するリサーチペーパー、調査報告書、プロジェクト計画等）を提出しようとする学生は、その題目を卒業研究題目提出用紙に記入し、指導教員の捺印を受け、期日までに指定場所に提出してください（5月の掲示に注意）。

■ 題目の変更

卒業研究題目を変更する必要がある場合には、すみやかに指導教員に届け出て、承認を得てください。

■ 卒業研究作成要領

総合政策学部生の卒業研究作成は、以下の要領に従ってください。

- (1) 用紙 A4判横書き ワードプロセッサを使用すること。原則として、和文の場合40字程度×35行程度、欧文の場合ダブルスペースで本文を作成すること。詳細については、指導教員の指示に従ってください。
- (2) 枚数 おおむね20,000字を目安とする。研究分野の事情を勘案し、枚数については指導教員の指示に従ってください。
- (3) 表紙 別図の様式に従って卒業研究の表紙を作成してください。
- (4) 装丁 指定のファイルに綴じて提出してください。
- (5) 提出用紙 第2課（教務担当）で配布する卒業論文等提出票に必要事項を記入し、卒業研究と一緒に提出してください。

- (6) 単独提出 卒業研究は原則として単独で作成し、各人が単独で提出すること。共同作成・共同執筆の可否については、指導教員の指示に従ってください。
- (7) その他 使用する言語については指導教員の指示に従ってください。また、文書以外の形式（図版、写真、絵画、動画、プログラム、音楽など）で提出される資料についても、指導教員の指示に従ってください。

■ 提出先

卒業研究は期限までに第2課(教務担当)に提出してください。

■ 提出期限

卒業研究提出期限は「授業日予定表」を参照してください。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、提出期限や第2課(教務担当)窓口終了時間間際になってあわてないように注意してください。

9月入学者については、原則として、卒業年度7月の卒業研究提出期限に提出してください(5月の掲示に注意)。ただし、卒業前年度1月の卒業研究提出期限に提出することもできます。

別図

和文の場合

南山大学総合政策学部 総合政策プロジェクト研究Ⅳ 卒業研究 担当者〇〇〇〇(准)教授	
研究題目 (一副題)	
南山大学 総合政策学部 総合政策学科 学生番号 20××P P×××× 氏名 〇〇〇〇 提出日 20××年×月×日	

英文の場合

Nanzan University Faculty of Policy Studies Thesis for Policy Studies Project Research IV Professor 〇〇〇〇
Title
Nanzan University Faculty of Policy Studies 20××P P×××× Name Month Day,20××

情報理工学部

- ・第2課教務係への卒業論文提出期限は「授業日予定表」を参照してください。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期限間際になってあわてないように注意して準備してください。
- ・卒業論文の表紙および卒業論文をとじるためのファイルについては第2課教務係で指定したものを利用してください。
- ・上記以外については、各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

南山大学早期卒業規程

第1条 南山大学学則第21条第2項により、早期卒業に関する事項は、この規程の定めるところによる。

第2条 本大学に3年以上在学し、本大学の定める単位を優秀な成績で修得した場合には、南山大学学則第21条第1項の定めにかかわらず、卒業できるものとする。

第3条 前条に定める卒業については、次の学部において行うものとする。

1 総合政策学部

第4条 前条に定める学部の学生が、第2条に定める卒業を希望する場合は、別に定める規則に従うものとする。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

総合政策学部早期卒業に関する内規

(趣旨)

第1条 この規則は、南山大学早期卒業規程第4条に基づき、南山大学総合政策学部（以下、「総合政策学部」という。）における早期卒業に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象学生)

第2条 早期卒業は、次の各号に該当する者を対象とする。

- 1 秋学期入学の者
- 2 3年半卒業を希望する者
- 3 総合政策学部入学後3年間の評定平均(GPA)が3.00以上の者。なお評定平均(GPA)は次の方法で算出する。

$$\text{評定方法} = \frac{(A^+ \text{の単位数}) \times 4 + (A \text{の単位数}) \times 3 + (B \text{の単位数}) \times 2 + (C \text{の単位数}) \times 1}{(A^+, A, B, C, F, S, X) \text{の単位数の合計}^*}$$

※認定科目、自由科目を除く

(早期卒業希望者の認定)

第3条 早期卒業を希望する者は、3年次春学期授業最終日を期限とし、学部長に、その旨を申し出るものとする。

② 学部長は、前項による申し出があったときは、教授会の審査を経て適格の認定をしなければならない。

(卒業の要件)

第4条 早期卒業するためには、3年半以上在学し、総合政策学部が定める履修方法に従い、130単位以上を修得しなければならない。

(学習指導)

第5条 学部および学科は、第3条第2項により適格の認定を受けた学生の授業計画等にあたっては、適切な措置および学習指導を行うこととする。

(卒業の時期)

第6条 早期卒業の時期は、4年次の3月とする。

附 則

この内規は、2005年4月1日から施行し、2002年度入学生

派遣留学生の帰国後における 授業科目履修に関する手続等取扱要領

1. 新規登録について

- (1) 春学期科目の新規登録期限は、授業開始日から21日目とする。
- (2) 通年科目の新規登録期限
留学先大学の学期末が本学の新学年度の登録期間を過ぎる場合、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日の7日後まで登録延期が認められるが、授業開始日から49日目を最終期限とする。
ただし、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日が5月末日ないし6月初めの場合は、教務委員会の許可により、その7日後まで新規登録の延期が認められる。許可申請は原則として3月末までに行うこと。所定申請用紙は教務課で交付する。
- (3) 集中講義科目の新規登録期限は、春学期授業終了日とする。
- (4) 秋学期科目の新規登録期限は、秋学期授業開始日から21日目までとする。

2. 通年科目の継続登録について

- (1) 留学前の手続
学年途中で外国に留学する学生が留学前履修中の授業科目を帰学後継続して履修するためには、留学前に教務課において、所定の手続を経、かつ2.(2)に定める期日までに履修継続の登録をしなければならない。ただし、帰国後に同一科目が開講されていないときは、継続して履修することができないことがある。
- (2) 継続登録の期限は、秋学期授業開始日から21日目までとする。

3. 演習等について

各学科によって異なる。『派遣留学生の「演習」等の認定方法』に定めるところによる。

なお、演習科目の登録期限・方法については上記定めによらない。

附 則

この要領は、2005年4月1日から施行する。

※瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課教務係と読み替える。

外国人留学生の授業科目履修に関する特例

- 第1条** この特例の適用を受ける外国人留学生（以下「外国人留学生」という。）とは、外国人留学生入学審査によって、本学学部学生として入学を許可された者をいう。
- 第2条** 外国人留学生は、授業科目履修に関して、南山大学授業科目履修規程ならびに関連する諸規程のほかこの特例に従わなければならない。
- 第3条** 外国人留学生は、「日本語Ⅰ」3単位、「日本語Ⅱ」2単位、「日本語Ⅲ」3単位を履修しなければならない。ただし、これと同等以上の日本語能力を持つと学部または学科が判断した者については、その履修を免除することがある。
- 第4条** 外国人留学生は、前条に定める「日本語Ⅰ」3単位、「日本語Ⅱ」2単位、「日本語Ⅲ」3単位のほか、共通教育科目として開講されている外国語科目のうち、いずれか4単位以上を履修することを原則とする。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
- 第5条** 外国人留学生については、共通教育科目、学部共通科目および学科科目について、学部および学科での修得すべき単位数のうち12単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」および「総合日本語A」、「総合日本語B」についての単位で代えることができる。ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。
- 第6条** 学部または学科が教育上必要と判断した場合は、帰国生徒にこの特例を準用することができる。
- 第7条** 情報理工学部 に在籍する外国人留学生については、別に定める細則に従うものとする。

第8条 この特例に定めのない事項については、学部長または学科長と教務部長が協議の上、決定する。

附 則

この特例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和53年9月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成7年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この特例の改正は、2009年4月1日から施行する。

情報理工学部 に在籍する外国人留学生の 授業科目履修に関する細則

- 第1条** 外国人留学生の授業科目履修に関する特例第7条の規定により、本細則を制定する。
- 第2条** 外国人留学生の授業科目履修に関する特例第7条に規定する「情報理工学部 に在籍する外国人留学生（以下「情報理工の外国人留学生」という。）」とは、外国人留学生入学審査によって、本学情報理工学部学生として入学を許可された者をいう。
- 第3条** 情報理工の外国人留学生は、授業科目履修に関して「南山大学授業科目履修規程」および関連する諸規程の他に、この細則に従わなければならない。
- 第4条** 情報理工の外国人留学生で、情報理工学部から「日本語能力が不十分である」と判断された者は、総合政策学部共通教育科目の「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」の全部または一部の単位を修得しなければならない。
- 第5条** 前条の「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」の科目には、「文法」「運用」「読解」「表現技術」「総合」の分野が用意されているので、情報理工の外国人留学生はこれらの分野のうち日本語能力に応じ、1分野または複数分野を履修することができるものとする。
- 第6条** 第4条の適用を受ける外国人留学生のうち、「日本語Ⅲ」から始めた者は、任意選択科目のうち10単位までを「日本語」の単位で振り替えることができる。同様に「日本語Ⅰ」または「日本語Ⅱ」から始めた者は、任意選択科目のうち14単位までを「日本語」の単位で振り替えることができる。ただし、「情報技術専修コース（ソフトウェア工学科・システム創成工学科・情報システム数理学科）」に登録した場合、「日本語」の単位はコース修了に必要な単位に算入できない。
- 第7条** 学部または学科が教育上必要と判断した場合は、帰国生徒にこの細則を準用することができるものとする。
- 第8条** この細則に定めのない事項については、学部長または学科長と教務部長が協議の上、決定する。

附 則

この細則は、2009年4月1日から施行する。

附 則

この細則の改正は、2010年4月1日から施行する。

外国語検定試験による単位認定制度について

外国語の能力を判定するために実施されている各種外国語検定試験で一定の基準に達し、かつ本学外国語担当教員による当該外国語面接試験に合格した学生に対して、以下の単位が認定される。

- ① 共通教育科目としての当該外国語（1年次に配当される必修または選択必修科目）
4 単位まで
（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）
 - ② 共通教育科目としての当該外国語（1年次および2年次に配当される必修または選択必修科目）
8 単位まで
（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）
 - ③ 共通教育科目としての当該外国語（2年次に配当される必修または選択必修科目）
4 単位まで
（2年次の開始時点までに、認定基準を満たしていること）
- ①～③において認定される単位数の合計は、必修科目、選択必修科目として各学部・学科が定めた単位数を上限とする。

※認定基準は、次ページの表を参照のこと

ただし、下記の場合は上記①～③の年次、学期および単位数を下記のとおり読み替える。

1. 経営学部、総合政策学部の、8単位が1年次に配当されている共通教育科目としての必修外国語、および外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科、外国語学部フランス学科、外国語学部ドイツ学科の、8単位が1年次に配当されている共通教育科目としての必修外国語（英語以外）
 - ① 1年次→1年次春学期
 - ② 1年次および2年次→1年次春学期および秋学期

- ③ 2年次に配当される→ 1年次秋学期に配当される
2年次の開始時点→ 1年次秋学期の開始時点
- 2. 外国語学部アジア学科の、4単位が1年次および2年次に配当されている共通教育科目としての必修外国語（英語 I・II）
 - ① 1年次→ 1年次および2年次
- 3. 総合政策学部の、4単位が2年次に配当されている共通教育科目としての選択必修外国語
 - ① 1年次に配当される（略）選択必修科目→ 2年次に配当される選択必修科目
- 4. 情報理工学部の、6単位が1年次に配当されている共通教育科目としての必修外国語
 - ① 4単位→ 6単位
 - ② 8単位→ 10単位
- 5. 編転入学者
 - ① 1年次→ 入学1年目
 - ② 1年次および2年次→ 入学1年目および入学2年目
 - ③ 2年次に配当される→ 入学2年目に配当される
2年次の開始時点→ 入学2年目の開始時点

認定を希望する学生は春学期授業開始日まで（開始日を含む）に、申請書に当該外国語検定試験の得点（合格）証明書コピーを添えて、名古屋キャンパス教務課または瀬戸キャンパス第2課教務係に提出すること。申請書は各窓口で配布する。

ただし、上記読み替えにより、1年次秋学期に単位認定を申請する場合（瀬戸キャンパス9月入学者を含む）は、秋学期授業開始日まで（開始日を含む）に申請すること。なお、学年または学期の途中、あるいは学年または学期を遡っての単位認定は行わない。

外国語名称	対象となる外国語検定試験		認定基準	
			①の場合	②と③の場合
英 語 (外国語学部 英米学科 以外の学生)	TOEFL *1	Paper-based	527点～579点	580点以上
		Computer-based	197点～236点	237点以上
		Internet-based	71点～91点	92点以上
	TOEIC *2		665点～819点	820点以上
	実用英語技能検定		準1級	1級
	ケンブリッジ大学英語 検定試験		Level 3(FCE) *3	Level 4(CAE)以上 *4
英 語 (外国語学部 英米学科 の学生)	TOEFL *1	Paper-based	580点以上	
		Computer-based	237点以上	
		Internet-based	92点以上	
	TOEIC *2		820点以上	
	実用英語技能検定		1級	
	ケンブリッジ大学英語 検定試験		Level 4(CAE)以上 *4	
フランス語	実用フランス語技能検定 (DAPF)		3級	2級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定		3級	2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定		4級	3級以上
中 国 語	中国語検定		3級	2級
	漢語水平考試 (HSK)		6級	7級

*1 TOEFL = Test of English as a Foreign Language
*3 FCE = First Certificate in English

*2 TOEIC = Test of English for International Communication
*4 CAE = Certificate in Advanced English

愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について

愛知学長懇話会・単位互換事業は、愛知県内の他の大学が開放する特色ある授業科目を自由に履修し、単位を修得することができる制度です。この事業には南山大学を含む愛知県内すべての4年制大学が参加しており、修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降(ただし、4年次生以上で、本制度の聴講科目およびその他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目を受講することによって卒業要件単位数が満たされる場合は出願することができない。)

出願時期：春・秋学期に出願が可能。

単位数：各学期4単位まで出願できる。(その他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目への出願単位数を含む)
なお、この単位数は、各学部が定める登録単位数上限には含まれない。

出願を希望する学生は、参加大学の聴講科目や履修条件等を記載した募集要項と出願票を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課Webページ等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。正式な決定以前に授業が開始される場合には仮受講が認められる。なお、応募者多数の場合は相手先大学による選考が行われる場合がある。休講情報等については、相手先大学で各自確認すること。

3. 試験について

相手先大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、相手先大学の試験を優先すること。その際、相手先大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる(成績の1割減点なし、手数料無料)。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

※瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課教務係と読み替える。

豊田工業大学との連携聴講生制度について

「南山大学と豊田工業大学における単位互換に関する包括協定書」に基づき、豊田工業大学が聴講を許可する授業科目を履修し、単位を修得することができます。修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降(ただし、4年次生以上で、本制度の聴講科目およびその他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目を受講することによって卒業要件単位が満たされる場合は、出願することができない。)

出願時期：春・秋各学期に出願が可能。

単位数：各学期4単位まで出願できる。(その他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目への出願単位数を含む)なお、この単位数は、各学部が定める学期あたりの登録単位数上限には含まれない。

出願を希望する学生は、聴講科目や履修条件等が記された書類と『連携聴講生願』を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課Webページ等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。なお、応募者多数の場合は豊田工業大学による選考が行われる場合がある。休講情報等については、豊田工業大学で各自確認すること。

3. 試験について

豊田工業大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、豊田工業大学の試験を優先すること。その際、豊田工業大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる(成績の1割減点なし、手数料無料)。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

※瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課教務係と読み替える。

南山短期大学との学园内連携聴講生制度について

「南山大学と南山短期大学における単位互換に関する包括協定書」に基づき、南山短期大学が聴講を許可する授業科目を履修し、単位を修得することができます。修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

1. 出願について

資格：2年次以降（ただし、4年次生以上で、本制度の聴講科目およびその他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目を受講することによって卒業要件単位が満たされる場合は、出願することができない。）

出願時期：春・秋各学期に出願が可能。

単位数：各学期4単位まで出願できる（その他の大学との単位互換協定に基づく聴講科目への出願単位数を含む）。なお、この単位数は、各学部が定める学期あたりの登録単位数上限には含まれない。

出願を希望する学生は、聴講科目や履修条件等が記された書類と『連携聴講生願』を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等詳細は別途教務課Webページ等に掲示する。

2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。なお、応募者多数の場合は南山短期大学による選考が行われる場合がある。休講情報等については、南山短期大学で各自確認すること。

3. 試験について

南山短期大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、南山短期大学の試験を優先すること。その際、南山短期大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる（成績の1割減点なし、手数料無料）。

4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

※瀬戸キャンパスの学生は、教務課を第2課教務係と読み替える。

名古屋／瀬戸キャンパス間履修について

名古屋／瀬戸キャンパス間履修の取り扱いは以下の通りとする。なおこの取り扱いは入学年度を問わず、全ての学生に適用する。

1. 単位の認定方法

- ・ 共通教育科目、学部・学科科目とも任意選択科目として、卒業に必要な単位に算入することができる（ただし2003年度までに自由科目として修得済みの他キャンパス科目の単位は遡って算入することはできない）。
- ・ 自由科目として履修する資格関係の科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入することはできない。

2. 履修

- ・ 学期ごとの履修の上限単位数は、別表の通りとする（各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる）。ただし自由科目として履修する資格関係の科目は含まれない。
- ・ 履修年次は、別表の通りとする（科目毎の年次制限が優先される）。ただし資格関係の科目を除く。
- ・ 他学科履修不可の科目は履修することができない。

3. 定期試験

- ・ 他キャンパス科目と所属キャンパス科目の定期試験時間割が同一日に配置された場合は、「追試験受験許可願」の提出により、受験できなかった科目の追試験が認められる（1割減点なし、手数料無料）。ただし原則として所属キャンパス科目の試験を優先すること。

4. 登録手続

- ・ 登録は登録システム（Web）を使用して行う。登録にあたっては、移動時間を含めて、確実に授業に参加できる時間が確保できるように計画すること。

学部	学期ごとの履修登録の上限単位数(注)	履修年次
人文学部	設けない	2年次以上
外国語学部	設けない	2年次以上
経済学部	設けない	3年次以上
経営学部	1学期4単位まで (年間8単位まで)	2年次以上
法学部	設けない	3年次以上
総合政策学部	設けない	2年次以上
情報理工学部	設けない	2年次以上

(注：各学部が定める学期ごとの上限単位数に含まれる)

その他、詳細については教務課／第2課教務係に問い合わせること。

2010年 3月12日 印刷

2010年 4月1日 発行

編集発行者

南 山 大 学

名古屋市昭和区山里町18 (〒466-8673)

名古屋キャンパス教務課

電話 052(832)3117

瀬戸市せいらい町27 (〒489-0863)

瀬戸キャンパス第2課教務係

電話 0561(89)2016

印刷所

凸版印刷株式会社中部事業部

名古屋市西区野南町19 (〒452-8571)

電話 (052)503-5111(代)